

伊豆長岡温泉ミライビジョン

IZUNAGAOKA ONSEN VISION FOR SUSTAINABLE FUTURE





報告書目次

第1章 はじめに

1-1	伊豆長岡温泉ミライ会議について	1
1-2	未来ビジョン策定の背景	1
1-3	未来ビジョン策定の趣旨とねらい	1
1-4	ミライ会議の参画メンバーと専門人材	2
1-5	上位計画とミライ会議、関連事業との関係	3
1-6	計画スケジュール	4
1-7	実施スケジュール	4
1-8	報告書の構成	5

第2章 現状の整理

2-1	伊豆の国市全域の特徴	6
2-2	未来ビジョン策定エリアと立地適正化計画	8
2-3	人口・世帯分析	17
2-4	宿泊施設・店舗・事業所・住居・空き屋分析	20
2-5	公園・緑地・河川の分布	23
2-6	交通・通路	26
2-7	文化・歴史・自然・周遊	31
2-8	教育施設・文化施設・公共施設再配置	37
2-9	まちなかイベント	42
2-10	エリア内におけるまちづくりの取り組み概要（過去3年間）	43
2-11	お散歩市の各店舗、利用者アンケート	44
2-12	伊豆長岡温泉エリアの現状のまとめ	53

第3章 ミライ会議・3部会・伊豆長岡温泉ミライ大学

3-1	3部会について	54
3-2	各部会 第1回～第3回の概要とまとめ	57
3-4	まちづくりWS通信の発行	63
3-5	都心と地域をつないだ課題解決型ワークショップ 伊豆長岡温泉ミライ大学	65

第4章 地域資産を活用した社会実験

4-1	道路空間活用による歩いて楽しいまちづくり	74
4-2	遊休不動産活用による賑わいづくり(店舗・温泉駅)	81
4-3	遊休不動産活用による賑わいづくり(店舗・温泉駅)	90

第5章 まちづくりの方向性と未来ビジョン

5-1	まちづくりのテーマと必要な視点	94
5-2	未来ビジョン策定(案)に向けた3つのまちづくりコンセプト	94
	1. そとにでて活動したくなるまち	95
	2. 様々な出会いがあるまち	96
	3. 温泉資源や地域資源を活かしきるまち	97
	4. 広域連携を行うまち	98
5-3	未来ビジョン(将来像)について	99
	① 温泉場出逢い通り	100
	② 南山荘の活用	102
	③ 源氏山の活用	104
	④ 温泉駅の活用、今後の建替にむけて	107
	⑤ 順天堂病院前の公園整備	107
	⑥ 空き家の活用	110
	⑦ E-BIKE周遊	112
	⑧ 伊豆長岡駅前	114
	⑨ 千歳橋堤外地公園の活用	115

第6章 実現に向けた取り組み

6-1	実現していくためのロードマップ	117
6-2	今後の各種活動の目標値	120
6-3	推進体制と資金調達	121
6-4	利用可能な制度やサービス	122
	① 都市再生推進法人	122
	② 官民連携まちなか再生推進事業	124
	③ ParkPFI、指定管理者制度等	125
	④ 道路占有許可の特例制度	125
	⑤ 都市利便増進協定	126
	⑥ 低未利用土地利用促進協定	126
	⑦ かわまちづくり	127

⑧ 生涯活躍のまちづくり	127
⑨ 地域エリアマネジメント負担金制度	128
⑩ 企業版ふるさと納税	128
⑪ まちづくりファンド	129

第7章 新たなスタートへ向けて

7-1 伊豆長岡温泉ミライ会議のHP開設	130
7-2 取り組みプロセス、活動内容を発信	134

第1章 はじめに

1-1 伊豆長岡温泉ミライ会議について

国土交通省による「居心地良く歩きたくなるまちなか」の形成をはじめとする多様な人材の集積や様々な民間投資を惹きつけ、都市の魅力・国際競争力の向上を目的とした取組を支援するために設立された官民連携まちなか再生推進事業の採択を受け、地域や自治体、民間事業者（22 団体）が連携してつくるエリアプラットフォーム（会議体）として伊豆長岡温泉ミライ会議は設立された。エリアプラットフォームでは大切な地域資源である温泉を守りながら、地域で暮らし続けられるコミュニティを目指して、「温泉のある暮らし」をテーマにまちづくり・観光・コミュニティの3部会で議論、社会実験を通じて今後のまちづくりの指針となる伊豆長岡温泉未来ビジョンを策定することとした。

1-2 未来ビジョン策定の背景

少子高齢化、人口減少社会の到来とともに、地方公共団体の財政がひっ迫している状況下において、行政主体のまちづくりには限界が見え始めている。また2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により国際観光客数が激減し、さらに2021年に開催予定であるオリンピック・パラリンピックについては、現在海外からの観客受け入れを見送る方向で調整が行われており、海外宿泊予約のキャンセルなど観光業を中心とした伊豆長岡温泉エリアは大きな打撃を受ける事態に陥っている。

一方で、まちのユーザーである住民や、パブリックマインドをもった民間企業の積極的な行動により遊休施設であった南山荘をはじめ温泉駅、空き店舗を有効活用しながら、5周年を迎えた温泉場の賑わいづくりを行う「伊豆長岡温泉 お散歩市」の活動をはじめ、創意工夫あるイベントの開催が民間を主体として企画されている。こうした背景のもと、徐々にまちづくりの主体が行政から民間へ移行する転換期を迎えているといえる。

1-3 未来ビジョン策定の趣旨とねらい

これまでのまちづくりでは、成長社会を前提とした計画に基づき行政が主体となり、社会基盤の整備、土地利用の規制を中心に進めてきていた。しかしながら、人口減少の縮小社会に突入したこれからのまちづくりでは、様々な活動を行うまちの主役である民間の主体性を重視して「どのような暮らしをしたいか、どのようなまちにしたいのか」といった民間の声を反映したまちづくりの理念を官民で共有する必要がある。大切な地域資源である温泉を守りながら、地域で暮らし続けられるまちを継続していくための多角的、長期的な視点に立った民間の声を反映したまちづくりビジョンが求められている。市民、企業・民間団体、行政のそれぞれが互いの垣根を越えて「我が事（わがこと）」として、地域の課題を捉え、自主的に、または連携して課題解決に取り組む必要性を認識し、主体的に関わることができ、実際のアクションにつながるきっかけとなるよう伊豆長岡温泉ミライビジョンを策定する。

1-4 ミライ会議の参画メンバーと専門人材

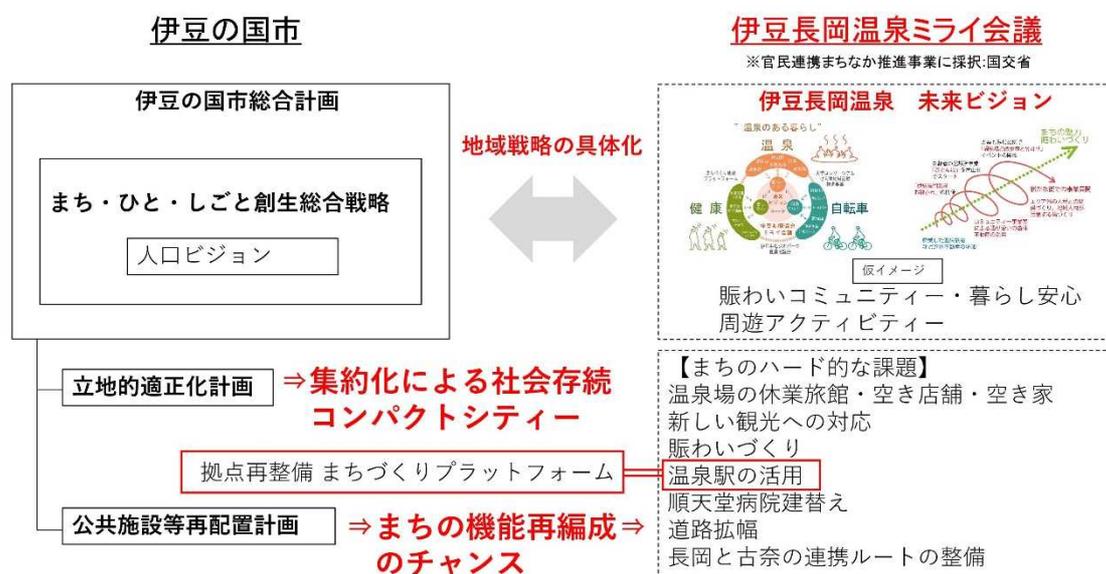
未来ビジョンの作成を行うエリアプラットフォームの参加メンバーは、お散歩市を継続している地域のまちづくり組織や、市や交通事業者・地元事業者等が参加した観光地エリア景観計画の地域景観ミーティングの枠組みを拡大・深化し、未来ビジョンの策定体制を構築する。プラットフォームには3つの部会（まちづくり部会、観光部会、コミュニティー部会）を設定し、それぞれ各専門人材をアドバイザーとして配置した。専門人材は、これまで地域に関わりのある学識経験者、地域景観ミーティングの事務局を務めてきた民間事業者などを想定し、過去の取組を十分に生かすとともに、with コロナ時代のまちづくり・観光誘客を見据え、都心の社会起業家やその卵が、地方の地域課題にICTを活用して連携・参加する体制を構築する。地方の課題を新しい仕組みで解決するエリアプラットフォームの発展を行いながら、伊豆長岡温泉エリアから市内外の各エリアのまちづくりに展開していく。

伊豆長岡温泉ミライ会議 参加者名簿 ●：議長 ○：メンバー				(2021.03.18現在)	
組織名	ミライ会議	まちづくり部会	観光部会	コミュニティ部会	
(1) 伊豆長岡温泉場通り振興会	○	○	○	○	
(2) 伊豆の国市観光協会	○	○	○		
(3) 伊豆長岡温泉旅館協同組合	○	○	○		
(4) 伊豆の国市（観光課）	○	○	○	○	
(4) 伊豆の国市（都市計画課）	○	○	○	○	
(5) 伊豆箱根鉄道株式会社、伊豆箱根バス株式会社（企画部門）	○	○	○	○	
(5) 伊豆箱根鉄道株式会社（不動産事業部門）	○	○	○	○	
(6) 三島信用金庫	○	○		○	
(7) 株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ・グループ（南山荘）	○	○			
(8) 新小川家旅館株式会社（小川家旅館）	○	○	○		
(9) 株式会社小松屋（えふでの宿 八の坊）	○		○		
(10) 株式会社コナリゾート（コナステイ伊豆長岡）	○	○	○		
(11) 伊豆半島ジオパーク推進協議会	○		○		
(12) メリダジャパン株式会社	○	○			
(13) 株式会社モンベル	○		○		
(14) 株式会社プラスニューオフィス	○	○	○	○	
(15) 特定非営利活動法人図的表現活用研究所	○	○	○	○	
(16) コアレックス信栄株式会社	○	○		△	
(17) 伊豆長岡温泉事業協同組合	○		○		
(18) FMいずのくに	○		○	○	
(19) 古奈別荘	○		○		
(20) あずまや旅館	○		○		
(21) えびすや	○		○		
(22) 姫の湯荘	○		○		
(22) 株式会社JM	○	○		○	
専門人材					
伊豆長岡温泉ミライ会議 議長	●				
日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 宮川幸司 特任教授					
まちづくり部会	○	●			
横浜国立大学 都市科学部 建築学科 野原卓 准教授					
観光部会	○		●		
日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 矢嶋 敏明 准教授					
法政大学 デザイン工学部・現代福祉学部 兼任講師	○			●	
事務局支援					
プラスニューオフィス					
トレジャーフット					
伊豆の国市観光協会					
地域おこし協力隊					

表：ミライ会議参画メンバーと専門人材

1-5 上位計画とミライ会議、関連事業との関係

伊豆の国市総合計画や立地適正化計画、公共施設再配置計画等の上位計画をふまえながら、未来ビジョンの策定、地域戦略の具体化を行った。



その他、複数の関連事業と目指す方向性をそろえながら、活動していくことで相互の活動に広がり、相乗効果が生まれることを目指して連携を行った。

事業名	事業主体	テーマ・事業内容
官民連携まちなか再生推進事業 【国土交通省】	伊豆長岡温泉ミライ会議	伊豆長岡温泉エリアを中心とした賑わい・周遊・コミュニティ形成による未来ビジョンづくりと会議体によるまちづくり会社の設立
誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成（ドドオオン伊豆の国） 【観光庁（申請中）】	伊豆の国市観光協会	新しい生活様式に対応した観光誘客（花火）やE-BIKEを活用した周遊（史跡・食・自然）による観光産業への支援
国立・国定公園への誘客の推進事業 【環境省】	伊豆半島ジオパーク推進協議会	伊豆半島全体（複数の自治体）にまたがる観光誘客・ツアー、イベント企画による
ゼミ学生等地域貢献推進事業 【ふじのくに地域・大学コンソーシアム】	日本大学国際関係学部 矢嶋ゼミ・伊豆の国市	E-BIKEを活用した伊豆の国市内の観光資源をめぐる周遊企画
まちづくり地域プラットフォーム事業 【国交省→自主事業】	まちづくり地域プラットフォーム	伊豆箱根鉄道グループが持つ温泉駅の利活用と建替え事業に関する検討
伊豆の国市かわまちづくり 【国交省・伊豆の国市】	伊豆の国市かわまちづくり協議会	伊豆の国市神島地区及び吉田地区の河川区域における狩野川を利活用し、周辺地域の活性化や、新たな賑わい・憩いの場の創出

1-6 計画スケジュール

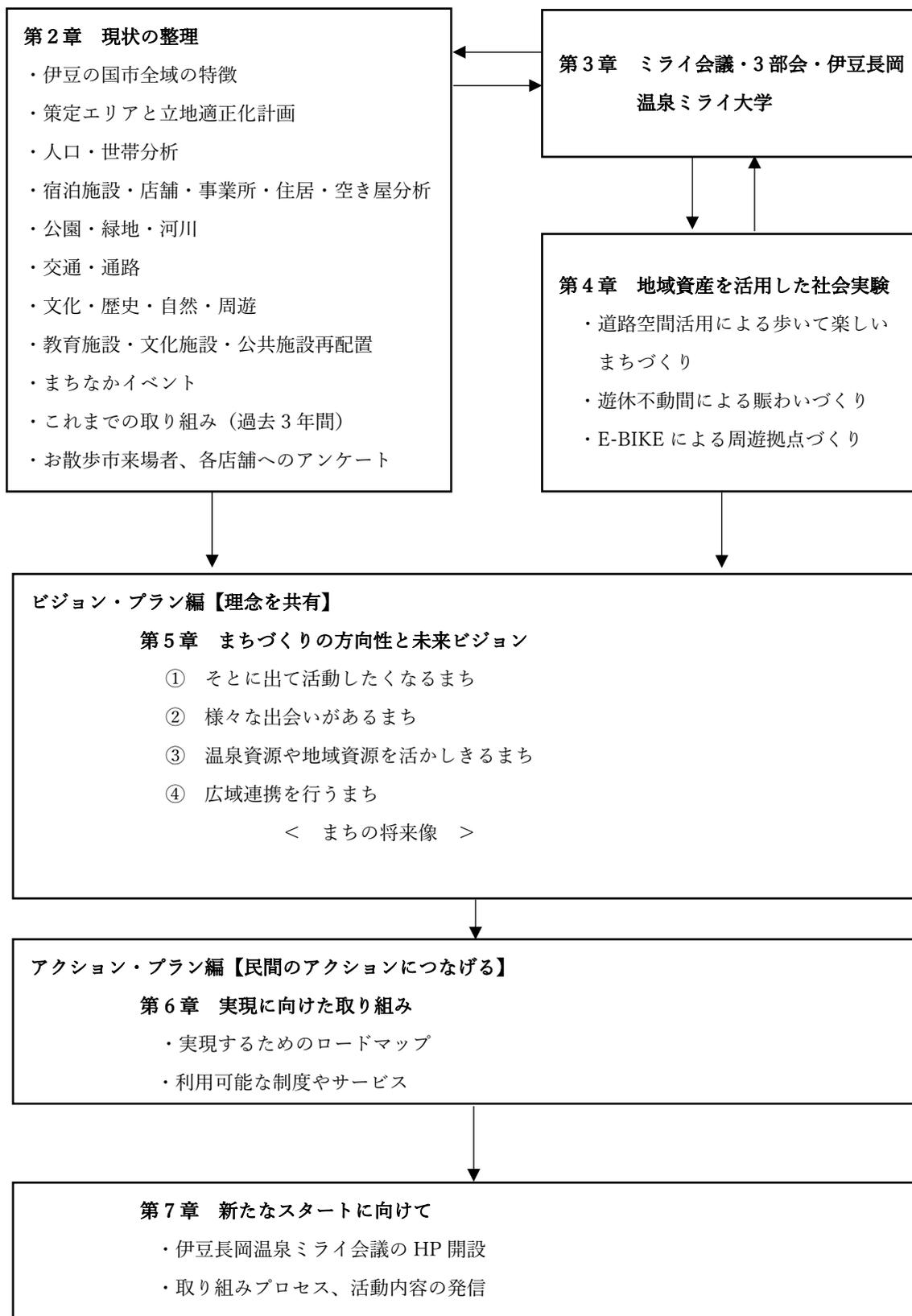
伊豆長岡温泉ミライ会議 2020年度スケジュール(案)

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
※参考(市内イベント)		▼ドドオオオン1回目	▼ドドオオオン2回目		▼竹灯籠(延期)		▼夜市(未定)	▼竹灯籠(予定)		
お散歩市	▼お散歩市(7/12)	▼お散歩市(8/9)	▼お散歩市(9/13)	▼お散歩市(10/11)	▼お散歩市(11/8)	▼お散歩市(12/13)	▼お散歩市(1/10)	▼お散歩市(2/14)	▼お散歩市(3/14)	周年記念(3/14)
官民連携まちなか再生推進事業 (未来ビジョン策定に関する事業)		▼策定結果発表								▼事業報告
未来ビジョンづくり会議		▼会議①開催(8/21)				▼会議②開催(12/中旬)	▼会議③開催(2/月上旬)			
3部会によるWS			▼3部会①開催(9/中旬)		▼3部会②開催(11/下旬)		▼3部会③開催(1/下旬)			
お散歩市賑わいづくり事業			▼道路活用		▼空き店舗等活用開始	▼道路活用	※以降急時または定期利用の実施予定	※以降急時または定期利用の実施予定		
温泉駅賑わいづくり事業			▼温泉駅E-BIKEステーション	▼温泉駅E-BIKEステーション	▼温泉駅マルシェ	▼温泉駅マルシェ	▼温泉駅マルシェ			
周遊プログラム事業			▼E-BIKE周遊①	▼E-BIKE周遊②		実施時期調整中				
メディア戦略(HP、その他)		必要機能の検討 HPまたはSNSの開設				※以降都度更新			次年度戦略検討	
未来ビジョン等策定(新規)					ビジョン策定		ビジョン策定			
基礎調査・事業まとめ			基礎調査①		基礎調査②				報告書作成	

1-7 実施スケジュール

	ミライ会議	各部会	温泉場お散歩市+社会実験	伊豆長岡温泉ミライ大学他 HP, SNS
8月	第1回ミライ会議 2020/8/21			
9月			お散歩市 2020/9/13	
10月		第1回まちづくり部会 2020/10/4 第1回観光・コミュニティ部会 2020/10/8	お散歩市 2020/10/11 温泉駅でE-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、旅する古本)	伊豆長岡温泉ミライ会議 プレHP公開 2020/10/8 矢嶋ゼミ E-bike周遊企画 2020/10/10
11月		第2回まちづくり部会 2020/11/25	お散歩市 2020/11/8 温泉駅でE-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、旅する古本)	ミライ大学 オンラインイベント第1回 2020/11/18
12月	第2回ミライ会議 2020/12/10	第2回観光・コミュニティ部会 2020/12/3	お散歩市 2020/12/13 片側通行1回目 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ)	ミライ大学 現地イベント第2回 2020/12/12,13 ON-CO リビングソフトウェア東海 2020/12/12
1月			お散歩市 2021/1/10 片側通行2回目 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ) 屋外FMステーション	
2月		第3回まちづくり部会 2021/2/10 第3回観光・コミュニティ部会 2021/2/18	お散歩市 2021/2/14 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ) 屋外FMステーション	ミライ会議事務局・観光協会+地域おこし協力隊 Slack開設 2021/2/11 伊豆長岡温泉ミライコミュニティ- Facebook開設 2021/2/21
3月	第3回ミライ会議 2021/3/18		お散歩市 2021/3/14 通行止め、芝生、野座敷、ギャラリー、モバイル足湯 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション、FMステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ)	ミライ大学 オンラインイベント第3回 2021/3/18 伊豆長岡温泉ミライ会議 HP公開 2020/3/31

1-8 報告書の構成



第2章 現状の整理

2-1 伊豆の国市全域の特徴

伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置し、東は箱根山系の連山に、西は城山、葛城山などの山々に囲まれ、豊かな自然環境を保っている。平野部は南北に狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がり、古くから人が暮し続け歴史・文化的資源や温泉地や農作物などの観光資源を有している。

伊豆長岡温泉は、鎌倉時代から続く古奈温泉と明治以降に開発された長岡温泉の2つの温泉場で構成される。古くから首都圏からのアクセスのよい伊豆長岡温泉は、東名・新東名に直結する伊豆縦貫自動車道のICに近く、東海道新幹線三島駅から修善寺に向かう伊豆箱根鉄道の伊豆長岡駅からもバスで10分ほどの位置にある。大正時代から多くの文豪や政治家の別荘地として栄え、日本でも数台だった自動車が伊豆長岡温泉で走るなど、戦後から昭和後期にかけて、多くの観光客で温泉場通りは下駄の音が聞こえない日はないほど賑わった。しかし、近年の旅行ニーズの変化や施設の老朽化、担い手不足、新型コロナウイルスなどの影響もあり、温泉場エリアでは温泉街のシンボルだった「南山荘」の休業をはじめ、廃業する旅館が増加している。旅館の跡地は放置または住宅地として開発が進み、温泉街の景観が失われつつある状況におかれている。



出典：伊豆の国市全景



昭和30年代の温泉場出逢い通り



現在の温泉場出逢い通り

一方、オリンピックをきっかけに自転車による健康・スポーツをきっかけとしたコミュニティづくり・まちづくりの機運が高まり、世界的自転車メーカー「メリダ」の拠点施設が市内道の駅「伊豆のへそ」にオープンし、狩野川沿いを中心に周辺自治体と連携したサイクリングコースなども整備されつつある。エリア周辺には世界遺産韮山反射炉や国指定重要文化財の江川邸、国宝運慶作諸仏を安置する願成就院をはじめ、多くの歴史・文化資源が残り、2022年にはこの地を舞台にしたNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送が決定している。

本市は、歴史・文化エリアや、いちご狩り等が有名な観光農業エリア、古くからある伊豆長岡温泉周辺の温泉場エリア、そして伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの主要ジオサイトである葛城山や城山、伊豆半島において歴史的・文化的にも重要な河川である狩野川が流れ、近年はスポーツ・アクティビティによる観光誘客が期待できる狩野川・城山・葛城山周辺エリアを有している。



図 2-1：伊豆の国市の特徴ある 4 エリア



伊豆のへそ MERIDA X BASE



世界遺産となった韮山反射炉



スポーツ・アクティビティによる観光誘客

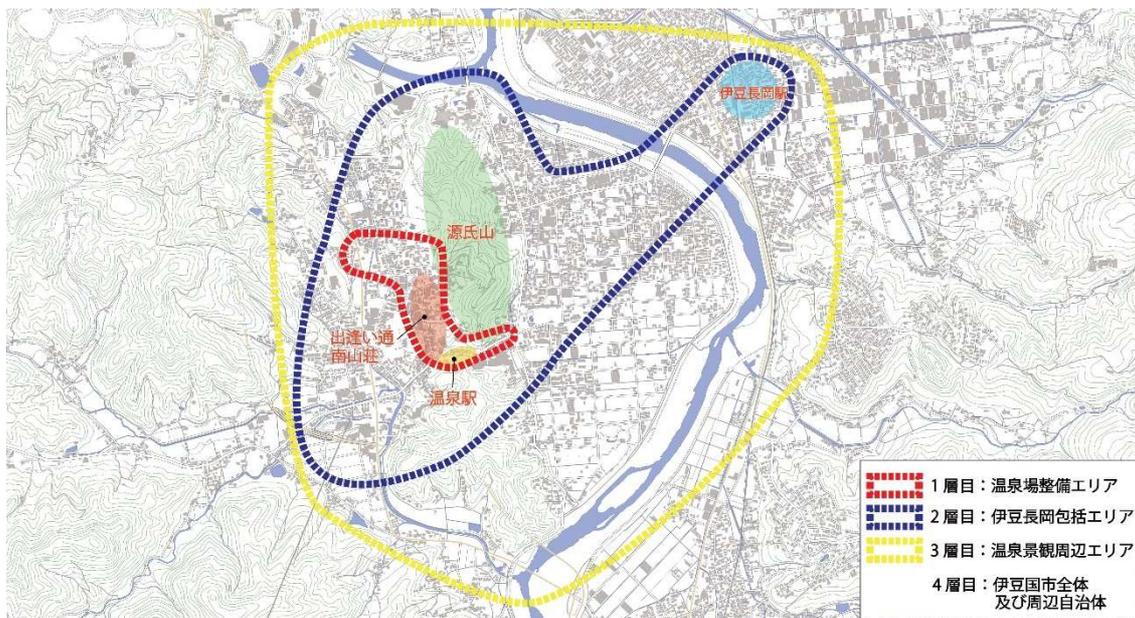


国指定重要文化財の江川邸

2-2 未来ビジョン策定エリアと立地適正化計画

(1) 未来ビジョン策定エリア

未来ビジョンの策定にあたり、エリア設定を下記の4層で想定した。未来ビジョンの策定対象エリアとしては都市機能誘導区域かつ、観光地エリア景観計画で定めた温泉景観エリアを含む、3層目の温泉景観周辺エリアまでを策定範囲とする。



図：未来ビジョン策定エリア

<1層目：温泉場整備エリア>

立地適正化計画の居住誘導区域、都市機能誘導区域に属した伊豆長岡温泉の中心エリアであり、商業地域であることから、今後の温泉場のまちづくり賑わいづくり考えるうえで様々な可能性がある重要なエリアである。現在は遊休施設であった南山荘を活用した、温泉場お散歩市が出逢い通りで毎月開催されている。ミライ会議では毎月行われるお散歩市に合わせて、様々な賑わいづくりの社会実験やアンケートの実施等を行いながら、定期的に市民のまちづくりへの関心や意識が高まる工夫を行っていく。今後遊休施設の利活用や、温泉駅の建て替え、順天堂前の道路拡幅及び公園整備が控えており、まちづくりの中心かつ先導エリアとして位置付ける。

<2層目：伊豆長岡包括エリア>

温泉場への主要駅である伊豆長岡駅、主要動線上にある千歳橋堤外地公園、源氏山を挟んで長岡温泉と古奈温泉を含む伊豆長岡温泉全体を包括するエリアである。近年では温泉街のシンボルだった「南山荘」の休業をはじめ、廃業する旅館が増加しており、旅館の跡

地は放置または住宅地として開発が進み、温泉街の景観が失われつつある状況にある。温泉場に至る伊豆長岡駅からの主要動線上の賑わい空間や風情のある街並みづくりが課題である。またエリア内には公共施設再配置を控えた公共施設が複数あり、今後は公民連携した利活用の可能性が多く存在する。また古くから古奈温泉と長岡温泉が源氏山によって分断されているため、伊豆長岡温泉としての一体感と温泉場の風情を楽しめる、遊歩道の整備、周遊経路の整備、及び源氏山の活用が期待されている。

<3層目：温泉景観周辺エリア>

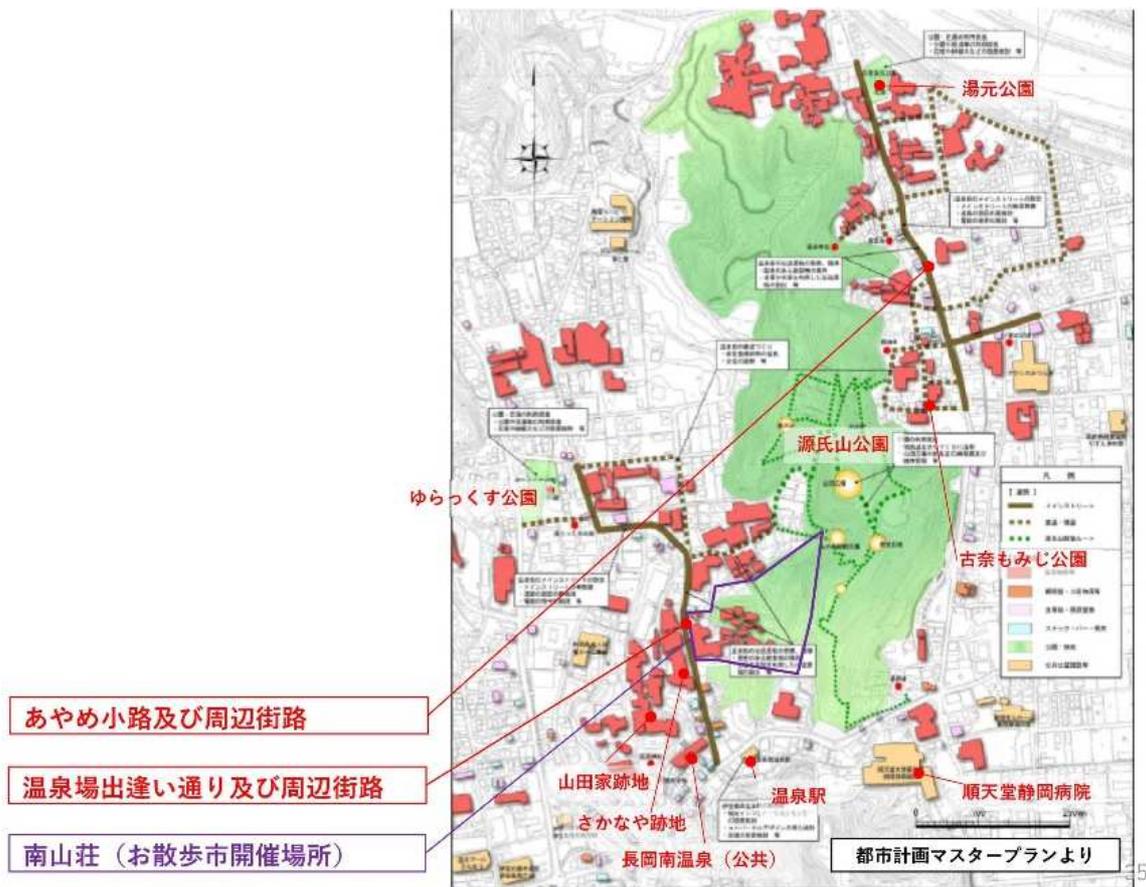
観光地エリア景観計画で設定された温泉景観エリアである。サイクリングロードがある狩野川やリバーサイドパークなどの公園もあり、観光客だけでなく、市民にとって憩いの場となる空間の設え、イベント等での活用による賑わいづくりが期待されるエリアでもある。またエリア間を縦断する狩野川のサイクリングロードは、葛城山や城山などの狩野川沿いの自然景観を楽しみながら、沼津と修善寺を繋ぐ自転車の周遊経路として特に重要であるが、現状ではスマホ等のナビゲーションに頼らない、自転車利用者にむけたわかりやすい誘導サインなどが不足している。

また全国でも珍しく温泉街の大半の用途地域が商業地域に位置付けられ、都市計画マスタープランにおいて「温泉観光地区」に設定され、立地適正化計画等では都市機能誘導区域に設定されており、コンパクト&ネットワークのまちづくりを推進していく伊豆の国市として重要なエリアである。

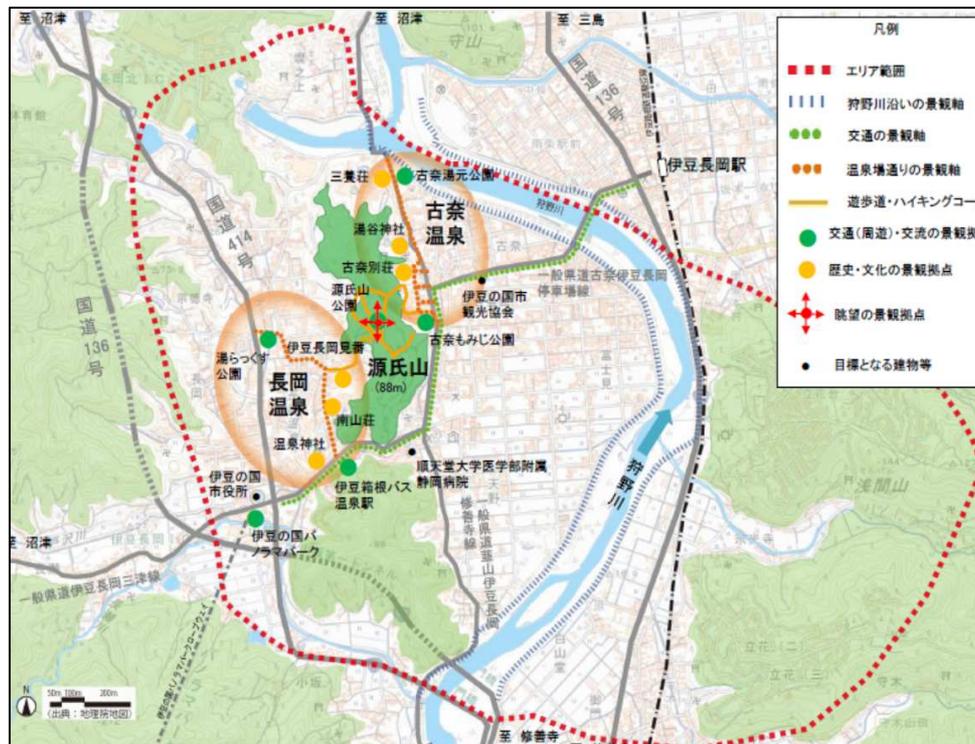
昨年度は静岡県での推進する観光地エリア景観計画の策定が行われ、「温泉景観エリア」として景観保全と観光誘客の両立を目指している。

<4層目：伊豆の国市を含む周辺自治体等>

未来ビジョンの策定では、温泉場の3層目以外のエリアとの産業の重ね合わせや、周辺自治体との周遊の取り組みの連携、都心の人材との交流など、相乗効果を生み出すことが今後は特に重要であると考えられるため、4層目として伊豆の国市を含む周辺自治体等を設定。



図：都市計画マスタープランより



図：伊豆の国市観光地エリア景観計画より

(2) 立地適正化計画

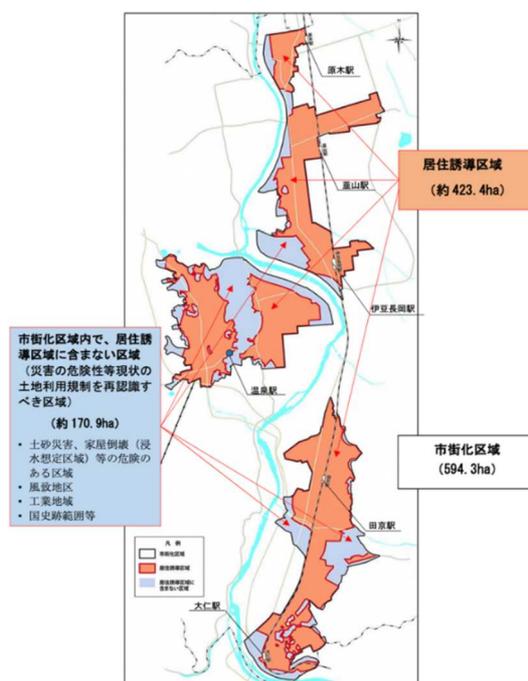
本市では、将来の都市構造の具現化に向け、拡散した市街地の見直しを始め、安全で効率的な居住と経済活動の場や公共交通の充実の実現、鉄道駅周辺区域の人口密度の維持とといったまちづくりの方針を「立地適正化計画」に位置付け、平成30年6月1日に伊豆の国市立地適正化計画が策定された。ダウンサイジングのまちづくりによる集約型の都市が意図されているが、計画の中では産業や観光については明記されているわけではないので、未来ビジョンを策定するにあたっては、各エリアの産業や観光の重ね合わせと立地適正化計画をセットで考えていく必要がある。

<居住誘導区域>

人やもの、都市の基盤が集まり、安全で安心、利便性の高い良好な市街地環境を今後も維持するために、市街化区域内において、積極的、優先的に居住区域の維持、更新、整備を行う地域とし、区域内への適切な誘導を進める。未来ビジョンの策定エリア内は、ほとんどが居住誘導区域に指定されるが、源氏山や狩野川沿いの一部地域は居住誘導区域には含まれていない。

【都市機能誘導区域】

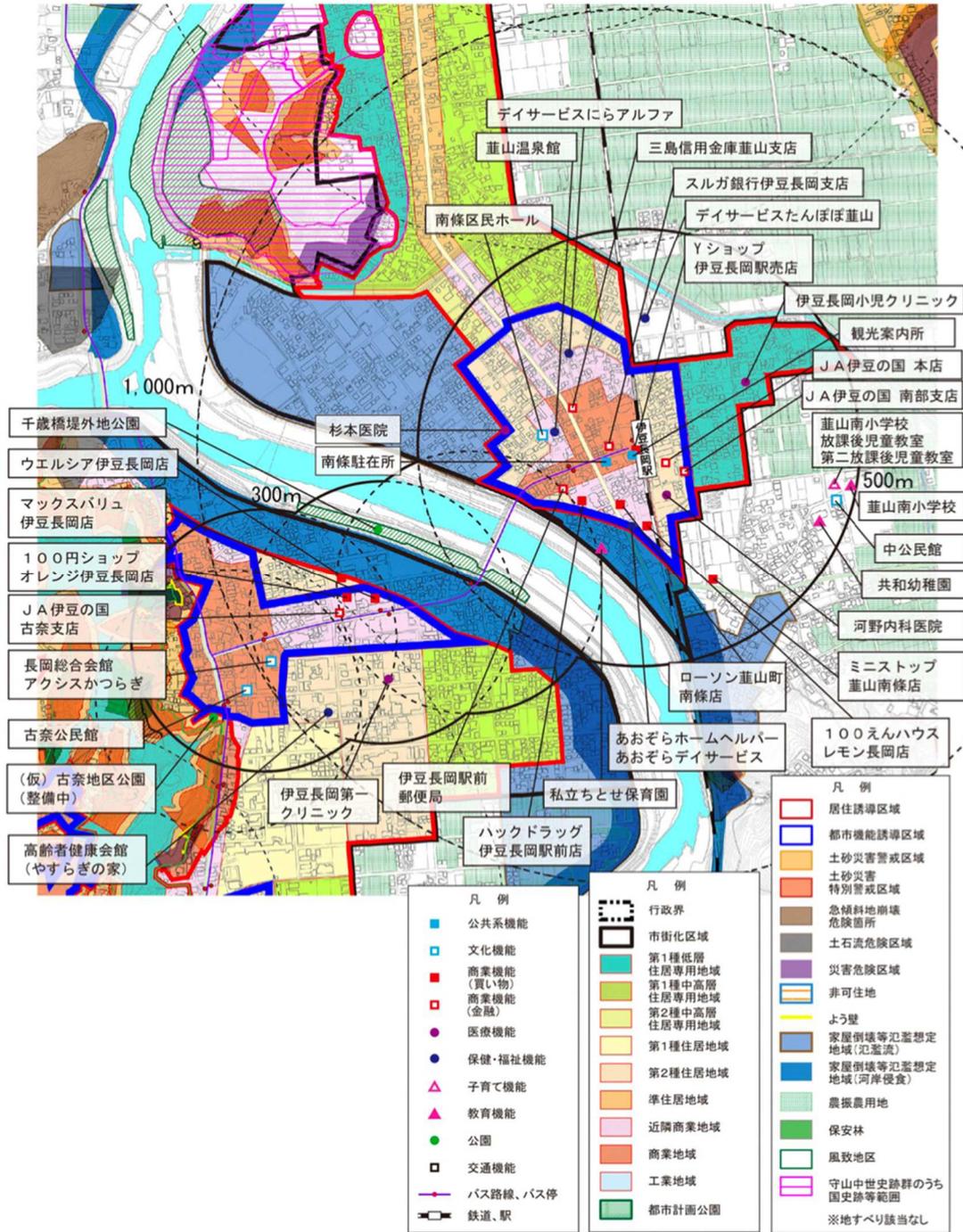
医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域であり、未来ビジョンの策定エリア内は伊豆長岡駅周辺区域や温泉駅周辺区域が都市機能誘導区域として指定されている。



図：居住誘導区域 立地適正化計画より引用

都市機能誘導区域		
a	伊豆長岡駅周辺区域 (約 30ha)	交通軸である、基幹的公共交通路線(伊豆箱根鉄道駿豆線及び基幹的公共交通路線となるバス路線)の結節点である伊豆長岡駅周辺の利便性を活かし、多様な都市機能を集積し、拠点の形成を図る区域
c	温泉駅周辺(順天堂大学医学部附属静岡病院周辺及び温泉駅、市役所周辺)区域 (約 40ha)	<ul style="list-style-type: none"> ・順天堂大学医学部附属静岡病院を中心に医療拠点機能の拡大を図る区域 ・温泉駅、市役所周辺の公共系施設、福祉系施設の集積を生かし、拠点形成を図る区域

a 伊豆長岡駅周辺区域(約 30ha)



図：伊豆の国市 立地適正化計画より引用

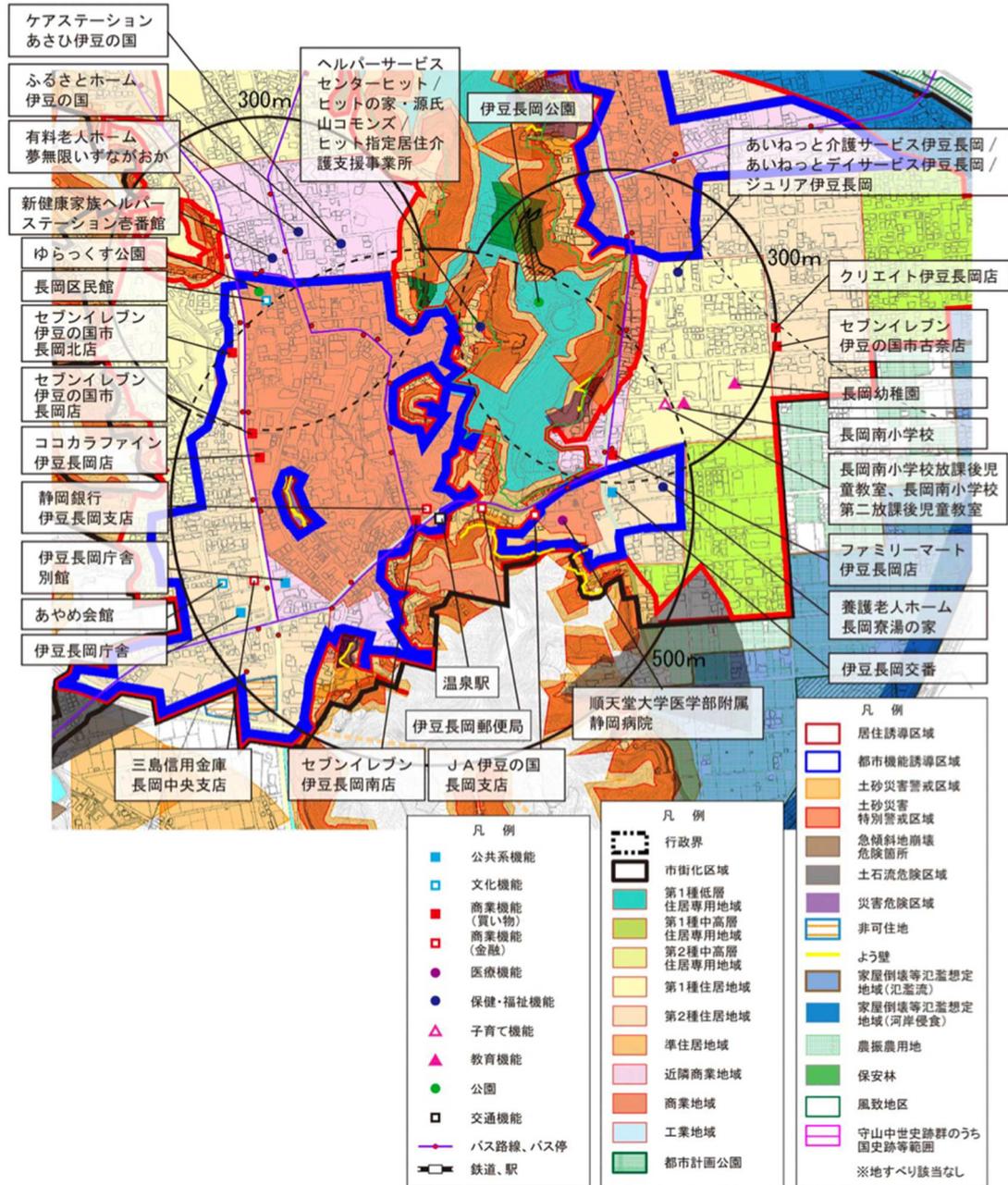
用途地域：第2種住居地域、近隣商業地域、商業地域

番号	区分	施設例	都市機能の有無(数)	施設名
A	公共系機能	市役所	0	—
		支所	0	—
		窓口サービス等	1	観光案内所
		警察署、派出所、駐在所	1	南條駐在所
B	文化機能	市民交流施設 (総合会館、区民ホール等)	2	長岡総合会館アクシスかつらぎ、南條区民ホール
		図書館	0	—
		公民館	1	古奈公民館
C	商業機能 (買物)	大規模商業施設(1,000㎡以上)	2	マックスバリュ伊豆長岡店、ハックドラッグ伊豆長岡駅前店
		スーパーマーケット等	3	ウエルシア伊豆長岡店、100円ショップオレンジ伊豆長岡店、100えんハウスレモン長岡店
		コンビニエンスストア	2	Yショップ伊豆長岡駅売店、ローソン葦山町南條店、
D	商業機能 (金融)	銀行等(郵便局、信用金庫)	6	スルガ銀行伊豆長岡支店、三島信用金庫葦山支店、伊豆長岡駅前郵便局、JA伊豆の国本店、JA伊豆の国南部支店、JA伊豆の国古奈支店
E	医療機能	病院(※2)	0	—
		一般診療所(※3)	4	伊豆長岡小児クリニック、河野内科医院、杉本医院、伊豆長岡第一クリニック
F	保健・福祉機能	地域包括支援センター	0	
		保健センター	4	葦山温泉館、高齢者健康会館(やすらぎの家)、デイサービスにらアルファ、あおぞらホームヘルパー/あおぞらデイサービス
		高齢者福祉施設		
		施設系介護施設(※4)		
訪問・通所施設				
G	子育て機能	子育て総合支援センター、児童館	0	—
		学童保育施設(放課後児童教室)	0	—
H	教育機能	小・中学校等	0	—
		幼・保・認定子ども園	0	—
計			26	
I	公園機能	公園	2	千歳橋堤外地公園、(仮)古奈地区公園(整備中)
J	交通機能	鉄道駅(基幹的公共通路線)	1	伊豆長岡駅
		バス停(基幹的公共通路線)	6	
		公共系駐車場	1	駅前駐車場(伊豆箱根鉄道)

※ただし、ハザード内に立地する都市機能は除く

図：伊豆の国市 立地適正化計画より引用

c 温泉駅周辺(順天堂大学医学部附属静岡病院周辺、
温泉駅及び市役所周辺) 区域(約 40ha)



図：伊豆の国市 立地適正化計画より引用

用途地域：第2種住居地域、近隣商業地域、商業地域

番号	区分	施設例	都市機能の有無(数)	施設名
A	公共系機能	市役所	1	伊豆長岡庁舎
		支所	0	—
		窓口サービス 等	0	—
		警察署、派出所、駐在所	1	伊豆長岡交番
B	文化機能	市民交流施設 (総合会館、区民ホール等)	0	—
		図書館	0	—
		公民館	2	長岡中央公民館(あやめ会館)、長岡区民館
C	商業機能 (買物)	大規模商業施設(1,000㎡以上)	1	クリエイト伊豆長岡店
		スーパーマーケット等	1	ココカラファイン伊豆長岡店
		コンビニエンスストア	5	ファミリーマート伊豆長岡店、セブンイレブン伊豆長岡南店、セブンイレブン伊豆の国市長岡北店、セブンイレブン伊豆の国市長岡店、セブンイレブン伊豆の国市長岡古奈店
		銀行等(郵便局、信用金庫)	3	静岡銀行伊豆長岡支店、三島信用金庫長岡中央支店、JA 伊豆の国長岡支店
E	医療機能	病院(※2)	1	順天堂大学医学部附属静岡病院
		一般診療所(※3)	0	—
F	保健・福祉機能	地域包括支援センター	0	—
		保健センター	6	養護老人ホーム長岡寮湯の家、有料老人ホーム夢無限いずながおか、ふるさとホーム伊豆の国、新健康家族壱番館/新健康家族ヘルパーステーション壱番館、あいねっと介護サービス伊豆長岡/あいねっとデイサービス伊豆長岡/ジュリア伊豆長岡、ケアステーションあさひ伊豆の国、等
		高齢者福祉施設		
		施設系介護施設(※4)		
		訪問・通所施設		

図：伊豆の国市 立地適正化計画より引用

・都市機能誘導区域内に誘導する誘導施設の設定の考え方

番号	都市機能	施設例	区分	a.伊豆長岡駅 周辺区域	b.田京駅周辺 区域	c.温泉駅周辺 (順天堂大学医学 部附属静岡病院 周辺及び温泉駅、 市役所周辺)区域
A	公共系 機能	市役所	ア	公共施設の機能更新、統廃合を視野に入れ、誘導施設に設定する		
		支所				
		窓口サービス				
B	文化 機能	警察署、派出所、駐在所	イ	現状の機能を維持する		
		市民交流施設 (総合会館、区民ホール等)				
		図書館				
C	商業 機能 (買物)	大規模商業施設	ア	利便 定す (※ 現状		設に設 調整)
		銀行等(郵便局、信用 金庫)				
D	商業 機能 (金融)	病院(※2)				
E	医療 機能					
F	保健・ 福祉 機能	地域包括支援センタ ー	イ	本市の特徴である医療機関の立地を活かすため、病床のある医療施設を誘導施設に設定する		
		保健センター				
		高齢者福祉施設				
		施設系介護施設 (※4)				
		訪問・通所施設				

未来ビジョン策定エリア内
には現在図書館がない状態

図：伊豆の国市 立地適正化計画より引用

未来ビジョン策定エリア内には最寄りの図書館がない状態が続いているため、地域住民にとって今後設置が望まれる施設用途の一つとしてあげられる。現在、お散歩市での南山荘や温泉駅などで行われている「旅する古本」の活動や、ココブンコさんの読み聞かせなど、民間主導の図書活動が行われており、住民の期待度も高い。

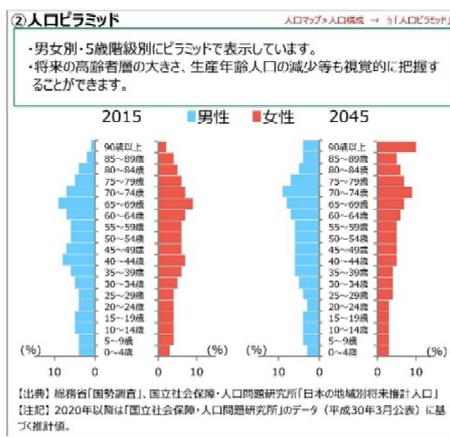
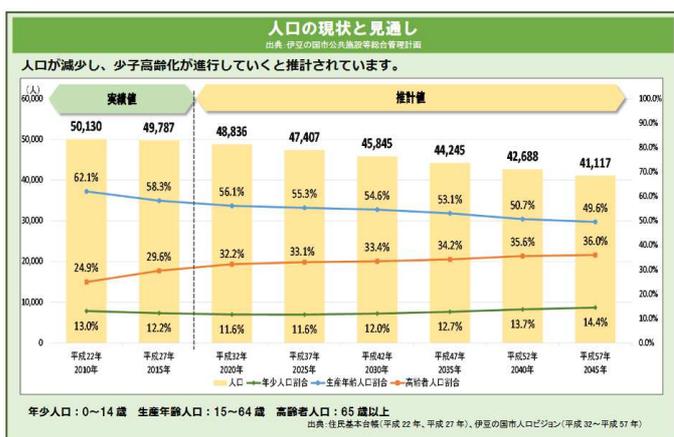
2-3 人口・世帯分析（現状／強みと弱み）

伊豆の国市全体の人口の現状と見通しとしては、生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加が進行していくとされている。今度少子高齢化に対応した「暮らしの安心」をどのように確保していくのが課題となってくるのが予測される。

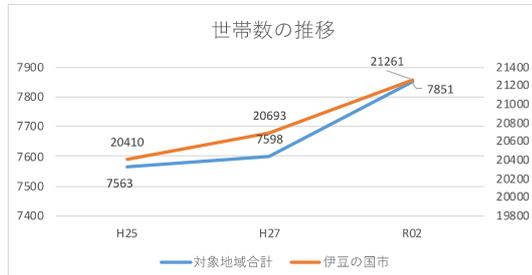
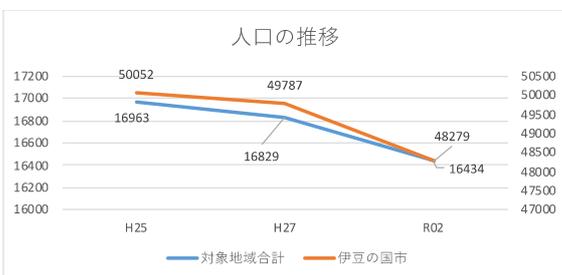
<2020→2045 の推計値>

生産年齢人口：2020→2045 -6.5%

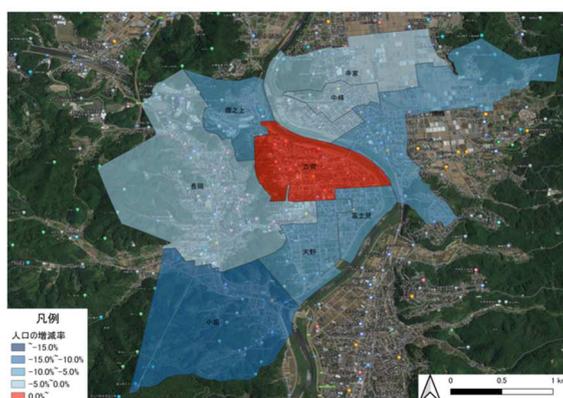
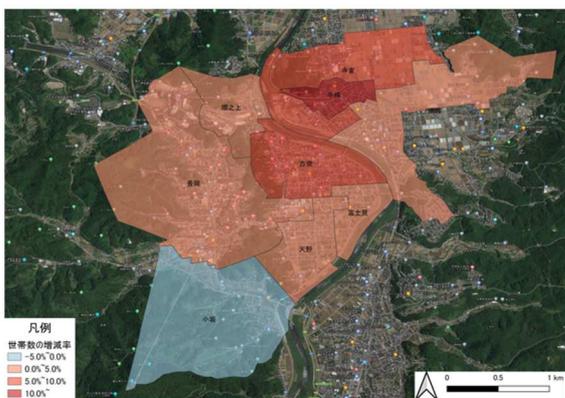
高齢者人口：2020→2045 +3.8%



<対象エリア周辺の人口と世帯数の推移>

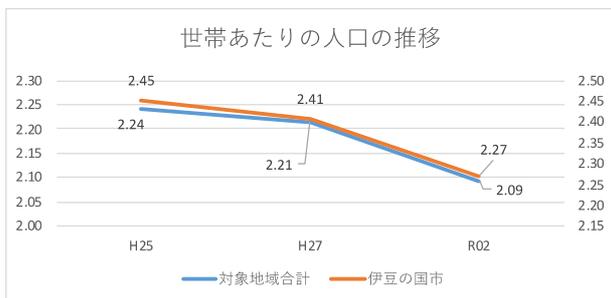


<人口増加率と世帯増加率>



小坂エリア以外は世帯数が微増しているが、人口は古奈を除き減少している。

<一世帯あたりの人口推移>



・対象エリア内にはどのくらいの人数がいるのか？

地区名	世帯	男	女	合計
棚之上	105	129	126	255
古奈	1,545	1,574	1,804	3,378
天野	648	508	624	1,132
長岡	2,194	1,958	2,230	4,188
小坂	252	275	313	588
富士見	345	413	425	838
長瀬	95	115	132	247
戸沢	26	40	27	67
花坂	24	27	21	48
谷戸	158	202	188	390
仲之台	198	240	248	488
鳥打	160	204	224	428
珍野	78	110	104	214
町屋	303	298	360	658
大北	121	167	157	324
千代田	301	356	372	728
長塚	121	127	140	267
伊豆長岡地区合計	6,674	6,743	7,495	14,238
うち外国人	131	83	140	223

※市ホームページより

<伊豆の国市の人口>

・長岡地域、古奈地域の人口は多いが確実に減ってる・・・長岡で4188人、古奈で3378人

<順天堂>

医師(常勤換算※1) 約230人
 看護師(常勤換算※1) 約680人
 職員 約790人 } 1,700人
 入院患者(1日平均・一般病床のみ) 575人
 外来患者(1日平均) 1,664人

※1:非常勤医師, 非常勤看護師, 准看護師の常勤換算人数含む

<観光客>

温泉旅館宿泊 1,900人/日
 パノラマ来訪 1,000人/日

現状

*人口

- ・人口は全市、対象エリア共に過去8年間で減少傾向にある
- ・伊豆の国市の減少率は3.5%、対象エリアの減少率は3.1%
- ・温泉旅館が多く立地する古奈地域の増減率は0.2%と非常に小さい
 (→H27には増加したが、R2に向けて減少 →結果8年スパンでは増減率微弱、)
- ・古奈同様、温泉旅館が多い長岡地域も増減率が比較的小さい

*世帯数

- ・世帯数は全市、対象エリア共に増加傾向にある
- ・増加率は全市が4.2%、対象エリアが3.8%
- ・小坂地域以外で増加傾向にある
- ・人口減少にありながら、世帯数は増加傾向にあり、世帯あたりの構成人数が減っている状況。

強 み

・人口は多くのエリアで減少傾向にあるが、世帯数は増加しており、住宅の需要は見込まれる。エリア内には順天堂病院の職員の住まいなど定量的に定住人口は見込める。

弱 み

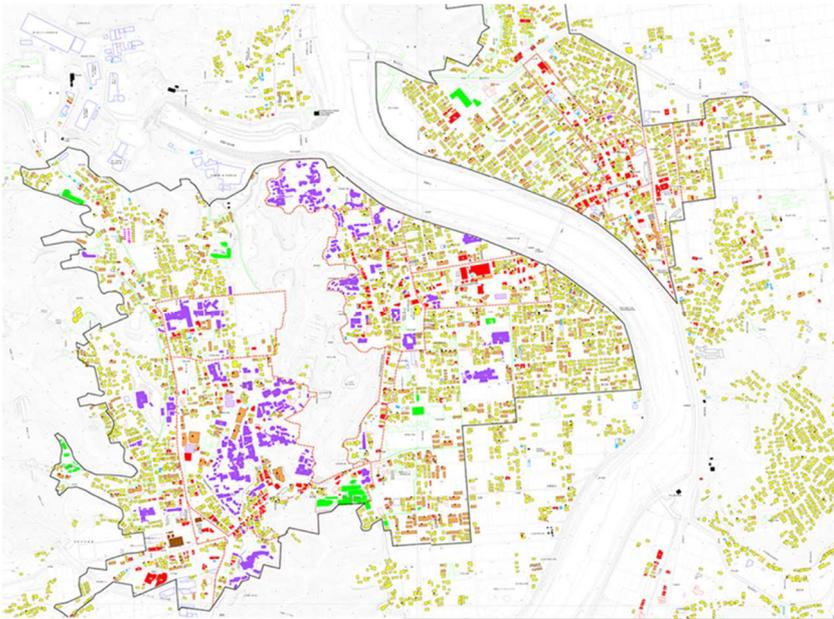
・1世帯あたり2.09人と少ない。今後エリア内の介護課題や子育て世代の定住が課題となってくる。

・順天堂病院は、エリア内にあるものの温泉場との関係性が少なく、今後は温泉場エリアが観光客だけでなく、市民や順天堂病院の職員や来院者への憩いの場になることも求められるが、現状ではまだ拠点がないため関係性が少ない状態が続くことが予測される。

2-4 宿泊施設・店舗・事業所・住居・空き屋分析（現状／強みと弱み）

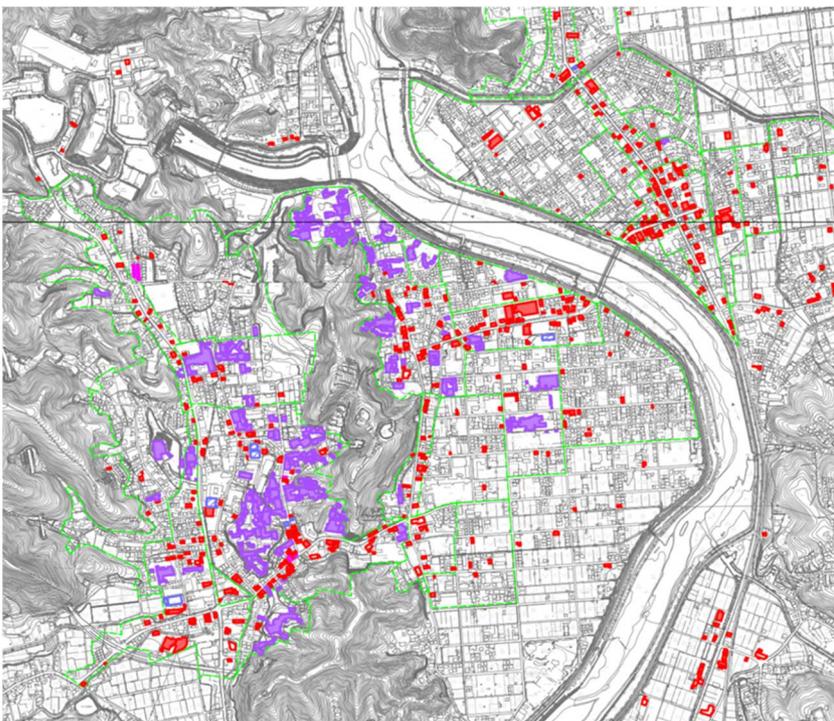
源氏山周辺に宿泊施設が分布し、幹線道路沿いに商業施設が分布している。（平成 27 年度都市計画基礎調査より抜粋。）近年急増している旅館の廃業などの詳細な推移については、次回の都市計画基礎調査の結果を待たなければならないが、かつて 50 軒以上あった旅館が現在 30 軒弱まで減少している状況がある。

・全施設_分布図①



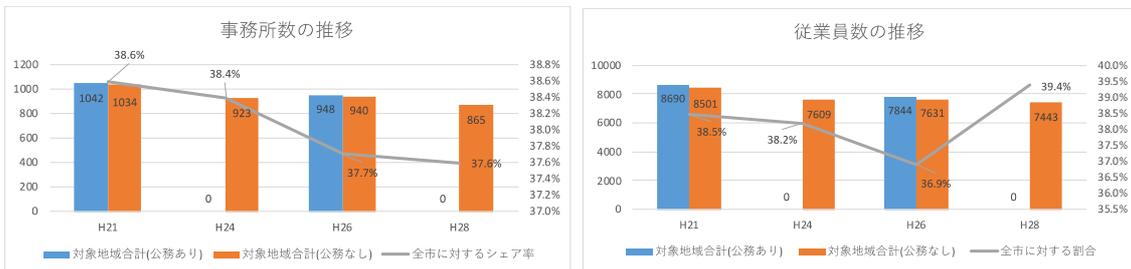
施設種別	説 明	表 示 方 式
1. 倉庫	業務用倉庫（建設費が50万円未満、延床面積が100㎡未満）	黄色
2. 事務所	ビルド、マンション、倉庫、事務所、店舗	赤
3. 娯楽施設	娯楽施設（延床面積が50㎡未満）	赤
4. 商業施設	商業施設（延床面積が50㎡未満）	赤
5. 宿泊施設	宿泊施設（延床面積が50㎡未満）	赤
6. 業務施設	業務施設（延床面積が50㎡未満）	赤
7. 商業施設 (A)	商業施設 (A)（延床面積が50㎡以上100㎡未満）	赤
8. 商業施設 (B)	商業施設 (B)（延床面積が100㎡以上200㎡未満）	赤
9. 商業施設 (C)	商業施設 (C)（延床面積が200㎡以上500㎡未満）	赤
10. 娯楽施設 (A)	娯楽施設 (A)（延床面積が50㎡以上100㎡未満）	赤
11. 娯楽施設 (B)	娯楽施設 (B)（延床面積が100㎡以上200㎡未満）	赤
12. 娯楽施設 (C)	娯楽施設 (C)（延床面積が200㎡以上500㎡未満）	赤
13. 業務施設 (A)	業務施設 (A)（延床面積が50㎡以上100㎡未満）	赤
14. 業務施設 (B)	業務施設 (B)（延床面積が100㎡以上200㎡未満）	赤
15. 業務施設 (C)	業務施設 (C)（延床面積が200㎡以上500㎡未満）	赤
16. 娯楽施設 (A)	娯楽施設 (A)（延床面積が50㎡以上100㎡未満）	赤
17. 娯楽施設 (B)	娯楽施設 (B)（延床面積が100㎡以上200㎡未満）	赤
18. 娯楽施設 (C)	娯楽施設 (C)（延床面積が200㎡以上500㎡未満）	赤
19. 業務施設 (A)	業務施設 (A)（延床面積が50㎡以上100㎡未満）	赤
20. 業務施設 (B)	業務施設 (B)（延床面積が100㎡以上200㎡未満）	赤
21. 業務施設 (C)	業務施設 (C)（延床面積が200㎡以上500㎡未満）	赤
22. その他	その他	赤

・特定施設_分布図②（紫：宿泊施設 赤：商業施設）

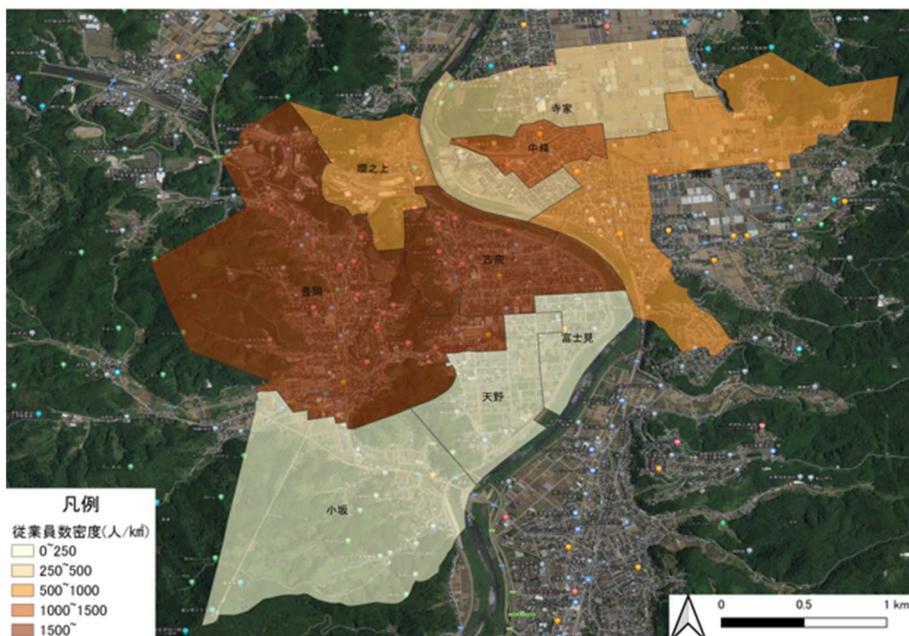


分類	表示
業務施設	赤
商業施設 (A)	赤
商業施設 (B)	赤
商業施設 (C)	赤
宿泊施設	紫
娯楽施設 (A)	赤
娯楽施設 (B)	赤
娯楽施設 (C)	赤
遊戯施設 (A)	赤
遊戯施設 (B)	赤
商業系業務施設	赤
都市計画区境界	赤
用途区境界	赤

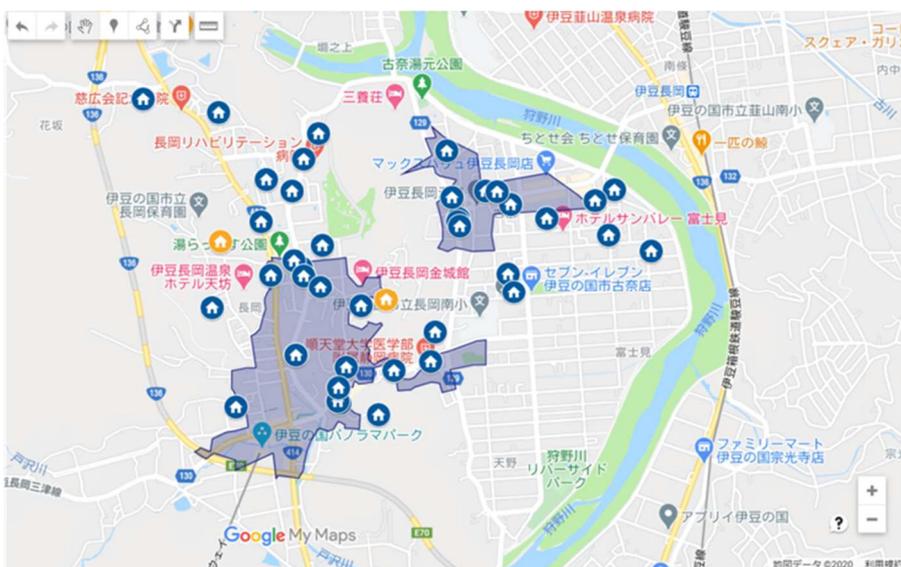
<事業所数と従業員数の遷移>



<従業員数密度分布>



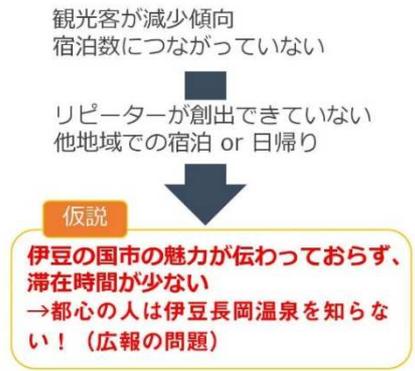
<空き家分布図>



※現在、廃業する旅館を含め長岡地区、古奈地区で45件の特定空き家が存在



引用：静岡県観光政策課 静岡観光交流の動向
(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/toukeikikakuhari/data/tyoukijikeiretu/kankou.html>)



また観光客の推移を見ていくと、全体としては右肩下りの状況で、韮山反射炉が世界遺産に登録された2015年は観光レクリエーション客数、観光交流客数とも伸びているが、宿泊客数が伸びていないなど、観光と宿泊が結びついていない現状がある。日帰りまたは他の地域での宿泊とならないよう、伊豆の国市内で多数の観光地があることのアピールが今まで以上に必要と思われる。

土日祝日の部屋の稼働は、ほぼ100%程度あるが、4～8人の大部屋に2人程度で宿泊しており、今までの社員旅行や合宿等の多人数での宿泊から、少人数の個人客が増える宿泊形態が移行する中、旅館側のハード面に対応しなければならない課題もある。また平日どのように宿泊客を増やせるかが課題である。

そのために必要なデータの蓄積方法なども今後検討が必要である。

現状

- ・旅館の廃業も含め45の空き家が存在し、まちの中心地として利活用が求められる。
- ・日帰りの観光にとどまっており宿泊に結びついていない。
- ・対象エリアの事業所数・従業員数はともに減少傾向、対して全市に対するシェア率は増加している

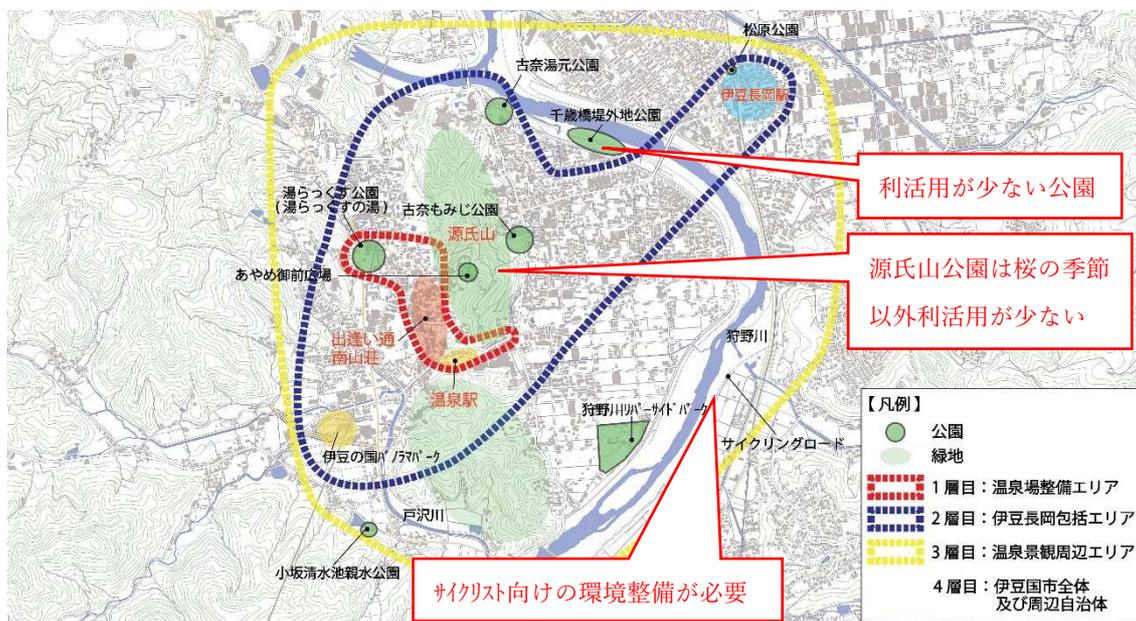
強み

- ・エリア内の多くは商業地域のため用途的に様々な展開可能性がある。

弱み

- ・大人数の宿泊客から少人数への宿泊に移行しており、客室対応の難しさ（ハード面）
- ・旅館の廃業に伴い、商業施設も廃業する可能性がある。

2-5 公園・緑地・河川の分布（現状／強みと弱み）



図：公園・緑地・河川の分布

伊豆の国市 HP「公園・スポーツ施設」より
<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/sports/shisetsu/kouen/index.html>
 伊豆の国市 HP「公園・スポーツ施設」より
<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/sports/shisetsu/kouen/index.html>

1層目：温泉場整備エリア		
公園	源氏山公園	静岡県伊豆の国市長岡字満法院他
公園	湯らっくす公園	静岡県伊豆の国市長岡 613-1
2層目：伊豆長岡包括エリア		
公園	千歳橋堤外地公園	静岡県伊豆の国市古奈（河川敷）
公園	古奈もみじ公園	静岡県伊豆の国市古奈 60-1
河川	狩野川	
河川	戸沢川	
広場	あやめ御前広場	静岡県伊豆の国市長岡 1343
3層目：温泉景観周辺エリア		
公園	狩野川リバーサイドパーク	静岡県伊豆の国市天野 444
公園	小坂清水池親水公園	静岡県伊豆の国市小坂 268
公園	松原公園	静岡県伊豆の国市南條
エリア外		
葦山運動公園	蛭が島公園	女塚史跡公園
さつきヶ丘公園	狩野川さくら公園	鍋沢ふれあい公園
江間グラウンド	山木グリーン公園	守木川野公園
広瀬公園	守山西公園	大仁青木公園
大堤池親水公園	城池親水公園	大仁淵端公園
千代田団地公園	神島グラウンド	反射炉自然公園
壱之上堤外地公園	市民の森浮橋	中島公園
時代劇場公園	田京仲丸公園	古奈もみじ公園

足湯一覧	
1層目：温泉場整備エリア	
湯らっくす公園	伊豆の国市長岡 613-1
出逢湯	伊豆の国市長岡 1056-1
2層目：伊豆長岡包括エリア	
姫のあし湯	伊豆の国市古奈 255（長岡総合会館アクシスカつらぎ敷地内）
古奈湯本公園	伊豆の国市古奈 1199-3



伊豆の国市及び狩野川の現状

出典：https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/tosikei/documents/02_genjou.pdf

現 状

- ・エリア内には複数の公園があるが、利活用があまりできていない公園や、特定の季節だけの利用にとどまっている公園などがある
- ・エリアを縦断するように、太平洋側の川としてはめずらしく南から北に向かって狩野川が流れている。
- ・本市の計画にかわまちづくり関連の施作が組み込まれている。
- ・狩野川流域を走るサイクリングやランニングなど、年間を通じて温暖な気候を活かしたスポーツツーリズムが活発に実施されている。
- ・本市を中心とする狩野川流域を自転車で楽しんでもらうためのレンタサイクル「狩野川ペロ」を伊豆の国市観光協会が展開しており、市内の観光案内所等で自転車（電動アシストサイクル、クロスバイク、子供用マウンテンバイク等）を貸出している。

第2次伊豆の国市総合計画における、かわまちづくりの関連施作

- ・観光推進体制の強化と交流人口の拡大
- ・歴史・文化・芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進
- ・健康長寿を目指すまちづくりの推進

伊豆の国市観光基本計画における、かわまちづくりの関連施作

『歴史資源を活かす観光地づくり』の一つとして「ものがたり性のある回遊ルートの創出」、『健康・スポーツによる交流づくり』の一つとして「スポーツツーリズムの推進」を位置づけ

伊豆の国市緑の基本計画における、かわまちづくりの関連施作

狩野川周辺の整備・活用として、狩野川ツーリズムによる狩野川全体の利活用（サイクリングやカヌー等のスポーツと連携することで、狩野川全体の利用を促進）、ゾーンごとの狩野川の利活用の促進（狩野川コリドーや河川敷グラウンドを活かしスポーツ振興を図る「中島公園周辺」）を位置づけている

伊豆の国市歴史的風致維持向上計画

維持及び向上すべき歴史的風致として6つの歴史的風致を位置付け、狩野川は「狩野川をめぐる祭りと信仰にみる歴史的風致」に位置付けられている

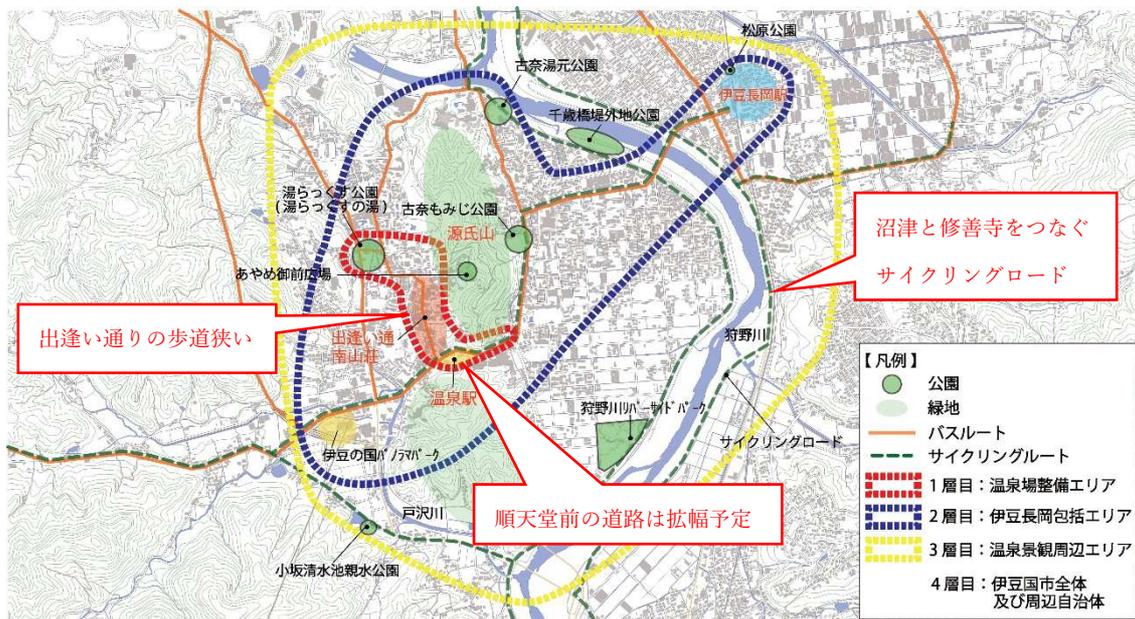
強 み

- ・エリア内に多様な地域資源（河川、公園、足湯）が分布する。

弱 み

- ・地域資源を活かしきる利活用ができていない。

2-6 交通・通路（現状／強みと弱み）



図：バスルートとサイクリングルート

< 駅別乗降客数の推移 >



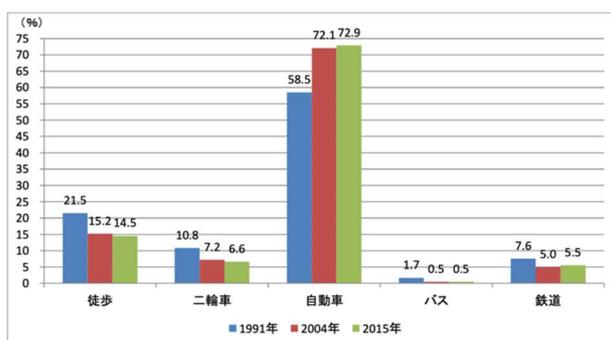
2000年：約 18,000 人/日

2014年：14,000 人/日を割り込む

→乗降客の割合は約 75%に低下。

直近の 2015 年は、乗降客数が若干増加し回復の兆しが見え始めている。

< 伊豆の国市における代表交通手段構成比 >



自動車：

1991-2004 年大きく増加

2004-2015 年微増

徒歩、二輪車：

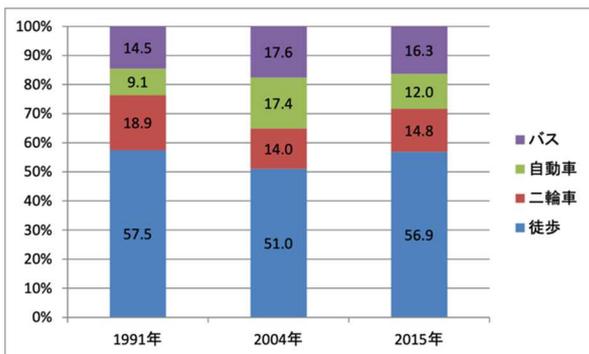
1991-2004 年大きく減少

2004-2015 年微減

バス：1991-2004 年大きく減少、2004-2015 年横ばい

鉄道：1991-2004 年減少、2004-2015 年増加

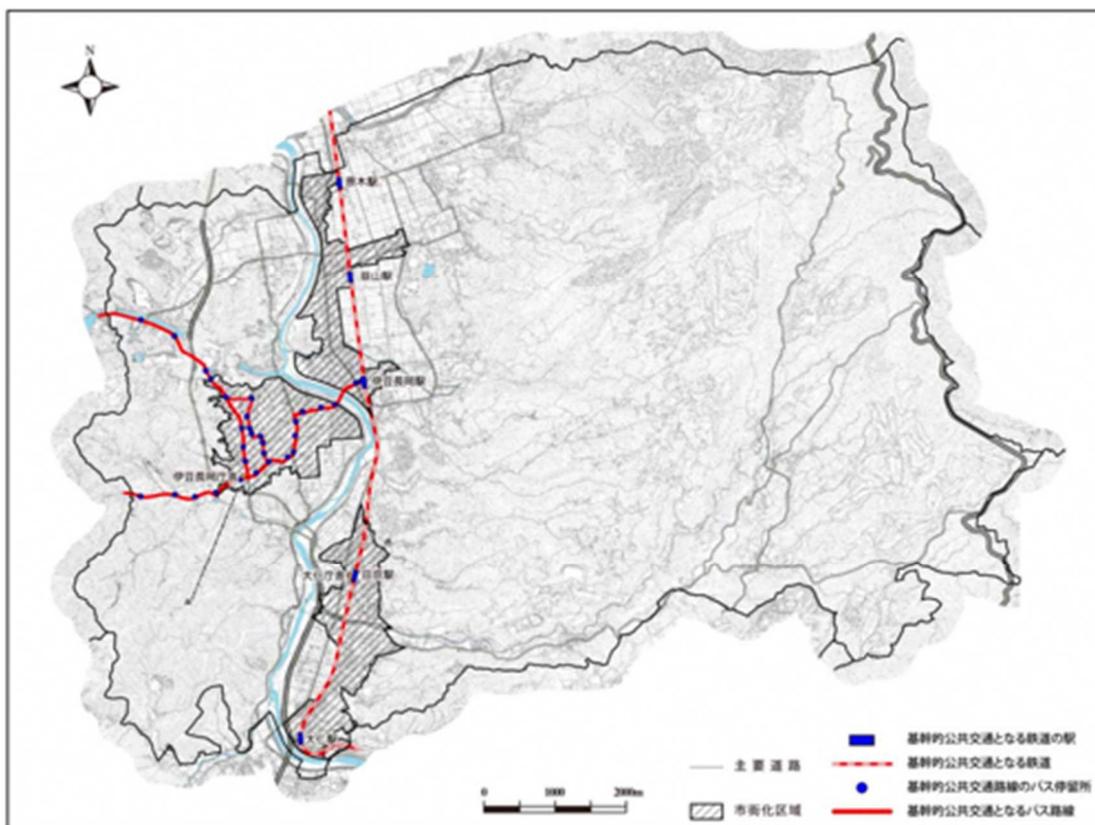
<伊豆長岡駅へのアクセス手段構成比>



徒歩・バス・二輪車の合計の割合が 90% を越えており、鉄道利用者の主要アクセス手段となっている。
中でも、徒歩が 50%強であり、鉄道と徒歩圏人口とは強い結びつきがあると言える。

→公共交通の利用増進には、駅徒歩圏のまちづくりの必要性があるとともに、公共交通の利便性の維持・向上を目的とした、基幹的公共交通路線の運行本数、運行間隔の維持が課題。

<市内の基幹的公共交通路線図>



基幹的公共交通路線となるバス路線が少ない

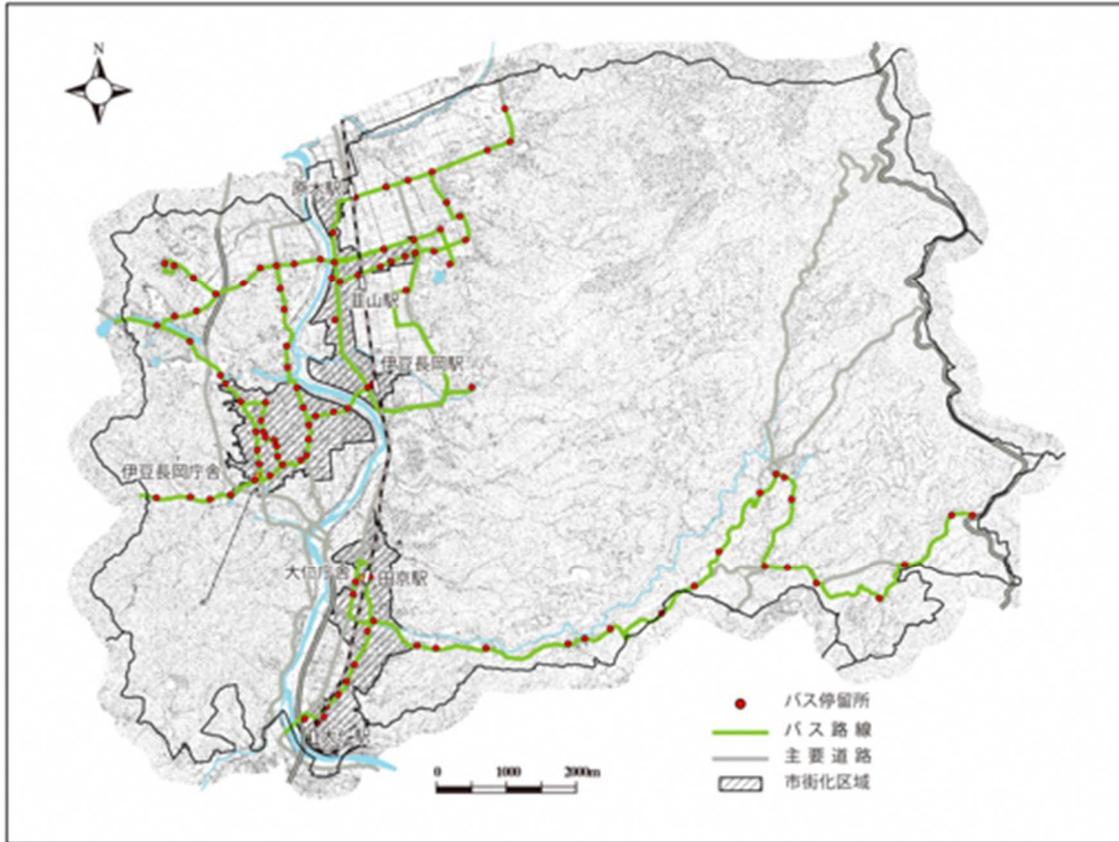
長岡駅～リハビリ病院・長塚～沼津駅

長岡駅～温泉場・伊豆の国市役所～三津シーパ ラダイス線

長岡駅～温泉場・伊豆の国市役所・宗徳寺～長岡駅

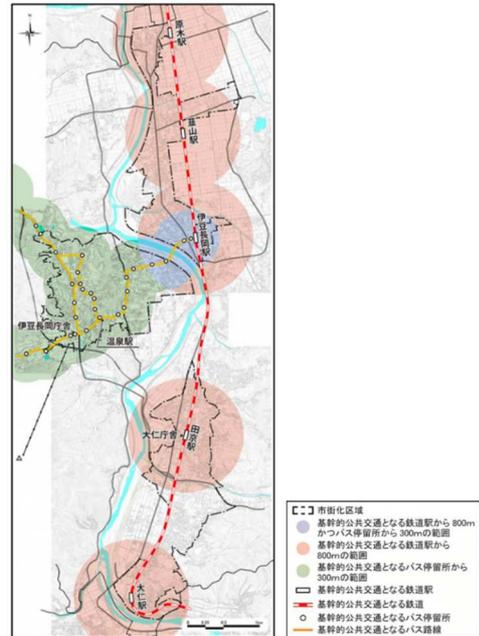
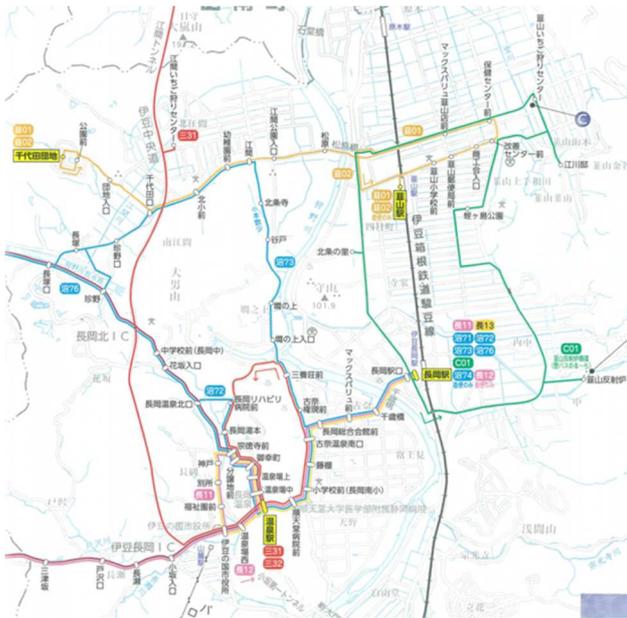
の 3 系統のバス路線

<市内のバス路線網図>



基幹的公共交通路線以外の公共交通(既存の路線及び自主運行バス、予約型乗合タクシー)や管理組合によるタウンバス等が運行されている

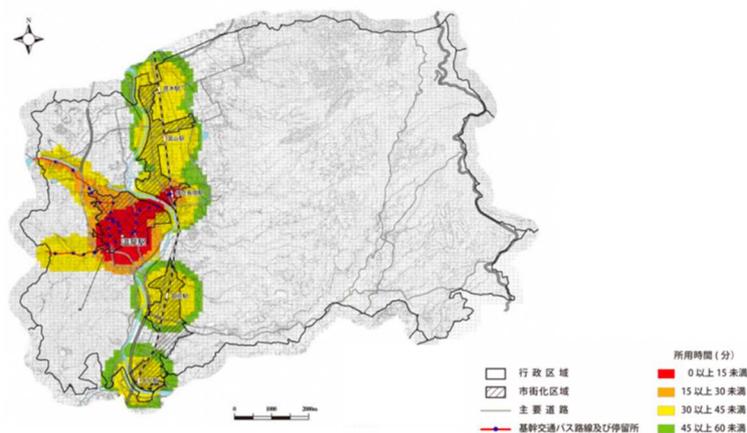
<バスルート>



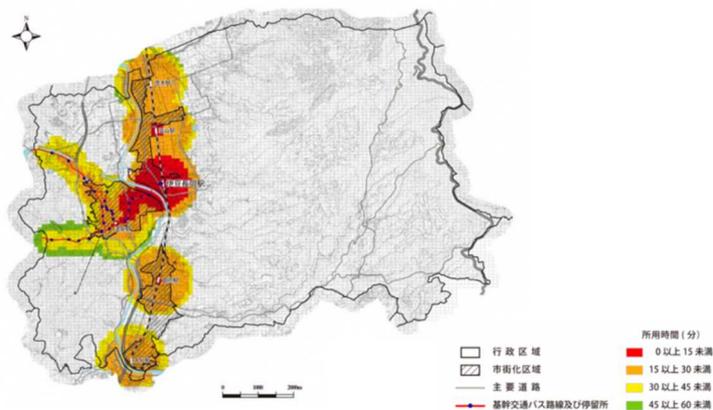
【日常生活圏域】

基幹的公共交通路線	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆箱根鉄道駿豆線が3つの市街化区域をつなぐ南北の基幹的公共交通路線となっている。 ・基幹的公共交通路線となるバス路線は、伊豆長岡駅の西側方面への3路線が対象となっている。
基幹的公共交通路線への徒歩圏	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡地区の市街化区域はほぼ全域が、基幹的公共交通路線への徒歩圏となっている。

・伊豆長岡温泉駅からのアクセシビリティ



・温泉駅からのアクセシビリティ



→各駅から市内各地に30分未満で到達するアクセス圏域人口割合が一番高いのは伊豆長岡駅であり、唯一60%を超える。

現状

(2014年時点)

- ・鉄道の乗降客数は2000年から2014年にかけて約25%低下している。
- ・交通手段は自動車が最も多い(72.9%)、次いで徒歩が多い(14.5%)
鉄道利用は5.5%しかない。

→鉄道駅までのアクセス手段は徒歩が50%強と、鉄道と徒歩圏人口は強い結びつきがある

- ・自動車依存により、鉄道駅がいかされていない。
- ・地域の実情にあった持続可能な公共交通網の形成が課題である。

強 み

- ・長岡地区の市街化区域ほぼ全域が、基幹的公共交通路線（鉄道駅、バス停）への徒歩圏となっている。
- ・基幹的公共交通路線以外の公共交通(既存の路線及び自主運行バス、予約型乗合タクシー)や管理組合によるタウンバス等が運行されている。
- ・狩野川のサイクリングロードは、沼津～修善寺をつなぐ自然景観を楽しめるサイクリングロードなので、誘導サインなど環境を整えば、周遊促進につながる。

弱 み

- ・順天堂病院前の道路や、温泉場出逢い通りなど車道や歩道があまり広くないため、自転車の周遊を積極的に行う場合、バスや歩行者との共存に安全面での課題がある。
- ・基幹的公共交通路線となるバス路線が少ない。
- ・徒歩圏内ではあるものの徒歩による主要駅アクセスは少ない。

2-7 文化・歴史・自然・周遊（現状／強みと弱み）

4つの特色のある景観エリア（伊豆の国市観光地エリア景観計画 R2.03.30）があり、魅力ある地域資源を積極的に活用し、地域や民間事業者と連携しながら磨き上げるとともに、それらを複数のテーマで結び付けネットワーク化を図ることで、市内の魅力を掛け算することによる新たな魅力創出へと発展・展開させていくことが期待されている。特に4エリアのそれぞれの中での特徴的な地域資源をめぐる周遊の取組でエリアの独自性を高めることに加え、他のエリアと連携した周遊による相乗効果を図っていく必要がある。この際、周遊のツールとして自転車の活用（サイクルツーリズム）を想定し、伊豆半島における東京オリンピック・パラリンピックの会場周辺自治体として、自転車によるまちづくり・文化育成と持続的な事業への展開が期待できる。



図：特色ある景観エリアを巡る自転車周遊のイメージ

図：温泉場の自転車周遊のイメージ

(1) 温泉場エリア（古奈温泉、長岡温泉、源氏山）



温泉場出逢い通りの朝市と夜市



源氏山山頂の桜と七福神めぐり



あやめ小路の石畳と古奈もみじ公園

<地形>

- ・東西を山に挟まれ、南北に流れる狩野川に沿って街区が発達し、独特の景観が形成されてきた。周りを低い山に囲まれた盆地のような趣がある景観であるとともに、これまでの人の営みによって守られ、育まれてきた人々に安らぎを与える地形である。

<歴史>

- ・伊豆長岡温泉は、源氏山を挟む古奈温泉と長岡温泉の2つの温泉場の総称である。
- ・古奈温泉は：源氏山の東麓に位置し、『吾妻鏡』に記述がある鎌倉時代から湯治場として栄えた歴史ある温泉である。

<長岡温泉>

- ・明治40年源氏山の南麓において湧出し、明治43年に初めて温泉旅館が建てられてから次第に発展し、温泉場を形成してきた。大正・昭和期には、三菱財閥の岩崎家をはじめ、政財界の人や、与謝野晶子、若山牧水などの数多くの文人歌人が好んで滞在した。
- ・古くから伊豆地方有数の温泉地として栄えてきたこの地は、現在も多くの旅館・ホテルがあり、大勢の観光客で賑わっていた昭和30年代頃の雰囲気を残している場所もある。高度経済成長期からバブル期にかけてのレジャーブーム時は、首都圏からのアクセスの良さや泉質の良さから多くの団体旅行などで賑わい、旅館・ホテルの大規模施設化が進んだが、バブル崩壊後は旅館の廃業や経営譲渡等により、施設数が減少した。現在は、古奈温泉20軒、長岡温泉22軒の宿泊施設が営業している。

<観光>

- ・温泉場の近くにある源氏山山頂には、各登り口から徒歩約20分で行くことができ、春は桜、秋は紅葉を楽しむことができる。エリア内の公園には足湯や健康遊歩道も整備されており、今後、医療機関等と連携し、温泉を活用した新しい観光につながる取組みが期待される。
- ・観光イベントでは、毎年7月に、80年以上の歴史をもつ源氏あやめ祭が開催され、近年では「源氏山七福神巡り」や「芸妓まつり」「まゆ玉の里」など、地域の文化・伝統芸能に関連するイベントが活発に行われている。

(2) 狩野川・葛城山・城山周辺エリア



葛城山山頂からの眺望と山頂のボード
ウォーク沿い桜・紅葉のトンネル

城山とスポーツアクティビティ

狩野川とスポーツアクティビティ

<地形>

- ・葛城山の山頂からは、富士山と日本一深い湾である駿河湾の両方を見ることができ、狩野川の流れや田方平野を一望できる。葛城山、城山をはじめとする低山の連なりと平野部を流れる狩野川は、この地域独特の景観を形成し、平地の農業生産や山・川・海でとれる食材は、このエリアにおける人の営みを形作ってきた。

<歴史>

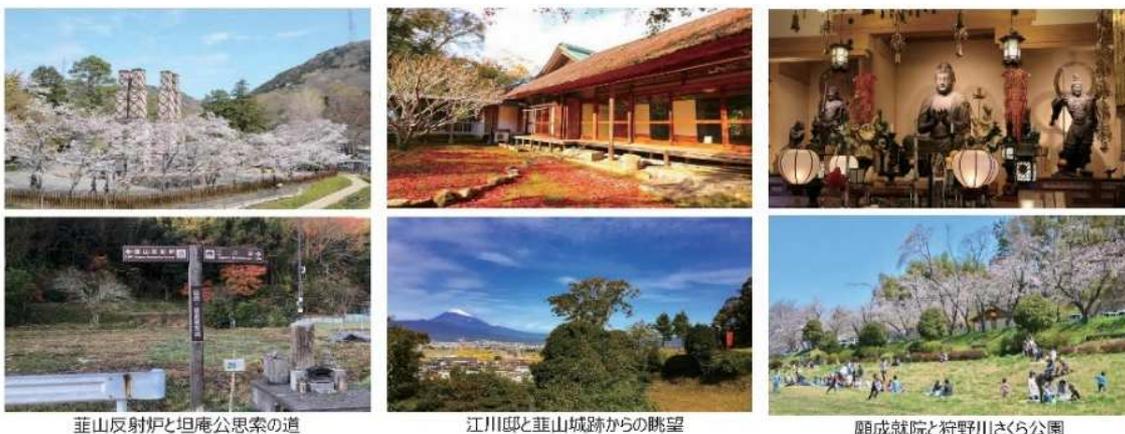
- ・葛城山や城山は、古くから地域の人々にとって山岳信仰の対象として存在し、山道は、食料や物資等の輸送だけでなく、参拝ルートとしても重要な役割を果たした。また、城山の山頂に続く登山道は、元読売巨人軍の長嶋茂雄氏が現役時代にトレーニングで使用した道として知られている。
- ・狩野川は、その支流も含めて田方平野の水田への灌漑に使われるなど、地域に恵みをもたらしてきた一方、古くから暴れ川として知られ、流域に大きな被害をもたらしてきた。昭和33年の狩野川台風被害により、既に着工されていた狩野川放水路の建設が大きく進み、昭和40年の狩野川放水路完成以後、狩野川の氾濫による人的被害は発生していない。
- ・市内神島地区に伝わるお盆の奇祭「狩野川かわかんじょう」は、狩野川で水難に遭った人々の慰霊の意味を兼ねた伝統行事として行われ、狩野川が地域の人々の営みに深く溶け込んでいることがわかる。

<観光>

- ・葛城山のロープウェーを有する伊豆の国パノラマパークでは、年間約36万人もの来訪客が葛城山山頂からの眺望景観を楽しんでいる。また、葛城山の急峻な傾斜地を利用して地域で共同運営している小坂みかん共同農園には、年間約3万人が訪れる。

- ・城山の南側の垂直な岩壁は、一年中楽しめるロッククライミングのポイントとしても知られている。
- ・平成30年11月にリニューアルした「道の駅伊豆のへそ」には、リニューアルオープン後1年を経過せずとも100万人もの来訪客があり、隣接するMERIDA X BASEは、自転車ブランドMERIDAの世界最大級の自転車展示施設として展開している。
- ・今後、狩野川の水辺を活用した「かわまちづくり」や、サイクリング、ウォーキング、ラペリング、SUP等さまざまなアクティビティを体験できる観光フィールドとして、自然資源を活用した新たな魅力づくりを期待できる。

(3) 歴史・文化エリア（韮山反射炉、江川邸、守山中世史跡群）



韮山反射炉と坦庵公思案の道

江川邸と韮山城跡からの眺望

願成就院と狩野川さくら公園

<地形>

- ・田方平野と狩野川に浸食されない高台の地形を活かし、韮山城跡や数々の神社仏閣などの史跡が密集するエリアである。狩野川に沿って形成された田方平野では、古くから稲作がさかんに行われ、人々の営みが生まれた。
- ・龍城山（韮山城跡）、守山などの高台とその周辺からなるこのエリアは、地政学上も要となる地点であったため、鎌倉時代の源頼朝・北条氏、戦国時代の北条早雲、幕末の江川坦庵などが統治し、各時代の変革を象徴する場となった。

<歴史>

- ・鎌倉幕府を開いた源頼朝の伊豆配流の地といわれる「蛭ヶ島」、北条時政が建立し、国宝である運慶作の仏像を有する「願成就院」をはじめとする守山中世史跡群、戦国時代の武将北条早雲が終生の居城とした「韮山城跡」、幕末に江川英龍が建造を開始した「韮山反射炉」、韮山代官の屋敷「江川邸（江川家住宅）」など、多くの史跡等が存在する。

<観光>

- ・世界遺産韮山反射炉、江川邸、願成就院等には、国内外から観光客が多数訪れ、伊豆の観光の主要なスポットの一つとなっている。また、さまざまな時代の歴史・史跡は、学者や研究者等の来訪や、知的好奇心を楽しむ個人客の誘客につながっている。富士山や田園風景の景観を同時に見ることができる場所も多く、景観散策と歴史・文化を楽しむことができるエリアである。

(4) 観光・農業エリア



四季の田園風景

江間川沿いの桜並木といちご狩り

<地形>

- ・東西を山に挟まれ、天城山から北に流れる狩野川の蛇行によって形成された肥沃な田方平野が広がるエリアである。平野部の広範囲に水田があり、夏は「緑のじゅうたん」、秋は「黄金色のじゅうたん」のような田園風景が広がる。特に韮山地域では、周囲を遮るものが少ないため、美しい富士山と田園風景を同時に眺めることができる。このエリアの農業景観は、主に稲作の田園風景といちごの施設栽培により形成されている。

<歴史>

- ・田方平野では、平地という立地的特性に加え、肥沃で平坦な区画整理されたほ場では、狩野川の水利もあり、古くから稲作がさかんに行われてきた。昭和10年代から、江間や韮山でいちごの生産が始まり、所得増加を目的に、稲作からいちご生産への転換が進んだ。昭和20年代には、江間や韮山のいちごの生産・出荷組合が誕生し、独自に関東圏等の市場に進出した。いちごの施設栽培が大規模に行われ、地域農業の発展に大きく影響してきた。昭和40年代からは、いちごの出荷だけでなく、観光いちご狩りが行われるようになり、関東圏等からの多数の誘客につながった。市内の温泉地との相互経済効果も大きく、自動車の普及とともに、観光農業と宿泊業が大きく発展した。

<観光>

- ・関東の大消費地と近い地の利を活かし、江間や葦山地域を中心に、観光いちご狩りと出荷用いちごの生産が継続して行われ、県内でもトップクラスの産地である。主に1月～5月までいちご狩りを楽しむことができ、周囲の水田の休耕期を活かした菜の花摘みなども楽しめる。江間いちご狩りセンター付近を流れる江間川沿いは、2月中旬～3月初旬、3月下旬～4月上旬の2度にわたり桜を楽しむことができる。

現 状

- ・各エリア同士の連携が少なく、相乗効果を生み出せていない。

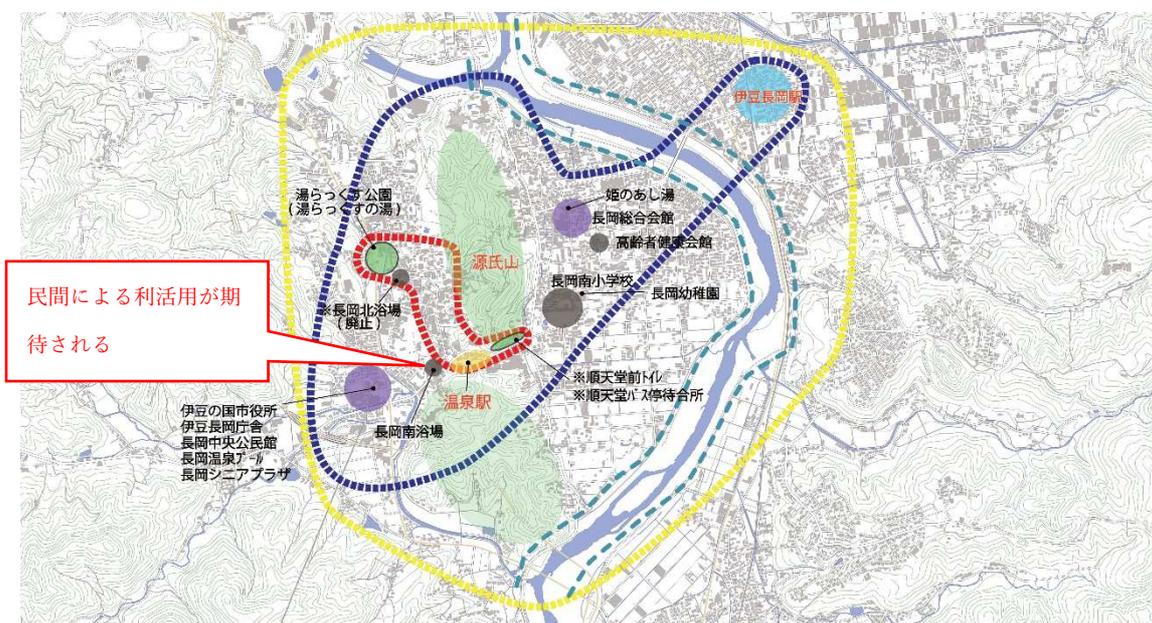
強 み

- ・特色ある4つの景観エリアがある。公共交通や自動車の他、各エリアを縦断する狩野川沿いにサイクリングロードがあり、各エリアは自転車で周遊できる距離圏内にある。

弱 み

- ・各エリアの地域資源をめぐる周遊プログラムが少ない。産業の重ね合わせや自転車をはじめとした、モビリティの活用による相互連携が必要である。

2-8 教育施設・文化施設・公共施設再配置（現状／強みと弱み）



図：エリア内の教育施設・文化施設・公共施設

・伊豆の国市公共施設等総合管理計画

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/koukyo/documents/20160627koukyousisetutousougoukannrikeikaku.pdf>

施設大分類	施設中分類	施設名	住所
市民文化系施設	集会施設	長岡中央公民館 (あやめ会館)	静岡県伊豆の国市長岡 346-1
	文化施設	長岡総合会館 (アクシスカつらぎ)	静岡県伊豆の国市長岡 255
社会教育系施設	図書館	長岡図書館	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	長岡温水プール	伊豆の国市長岡 331-2
	レクリエーション施設・観光施設	長岡北浴場(湯らっくすの湯) ※取壊し	静岡県伊豆の国市長岡 157-5
		長岡南浴場	伊豆の国市長岡 1082-2
		韮山温泉館	伊豆の国市長岡 1603-1
		姫のあし湯	静岡県伊豆の国市長岡 255
		順天堂前トイレ	静岡県伊豆の国市長岡 119
順天堂バス待合所	静岡県伊豆の国市長岡 1129		
学校教育系施設	小学校	長岡南小学校	静岡県伊豆の国市長岡 1294-1
	幼保・こども園 (幼稚園)	長岡幼稚園	静岡県伊豆の国市長岡 1212
		長岡南小学校放課後児童教室	静岡県伊豆の国市長岡 1294-1
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	高齢者健康会館 (やすらぎの家)	静岡県伊豆の国市長岡 265-2
		高齢者温泉交流館	静岡県伊豆の国市長岡 679-6
		長岡シニアプラザ	静岡県伊豆の国市長岡 338-3
行政系施設	庁舎等	伊豆長岡庁舎	静岡県伊豆の国市長岡 340-1

再配置時期：前期（2016～2025年）、中期（2026～2035年）、後期（2036～2045年）

長岡中央公民館（2016～2035年） 2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
設置目的	住民の社会福祉の増進
機能	会議室、研修室、教室、和室、実習室、調理室、多目的ホール等
提供圏域	やや広域的
避難指定	あり
耐震	新耐震

長岡総合会館（本会館+その他2施設を1つに集約予定、2016～2035年） 2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
設置目的	文化及び観光の振興を図る
機能	大ホール、多目的ホール、集会室、ギャラリー、会議室、研修室、展示室、資料室、視聴覚室等
利用目的	コンサートや芸術文化の鑑賞、活動
提供圏域	広域的（市域全体や市外からの利用もあり）
避難指定	あり
耐震	新耐震

長岡図書館（2016年3月より休館）	
管理・運営	市
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する
機能	開架室、閲覧席、児童コーナー、資料室、視聴覚室、展示室、開架書庫など
提供圏域	やや広域的（一部市外からの利用もあり）
避難指定	なし
耐震	旧耐震、耐震補強なし
現状	「長岡図書館」は、大正14年に建築された旧長岡南小学校の講堂であり、市指定文化財となっていますが、老朽化が著しいことや、平成27年10月の暴風雨の影響により屋根が破損したため、休止

長岡温水プール（2036～2045年）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	指定管理者
設置目的	市民の健康増進とスポーツの振興を図る
機能	
利用目的	
提供圏域	やや広域的（一部市外からの利用もあり）
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	機能統合を図る広瀬公園プールの更新期(後期)に機能統合を図る

長岡北浴場（2016～2025年）	
管理・運営	市
設置目的	市民の健康増進や観光振興
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	長岡北浴場と長岡南浴場は、2施設をあわせて民間移管を図る

長岡南浴場（2016～2025年）1層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
設置目的	市民の健康増進や観光振興
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	長岡北浴場と長岡南浴場は、2施設をあわせて民間移管を図る

葦山温泉館（民間移管を目指す、2016～2025年）	
管理・運営	市
設置目的	市民の健康増進や観光振興
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	長岡北浴場と長岡南浴場は、2施設をあわせて民間移管を図る

姫のあし湯（現状維持）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
設置目的	市民の健康増進や観光振興
避難指定	なし
耐震	新耐震

順天堂前トイレ（民間施設活用により廃止予定）1層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	民間施設の活用などにより廃止を検討

順天堂バス待合所（2016～2025年）1層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
再配置計画	民間施設の活用などにより廃止を検討

長岡南小学校（2016～2035年）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	あり
耐震	旧耐震、耐震補強有
再配置計画	前期から中期にかけて段階的・計画的に再配置を図る

長岡幼稚園（現状維持）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
状況	定員割れで、供給過多 幼稚園の教室や遊戯室などは、他用途での利用も可能であり、機能・汎用性は高い
再配置計画	災害時における乳幼児を有する家族に対応した避難場所として検討する必要がある 市民文化系施設、保健・福祉施設、学校教育系施設、公園内の関連する施設などとの連携を図ることも必要

長岡保育園（現状維持）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
状況	定員程度、今後も一定のニーズ見込みあり 保育園の乳児室、保育室、遊戯室、調理室などの機能は、他用途での利用も可能であり、機能・汎用性は高い
再配置計画	災害時における乳幼児を有する家族に対応した避難場所として検討する必要がある 市民文化系施設、保健・福祉施設、学校教育系施設、公園内の関連する施設などとの連携を図ることも必要

長岡南小学校放課後児童教室（現状維持）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
状況	小学校の余裕教室の活用も図られている
再配置計画	災害時における幼児・児童を有する家族に対応した避難場所として検討する必要がある 既存施設の統廃合や複合化などの検討とあわせて、妊娠から未就学児までを包括的に支援できる拠点機能及び各地域でのより身近な支援機能の確保について検討を行う

	小学校との複合・多機能化を基本として、小学校の再配置時期や位置と連動した取組を検討
--	---

高齢者健康会館（2016～2035年）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震
状況	提供圏域はやや広域的だが、実際の利用者は施設が所在する地域の高齢者が多い

高齢者温泉交流館（2016～2035年）	
管理・運営	市
避難指定	なし
耐震	新耐震

長岡シニアプラザ（不明）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	シルバー人材センター
避難指定	なし
耐震	新耐震

伊豆長岡庁舎（2016～2035年）2層目：伊豆長岡包括エリア	
管理・運営	市
避難指定	救助活動拠点地
耐震	旧耐震、耐震補強有
状況	<p>類似自治体の本庁舎と比較して、人口当たりの延べ床面積は、約半分弱と小さく、1施設当たりの規模も約半分弱と小さくなっている</p> <p>一方、類似自治体の支所・出張所と比較すると、人口当たりの延べ床面積は平均の約 2.1 倍と大きく、1施設当たりの規模も平均の約 4.2 倍と大きくなっている（※公共施設状況調書 2014 年度総務省より）</p> <p>庁舎としてのサービス機能や安全性に問題があることから、庁舎機能の集約について調査・検討が進められており、その結果を踏まえて適正な配置や機能、施設規模とする必要がある</p>
再配置計画	<p>サービスの提供圏域がやや広域的であることや、施設の供給量が多いことから、行政サービスの中でも、中枢機能の集約化による業務効率の向上などを念頭に、同一機能である共有空間の機能統合を図る（「庁舎のあり方協議会報告/平成 28 年 3 月」の必要面積を参照）</p> <p>あわせて、集会施設（センター的）の行政機能との統合を図る</p> <p>機能統合とあわせて、相互利用により利用者の利便性の向上を図ることが可能と考えられる社会教育系施設、子育て支援施設などの複合・多機能化を検討する</p>

・公共施設マップ



<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/hisyo/shisei/kokyoshisetsu.html>

現状

- ・市内だけでなく、市外からの利用もある文化施設が位置する。
- ・温泉関連施設が多く分布する。

強み

・他よりも人口が減っていないエリア（都市機能誘導区域）に公共施設を再配置していく予定である。

強み

- ・利活用を行いたい民間事業者が不足している。

2-9 まちなかイベント

開催時期	地区	イベント名
5月中旬～6月中旬	韮山	ほたる鑑賞の夕べ
7月第1土・日	伊豆長岡	源氏あやめ祭り
8月4日	伊豆長岡	伊豆長岡戦国花火大会
9月下旬～10月上旬頃	市内全域	ライド&ライド狩野川（旧狩野川 100km サイクリング）
11月上旬	伊豆長岡	温泉まんじゅう祭り
1月下旬の日曜日	伊豆長岡	鶴ばらい祭り
2月	大仁	おおひと梅まつり
1月～3月	伊豆長岡	まゆ玉の里
不定期	伊豆長岡	芸妓まつり
毎月第2日曜日	伊豆長岡	伊豆長岡温泉お散歩市

ほたる鑑賞の夕べ



源氏あやめ祭り



伊豆長岡戦国花火大会



ライド&ライド狩野川



温泉まんじゅう祭り



鶴ばらい祭り



おおひと梅まつり



まゆ玉の里



芸妓まつり



お散歩市



2-10 エリア内におけるまちづくりの取り組み概要（過去3年間）

遊休施設だった南山荘を中心に活用した毎月行われる温泉場お散歩市をはじめ、高齢者の居場所事業やココブッコのコミュニティ事業などの拡がりも生まれており、新たなまちの魅力、賑わいづくりに発展してきている。今後は、他地域でのイベント開催やエリア外の人材との関係づくり、地域人材が活躍する場づくりを促進していくことが期待されている。



2017.12 伊豆長岡温泉お散歩市の南山荘内での活用開始（月1回、現在まで）。地元の海の幸、山の幸、果物、季節の野菜の販売、飲食店も出店するお散歩市。



2018.06 ふじのくに地域・大学コンソーシアム学生等地域貢献推進事業で伊豆長岡温泉の活性化をテーマに大学生が調査企画提案を行った。



2019.06 伊豆の国市観光地エリア景観計画策定に向け地域景観ミーティングがスタート。地域住民や事業者等と各エリアについての議論を重ねた。



2019.11 古奈温泉と長岡温泉の2つの温泉街を形成している地域に整備された街区公園「古奈もみじ公園」の芝生広場を使い、竹灯籠とお散歩市のコラボイベントを初開催した。



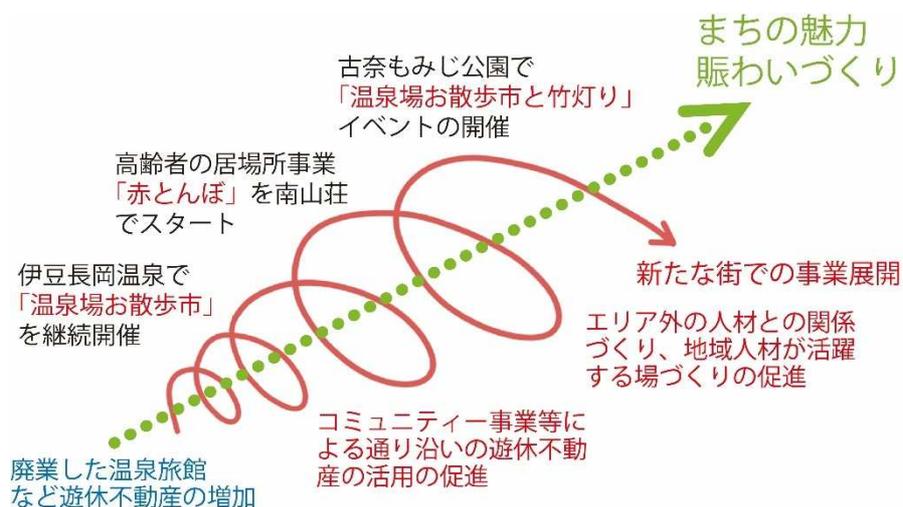
2020.06 伊豆の国市と伊豆市を中心に展開している3世代ふれあいサークル「coco」。「温泉場お散歩市」の会場である南山荘で始まった【ココブッコ】は、図書館や本屋さんが無い伊豆長岡地区で、簡易図書館の役割をしている。



2020.08 花火をライブ配信「ドドオオン伊豆の国」。花火だけでなく、伊豆の国にまつわる様々なコンテンツをYouTube LIVEにて配信。密を回避し、新しい生活様式に配慮した花火大会を実施した。

26

写真：これまでのまちづくりの取り組み概要（過去3年館間）



図：関係づくりのスパイラル

2-11 お散歩市の各店舗、利用者へのアンケート

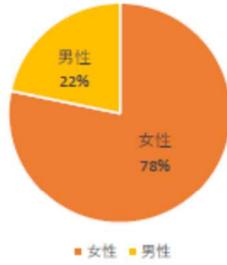
(1) お散歩市利用者アンケート (2020年11月8日実施、回答者92名)

・利用者データ

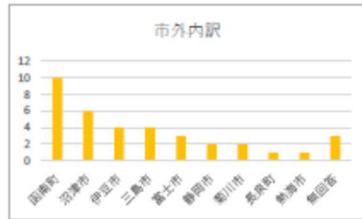
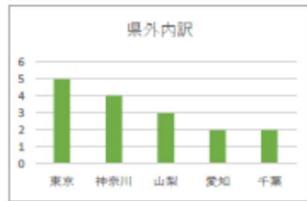
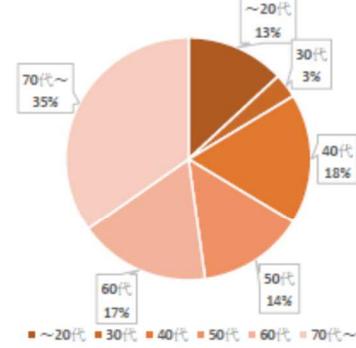
■2020年11月8日お散歩市利用者アンケート集計表 (回答者計92名)

【利用者情報】

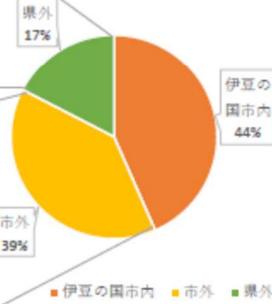
男女比



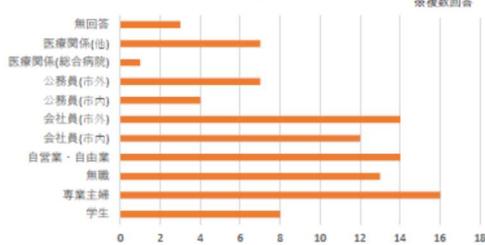
年齢層



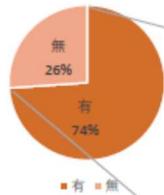
住まい



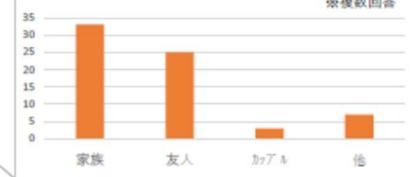
職業



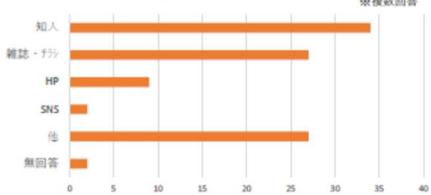
同伴者



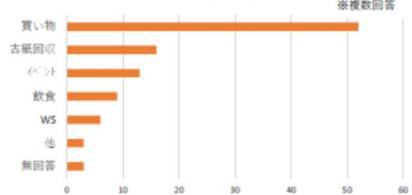
同伴者内訳



お散歩市を知ったきっかけ



来場のきっかけ



【ご意見】

Q1：参加して良かった点・改善点・今後への期待（抜粋）

■参加して良かった点

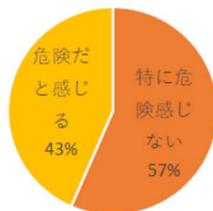
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で出来るイベントで大いに賛成 ・いつもお散歩市を楽しみ。手作り小物作品が楽しみ。 ・地域の元気な様子が見れて良かった ・初めて来ましたが、ときめくものがいっぱい。駐車場もあって良い。 ・想像していたよりも賑やかで面白かった。 ・毎月楽しみにしている。次月も期待。 ・今の感じで続けたいと思う ・色々な店舗が出店していて、お客さんも多く賑わっていた ・毎回工夫され、交通整理についても人員を増やす等安心する。 ・町ぐるみの取り組みが良い ・楽しみに買い物に来ている ・コロナ禍に賑わいがある場所はない
運営スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方々が全員頑張っておられたこと ・今回から学生さんのボランティアが参加してくれ、活気があり良かった。 ・学生さんの参加は素敵だと思う。感染に気を付けましょう。 ・高校生が頑張っていて良かった。 ・高校生が地域の活動に参加しているのも良い。 ・高校生の皆さんの案内も親切だった。 ・ボランティアの方が親切 ・体験コーナーが、とても明るく楽しくて良かった
お店	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々なお店があって良かった。手づくり商品が素晴らしい。 ・地元の商品が多数出品されていて、購入が楽しみ ・お皿を買って良かった ・掘り出し物市が面白かった ・掘り出し物市は温泉場ならではの企画で面白い。 ・野菜が安かった ・新しい野菜・マスクを1か月に1回買う ・いいマスクが買えた ・若い人が好きそうな物(ワケ明等)が結構あって良い。 ・お店の味も美味しい
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の案内の早さはとても良かった。 ・駐車場の案内をすぐしてくれて、助かった。

■改善点・今後への期待

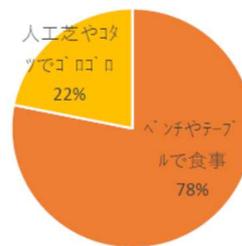
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にもっと知って買いたい ・長くつづけて ・お天気に左右されないように ・月2回に増やして欲しい ・午後WSをして欲しい
運営スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも若者の参加をお願いしたい。
お店	<p>数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとお店が多い方がお客さんも来る ・店の数が増えたら良い ・屋台がほしい <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽屋がダブらないように、多業種にした方が良い ・飲食ブースの設置、飲み物を増やして欲しい ・手作り品をもっと増やして欲しい ・食べ物を増やして欲しい ・野菜・魚のお店を出してほしい ・お菓子のお店があると嬉しい。 ・しゃがバター等があれば良かった。 <p>購入方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車であたの、野菜等が買えず残念だった
通り	<ul style="list-style-type: none"> ・店の並び道を完全歩行者天国にするより良いと思う。 ・歩行者天国に出来たらよい。 ・喫煙 煙草を路上で吸う人がいて、嫌だった。
南山荘	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の中が少し暗い
駐車場	<p>台数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がもう少し多いと良い ・駐車場がもっと欲しい、人が多くて車入れが危ない <p>利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が止めにくい ・駐車場等事前に案内が欲しい ・駐車場が遠い
新企画	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズ等のライブ演奏 ・バンドライブ、DJライブ ・子供や学生たちの催し物が増えると良い ・伊豆中央高校の店を出す ・アテがあるといい
他	<ul style="list-style-type: none"> ・アテが少し少ないと感じた。シブい感じと書きやすい。

Q2：車通りや安全について・道路活用で期待すること（回答者71名）

道路上の安全に危険を感じますか？



道路の活用で期待することは？



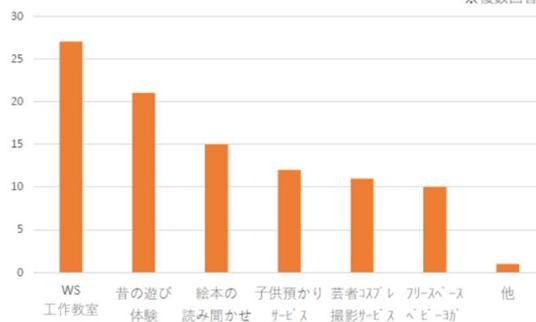
その他のご意見・・・

- ・駐車場がもう少し欲しい
- ・道路は案内人がいるのでOK
- ・皆が声を掛け合っているのが良い。
- ・見つけづらいと思った

Q3：南山荘の畳の宿泊スペースで、子ども向け新企画で良いと思うもの（回答者56名）

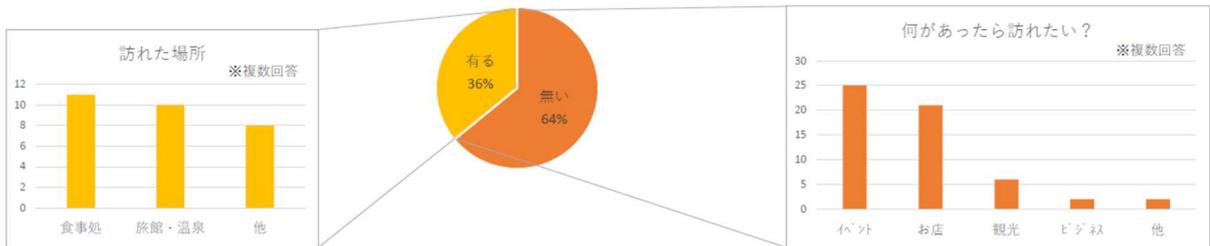
南山荘での子ども向け新企画

※複数回答



Q4：お散歩市以外で温泉場出逢い通りを訪れたことがあるか、今後期待するものは何か（回答者62名）

お散歩市以外で通りを訪れたことがあるか？



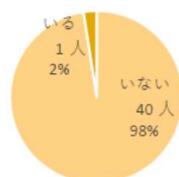
Q5：温泉場出逢い通りの店舗の活用で、あったら良いと思うもの（回答者22名）



Q6：お散歩市にご協力いただける方の募集について（回答者47名）



紹介できる人の有無



(2) 2020年11月8日街角ギャラリーアンケート集計表(回答者32名)

お散歩市の街角ギャラリーに下記のアンケートパネルを張り出し、みんなの「想い」を自由に付箋に書いてもらった。



写真：みんなの「想い」の樹

【ご意見】みんなの想い 良いところ

- ・温泉のイメージが強かったが、楽しめる場所があって良かった。
- ・天城の観光の参考にした。素敵。

今後への期待

【カフェ,休憩スペースが欲しい】

- ・食べ歩きとオシャレなカフェがあると良い。
- ・お店がもっとあるよ良い。カフェ等。
- ・カフェがほしい。
- ・旅する古本のような感じでブックカフェ等休憩出来る場所が欲しい。

【若い人・女子高生・中高生が楽しめるように】

- ・若い人たちをもっと呼び込んでいくと良い。
- ・若い人が集まれるカフェがあると良い。
- ・女子高生が来てくれる街になると良い。
- ・中高生が入りやすいカフェや店が欲しい。
- ・若者も大勢集まる活発なところをしたい。

- ・中高生が来やすいものを作ってほしい(フットスポット等)。
- ・若い人に人気の飲み物や食べものが出店すると良い。

【飲食店,美味しいもの,その他店】

- ・もう少しお店があると嬉しい。
- ・美味しいものが食べたい。

【気軽に遊びにこれる,賑わい,活気が欲しい】

- ・もっと素敵な温泉場に、一緒に頑張って作っていきましょう。
- ・もっと多くの人を訪れて、活気のある町にしたい。頑張ってください。
- ・温泉の町。人々が観光に大勢集う町。
- ・友人と気軽に遊びに来れる町になると嬉しいv
- ・地域の人が観光客を実家のように受け入れられると良い。
- ・気軽に遊びにこれる街になると良い。

【写真映えが欲しい】

- ・写真映えしたい！食べ物を増やして美味しい笑顔を増やす。
- ・映えるところ、カフェ等欲しい。
- ・インスタ映えするスポットがあれば良い。

【食べ歩きしたい】

- ・食べ歩きが出来るような商店街になって欲しい。
- ・色んなものを食べ歩きしてみたい。
- ・美味しいものがたくさんあるので、食べ歩きが出来る则と良い。

【古き良きを取り戻す】

- ・旅館等を利用した古民家カフェがあれば行きたい。
- ・古き良きを活かした飲食店・カフェ等。
- ・昔の写真のような、そぞろ歩きが出来る温泉場になると良い。
- ・昭和ロマンを感じられる街。夜の暖かい色の照明に統一されると心地よい。

【空き店舗活用】

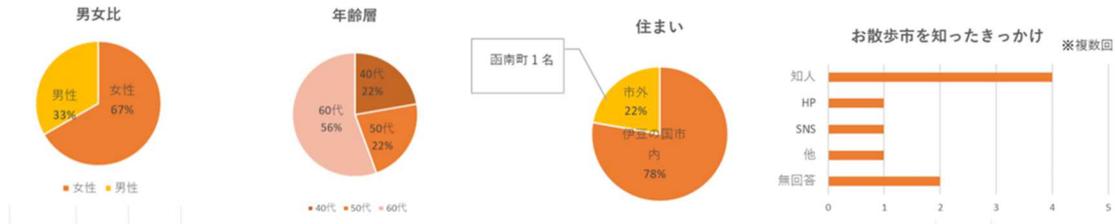
空き店舗の活用を、地域の方や出身者、伊豆長岡温泉が好きな人、色んな人が混ざって考えていきたい。

<利用者アンケートまとめ>

- ・ 来訪者の半数程が高齢者、子育て世代の来訪は少ない
- ・ 女性利用者が約 8 割にも及ぶ
- ・ 医療関係者の来訪が少ない
- ・ 半数以上が市外からの来訪ではあるが、初めて訪れる人の割合が結構高い
- ・ 知人を介してお散歩市の情報を得ている人が多い
- ・ SNS 利用が多い若い世代にはまだ情報が行き届いていないため、FB 以外での積極的な発信が必要
- ・ 高校生の参加を評価する感想や活躍を期待する声が多い
- ・ 賑やかな様子や地域全体で取り組む雰囲気が評価されている
- ・ 継続的な開催や頻度増加、歩行者天国化を望む意見がある
- ・ 駐車場数や事前案内が指摘された

(3) お散歩市出店者アンケート (2020年10月11日実施、回答者9名)

・出店数データ



Q1：参加して良かった点・改善点・今後への期待 (回答者8名)

■参加して良かった点

項目	内容
賑わい	・地域の人々の集いのイベントとして賑わいを増した
交流	・地域の方々とのコミュニケーションが出来て良かった。 ・出店者同士の交流が出来、仲間が増えた。常連客が出来た。
商品	・新鮮かつ安価な野菜が購入出来た。

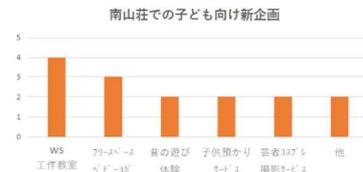
■改善点・今後への期待

項目	内容
認知度	・初年度より来場者が増えてきたが、まだ少ない。チラシ配布を含め、SNSや文化グループへ告知。
歩行者天国	・歩行者天国にして欲しい。依頼の販売を認めて欲しい。
新企画	・集客に繋がるので、ステージイベント(ライブ)をやりたい。 ・テラスや音の披露の場としてもステージや展示物が必要。 ・地域のお年寄りや子供たちの発表の場を作る。書や絵を飾っても良いと思う。
設備環境	・水道(手洗い)トイレの使用が出来ると良い。冷暖房の確保。

Q2：南山荘の内部の改善点・新しい試み・期待すること (回答者8名)

項目	内容
空間・環境	・庭園がとても良いので、そこを活かして何かしたい ・中の照明が暗かったので、明るく奥までお店が見えるといい。 ・音楽も中や外でも流すと良い。 ・水道(手洗い)トイレの使用が出来ると良い。冷暖房と明るさ欲しい。 ・テラスや音の披露について(店の関係)
新企画	・教室(手芸、裁縫)として使用してみたい。 ・1回及び半日範囲(500~1,000円位)で貸して買いたい。 ・少しゆったり出来るように、臨時の喫茶店等があると良い。 ・定期開催のワークショップ等(お年寄り向けやママ向け等、毎回テーマを変える)追加、試飲、試食

Q3：南山荘の宿泊スペースで、子ども向け新企画で良いと思うもの (回答者5名)

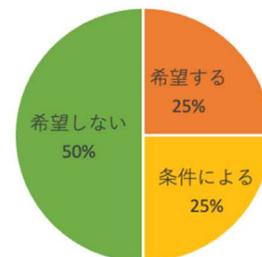


Q4：温泉場の活性化、「温泉のある暮らし」の実現に向けて必要だと思うもの (回答者6名)

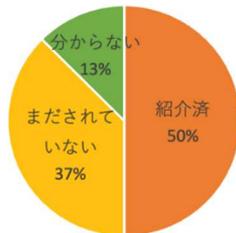
- ・温泉場の各旅館やお店がテラス(店前)にてテラスサービスのような展開
- ・ワンちゃん連れのお客が多いので、テラスで出来るサービス(10分程度のマッサージ)があれば喜ばれると思う。
- ・毎月当番制で各社が広告宣伝したら良い。
- ・活気があった頃の再現。音が浴衣で来たサービス有、芸者が街を歩き一緒に写真撮影出来る、射的体験サービス、特設の足湯サービスを屋外に設置する、子供が販売を体験する、お手伝い券等
- ・南山荘のトイレを使用出来れば良い
- ・宿泊客向けの荷物出し(着付けはサービス)して温泉街を散歩して貰う。お店での買い物については、おまけや割引のサービスして貰うといいのでは。反射炉や北条寺(2022NHK大河ドラマ北条義時)の墓)宿泊場への送迎。

Q6：温泉駅への出店希望 (回答者8名)

Q5：空き店舗に出店する場合の条件 (回答者7名)



Q7：お散歩市のFacebookで紹介されているか？
(回答者8名)



Q8：伊豆長岡温泉活性化プロジェクトへの興味 (回答者8名)

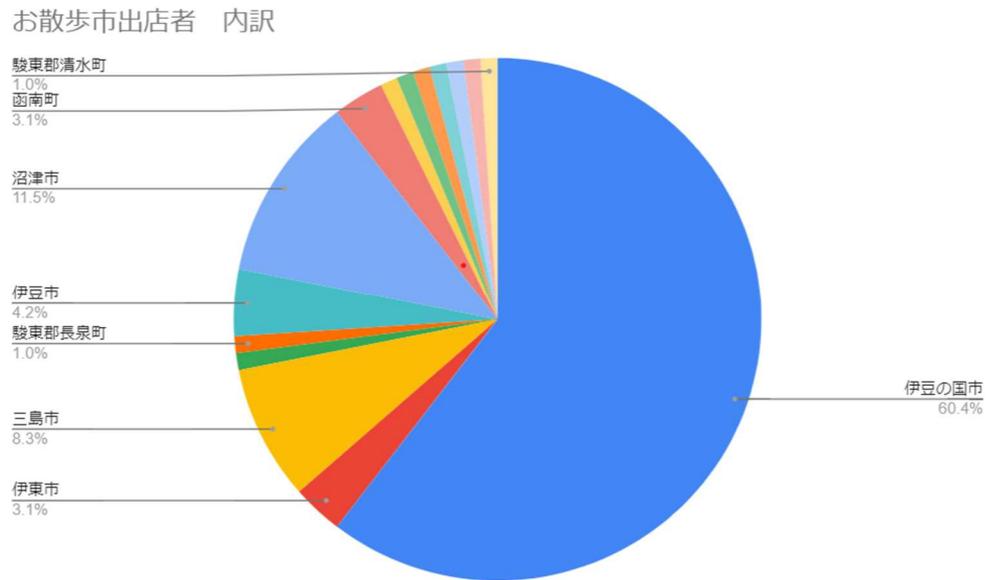


<出店者アンケートまとめ>

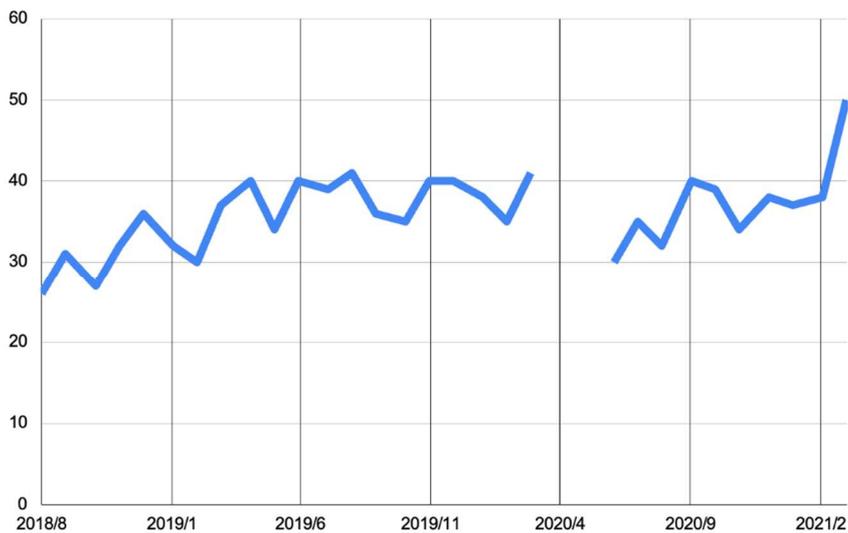
- ・若い世代の出店が少ない
- ・市内からの参加が多い
- ・利用者同様、知人を介して情報を得た人が多い
- ・空き店舗・温泉駅出店への興味は半々、時間単位でのレンタルや店舗空間のシェアに魅力を感じている人が多い
- ・お散歩市は周知されているが、温泉場プロジェクトはまだ周知が必要
- ・お散歩市が出店者同士の交流や情報交換の場となっている。
- ・さらなる集客を可能にする、相乗効果のあるイベントを望む声がある
- ・南山荘の暗さや冷暖房機能、トイレ利用が指摘された
- ・客の滞留を生み出すような喫茶空間や定期的なワークショップ開催を望む声が挙がっている

(4) お散歩市の出展者累計データ

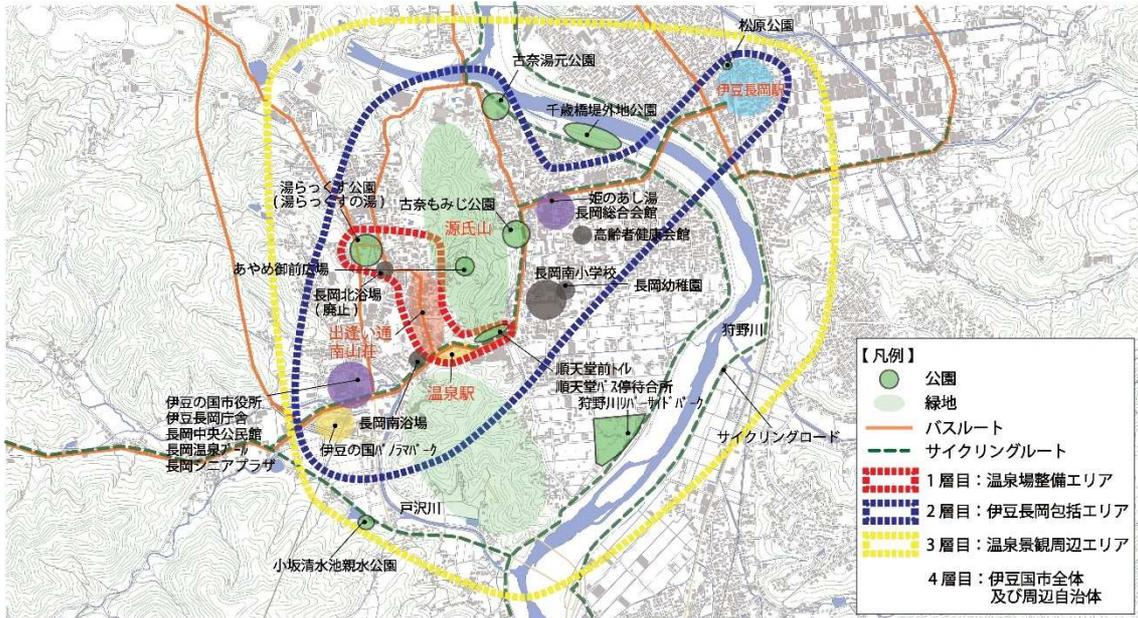
- ・ 出店者内訳



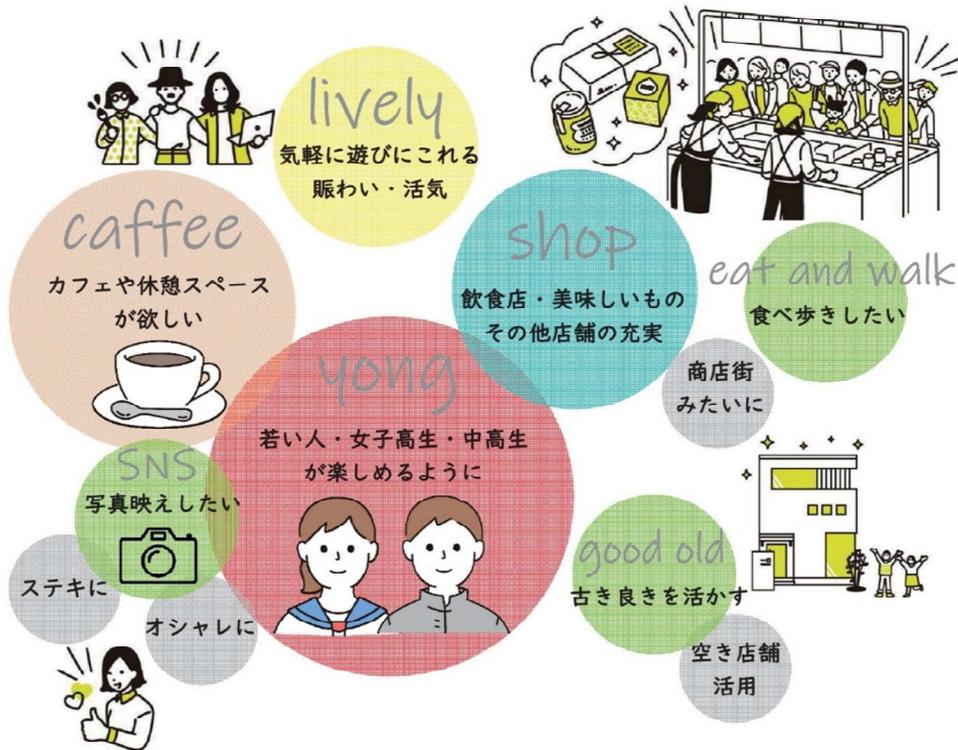
- ・ 出店者数の遷移 (2018年8月度~2021年3月) ※2020年4月度、5月度データなし
約3年で26店舗→50店舗へ倍増している。



2-12 伊豆長岡温泉エリアの現状のまとめ



図：伊豆長岡温泉エリアの現状

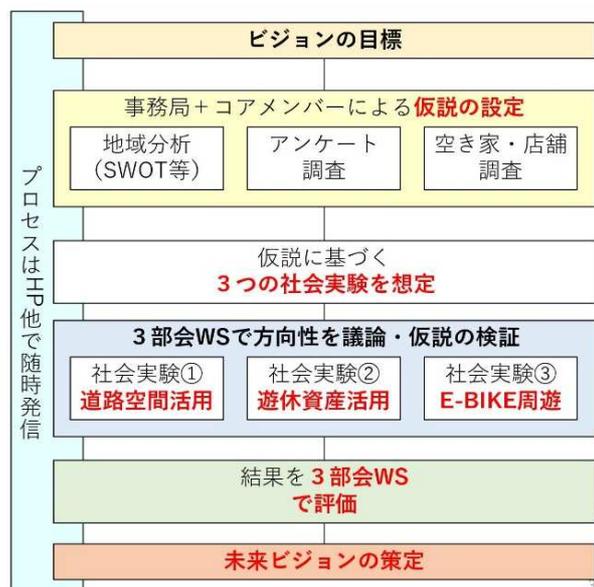


図：出逢い通り、お散歩市への期待のまとめ

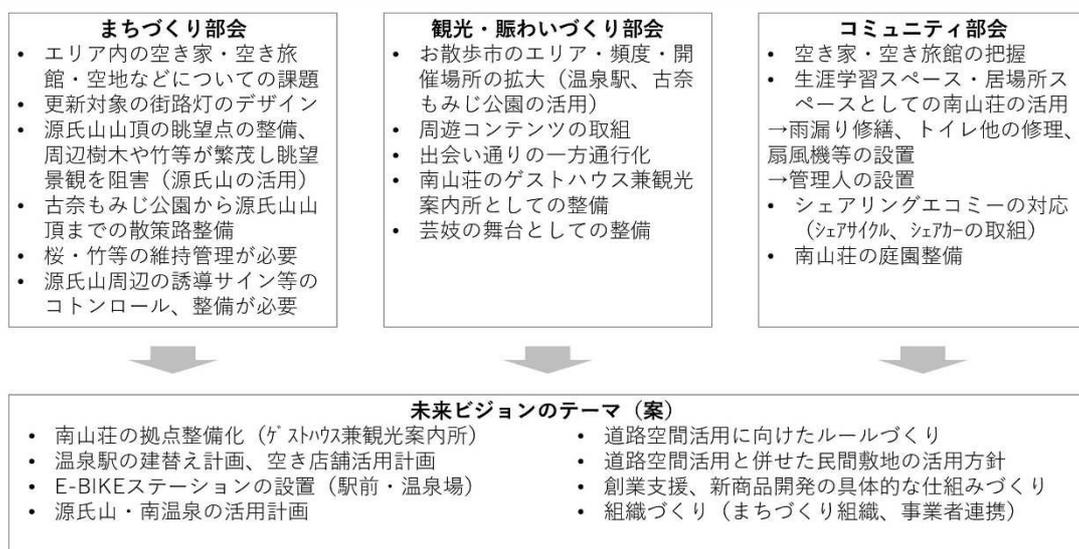
第3章 ミライ会議・3部会・社会実験・伊豆長岡温泉ミライ大学

3-1 ミライ会議・3部会・社会実験について

未来ビジョンの検討に当たって事務局より、アンケート結果などを共有し、市の観光 SWOT 分析等を行った結果や過去の同エリアの取組、お散歩市で基本計画のアクションプランの見直しの議論と併せ、3つの部会で課題に対する方向性をワークショップ形式で議論。各課題に対する指標を定め、お散歩市等と連動した3つの社会実験を実施しながら想定に対する結果の検証を行い、ビジョン策定に反映した。またミライ会議、各部会で扱われた内容は、ワークショップ通信として発行し、まちづくりに対する意識を高めてもらえるよう市民に全戸配布を行った。



図：検討・策定プロセス



図：各部会で扱うテーマ

	ミライ会議	各部会	温泉場お散歩市+社会実験	伊豆長岡温泉ミライ大学他 HP, SNS
8月	第1回ミライ会議 2020/8/21			
9月			お散歩市 2020/9/13	
10月		第1回まちづくり部会 2020/10/4	お散歩市 2020/10/11	伊豆長岡温泉ミライ会議 プレHP公開 2020/10/8
		第1回観光・コミュニティ部会 2020/10/8	温泉駅でE-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、旅する古本)	矢嶋ゼミ E-bike周遊企画 2020/10/10
11月		第2回まちづくり部会 2020/11/25	お散歩市 2020/11/8	ミライ大学 オンラインイベント第1回 2020/11/18
12月	第2回ミライ会議 2020/12/10	第2回観光・コミュニティ部会 2020/12/3	お散歩市 2020/12/13	ミライ大学 現地イベント第2回 2020/12/12.13
			片側通行1回目 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ)	ON-CO リビングソフトウェア東海 2020/12/12
1月			お散歩市 2021/1/10	
2月		第3回まちづくり部会 2021/2/10	お散歩市 2021/2/14	ミライ会議事務局・観光協会・農研おこし協力隊 Slack開設 2021/2/11
		第3回観光・コミュニティ部会 2021/2/18	温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ) 屋外FMステーション	伊豆長岡温泉ミライコミュニティ Facebook開設 2021/2/21
3月	第3回ミライ会議 2021/3/18		お散歩市 2021/3/14	ミライ大学 オンラインイベント第3回 2021/3/18
			通行止め、芝生、野座敷、ギャラリー、モバイル足湯 温泉駅でBOOK Café、E-BIKEステーション、FMス テーション 空き店舗活用(街角ギャラリー、ここみくじ)	伊豆長岡温泉ミライ会議 HP公開 2020/3/31

表：各部会、社会実験の実施スケジュール

また各部会では、お散歩市に合わせた下記 3 つの社会実験の振り返りを行い、次の社会実験に向けた軌道修正や未来ビジョン策定に向けた議論を深めていった。

社会実験①：道路空間活用

道路空間の活用として、片側通行及び通行止めにより、温泉場通りと南山荘をはじめとした旅館敷地と一体で温泉場お散歩市を実施した。今年度は、片側通行 2 回、通行止め 1 回の社会実験を行った。

社会実験②：遊休資産活用

南山荘と温泉駅の 2 つの拠点をつなぐ温泉場通り沿いの空き旅館・店舗等の遊休不動産、周辺公共施設等を活用して、お散歩市でお試し店舗等を実施した。今年度は、お散歩市に合わせて 6 回の実験を行った。

社会実験③：E-BIKE 周遊

E-BIKE の試乗や貸し出しを行う E-BIKE ステーションの実施を、お散歩市に合わせて温泉駅で計 6 回実施を行った。また、ふじのくに地域・大学コンソーシアム「2020 ゼミ学生

等地域貢献推進事業」を行う日本大学矢嶋ゼミと連携し、学生の E-BIKE 周遊企画の実施、PR 動画撮影および YouTube での限定公開を行った。

リンク：<https://www.youtube.com/watch?v=tMa4a4RQicQ>

またこれらの社会実験については、都心の若手起業家やフリーランス人材をオンラインで繋ぎ、地域人材、学生の協働企画・運営により、事業効果を高めるとともに都心と地方の情報格差等を是正し、あらゆるノウハウの蓄積を図ることとした。社会実験の詳細については第4章で詳しく述べる。

社会実験	道路空間活用	遊休不動産活用	E-BIKEによる周遊
活動イメージ			
活動の内容	出逢い通りを一時的に一方通行化または片側通行化し歩いて楽しいまちを実現	お散歩市出店者や市内の事業者によるお試しショップの設置、DIY等による環境整備の取組	歴史的史跡や眺望点、市内の飲食店などをめぐる周遊プログラムの作成

35

3-2 各部会 第1回～第3回の概要とまとめ

初回となるミライ会議、および第1回の各部会では、まちづくりにおいて「何故ビジョンが必要なのか？」を共有し、伊豆の国市の現状のデータを丁寧に数字で見直しながら、それぞれの部会で扱う課題について議論を行った。

将来、日本は自治体の約半分(896)が消滅すると言われており、消滅可能性都市(自治体)とは、人口の再生産力があるといわれる20～39歳女性人口の数で規定される。(コミュニティが持続しなくなるため。)安心して元気に暮らしていくためには、今後益々、各活動の方向性が重要であり、縮減時代に方向性をそろえ、力を重ね合わせる為にも共通のビジョン(方向性)を持つことが大事であることを各部会で共有した。

【ビジョンとアクションの両輪体制】

・方向性が定まっていないと、各主体の活動・事業自体が動いていても効果的でない。

ビジョン(ランドデザイン)の共通認識があれば、活動が緩やかに同じ方向へ進み、相乗効果が期待出来る。

また、プロジェクトに障壁があった際にも、ビジョン(ランドデザイン)があれば、目的を確認しながら、支援・連携が可能である。

【ミッションのある組織を創る】

・ビジョンの実現に向けて、遂行するための進行管理チームが必要である。将来的には本会議のチームが進行管理をしていくことになるだろう。

・そのためには、ビジョンとチームの両輪体制が必要である。

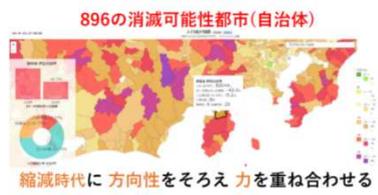
ビジョンを確認しながら、アクションの軌道修正を公×民×学一体となって、進行管理していくことが重要である。

【まとめ：地域の目標を固め、そのための実験をする】

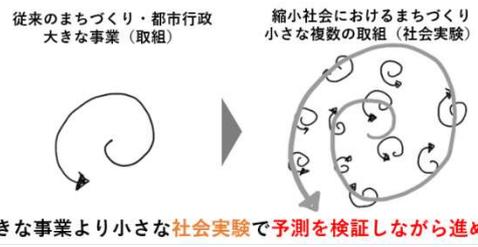
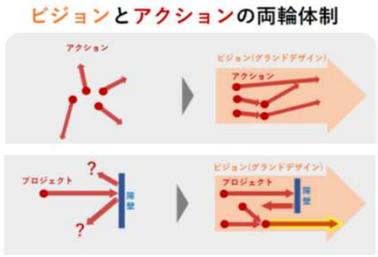
・どんなまちにしたいか、目標の設定を具体的なイメージ共有する。

・目標を明確化する。

・目標を実現するための作戦を考える。その為には、全体をまとめて進行管理できる人・組織、機動力高く動ける体制づくりが重要である。

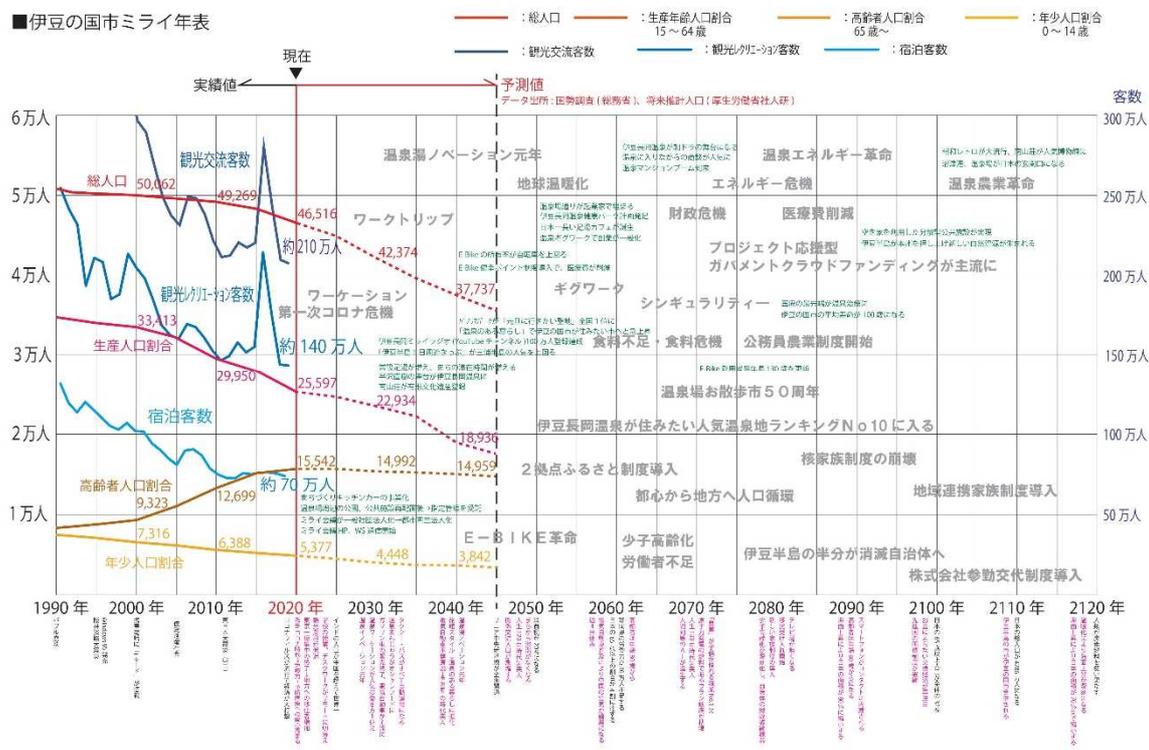


- ①現状を正確に丁寧に**数字**で見直す
- ②**ビジョン**の必要性
- ③**ビジョンとアクション**の両輪体制
- ④**地域の目標**を固め、
そのための**社会実験**をする



図：ビジョンとアクションの両輪体制

第2回の議論では、主にお散歩市の来場者、出展者にアンケート実施したアンケート結果を共有しながら、まずは現在どんなことがまちに期待されているのかを把握していった。そして現在期待されていることをふまえながら、参画メンバーで伊豆の国市の100年後を大胆に予想してみることを試みた。



図：伊豆の国ミライ年表 (100年後の未来)

さらに100年後の未来を考えつつ、「いま何をすべきか」、「将来のまちにとって何が必要か」など未来ビジョンのテーマや、エリア内で行う実施施策(案)についてワークショップで議論を行った。

【未来ビジョンのテーマについて考えてみよう】

次のような問いを掲げた。『伊豆長岡温泉エリアの未来を考えるうえで、下記の候補から気になる場所を一つ選び、赤文字の内容を増やすために必要なことは何だと思えますか？またあなたならそのためにどんなことができるでしょうか？』

(候補：伊豆長岡温泉、温泉場出逢い通り、南山荘、源氏山、温泉駅、オリンピック、大河ドラマ、伊豆半島ジオパーク、空き家・空き店舗、伊豆長岡駅、順天堂病院、狩野川、その他)』

・まずは「客観的に必要なこと」を挙げて、その実現に向けて「自分は何が出来るか」を記載していった。

テーマ1：温泉のある暮らし、まちの魅力や拠点性を高めて関係人口を増やすために・・・

【メンバーからの意見(※抜粋)】

- ・南山荘・ゲストハウスWSの開設(創業支援)
- ・空き家/空き店舗→ビジネスWS(創業活性化)/シェアオフィス/シェアハウス/週末泊りながら体験できるDIYリノベスクール
- ・南山荘や空き家/空き店舗で週末DIY一層の剪定、プランター花栽培など、市外ボランティアと一緒に、旅館のお風呂に無料で入ってもらう。
- ・温泉駅をサイクリストの拠点へ→自転車のメンテナンスや足湯併設→サイクリストの交流の場
- ・温泉駅/伊豆長岡駅→E-Bikeによる伊豆長岡駅との連絡確保によるビジネス、移住促進関連/コワーキングスペース、親子ワークショップ、何でも案内所/健康サービス/ヘルスツーリズム拠点
- ・みかん園、いちご狩り→よく旅館が手配に来てやって貰うようなことを都会の人に参加して貰って実施、無料利用券でお礼する。

【可能性を感じる候補】

- ・南山荘
- ・温泉駅
- ・伊豆長岡駅
- ・空き家/空き店舗
- ・その他

【新たな取り組み】

- ・新事業/ワークショップ/コワーキングスペース
- ・サイクリストの拠点
- ・有償ボランティア
- ・都心との連携
- ・DIYリノベスクール

テーマ2：多世代・多様なライフスタイルを支える環境を整えて定住人口を増やすために・・・

【メンバーからの意見(※抜粋)】

- ・温泉場出逢い通り/温泉駅/伊豆長岡駅を中心に、住・買・遊・医・役などを集めさせる。
- ・南山荘→オープンな地域コミュニティ拠点として、移住相談窓口を設置し移住前後のフォローアップ
- ・空き家や空き店舗→病院職員が主に利用するコミュニティ施設、病院職員の住居やカフェ、マルシェ等→職員にとって住みやすい街づくり
- ・またこの施設で定期検診が受けられるなど日常的に高齢者が居られる→高齢者も安心して暮らせる
- ・順天堂病院一棟型の市民館をまちなかで実施
- ・温泉場出逢い通り→お散歩の拡大(歩き難い等を活用したリハビリプログラム、生活用品の販売、土産物販売、市内(他地域)からのシャトルス)
- ・地元住民でも商店街感覚で資料に参加できる
- ・空き家/空き店舗→居酒屋を併用以外にも、営業時間を延ばす。

【可能性を感じる候補】

- ・順天堂病院
- ・温泉場出逢い通り
- ・空き家/空き店舗
- ・温泉駅
- ・伊豆長岡駅
- ・南山荘

【新たな取り組み】

- ・新事業/ワークショップ
- ・コミュニティ施設
- ・産産産/介護予防
- ・子育て支援施設
- ・お散歩の拡大
- ・夜の居場所

テーマ3：まちを巡る楽しみを高めて交流人口を増やすために・・・

【メンバーからの意見(※抜粋)】

- ・足湯を目的とした散策コースでウォーキングを併せて温泉街を回遊
- ・「第二の故郷」を目指したい。駅南側に古い物に行くのに近い気持ちでまず日帰り
- ・南山荘・源氏山・狩野川で、小さな体験を売りたい。
- ・狩野川BBQなど外遊ができるように観光以外のレジャー創出
- ・天や雷などのバケットと一緒に入れる温泉、公園のドックラン
- ・射的の魅力を広める。海苔と射的は結び付くが強い。レトロな雰囲気がある。イメージも変わる。景品をインスタ映えにイメージ、写真目的での来客も増えると思う。出張プランでリバーサイドパークで射的を出し、温泉街の魅力を広める
- ・温泉駅/伊豆長岡駅→IDoYバス、先進的モビリティの拠点、伊豆長岡温泉を象徴するもの

【可能性を感じる候補】

- ・温泉
- ・南山荘
- ・源氏山
- ・狩野川
- ・温泉駅
- ・伊豆長岡駅
- ・その他

【新たな取り組み】

- ・新事業/ワークショップ
- ・自然での体験/レジャー
- ・足湯めぐり
- ・バケットを入れる温泉
- ・射的
- ・先進的レジャーの拠点

テーマ4：居心地の良いまちにして滞在時間を増やすために・・・

【メンバーからの意見(※抜粋)】

- ・南山荘・カフェ/簡易宿所
- ・源氏山→歩道の整備/子供が探検を楽しめるアトラクション/川原でBBQ
- ・常設で診察を待つ患者やその家族に待合の時間や、行き帰りに滞在できる場所→ゆったり休む場所、気軽にE-Bikeを使って源氏山から景色を撮影
- ・伊豆長岡温泉のテーマ光(太陽・街灯・行灯)と水(温泉・足湯・手湯・湯など)
- ・各温泉施設の開放化/観光用駐車場の整備
- ・車いす対応観光車、徒歩(E-Bike)での周遊を原し、カフェや、大型足湯を設置
- ・温泉施設でワークショップ→夜泊
- ・南山荘に希望する人の相談事務所を設置
- ・半島出逢い通り→特産物の店/カフェ
- ・食べ飲み歩きできるような物を販売
- ・温泉駅/伊豆長岡駅→足湯×カフェ×バー×図書館、リラクゼーションや安眠できる空間
- ・特産物、食べ飲み歩き

【可能性を感じる候補】

- ・伊豆長岡温泉
- ・南山荘
- ・温泉駅
- ・伊豆長岡駅
- ・源氏山
- ・温泉場出逢い通り
- ・その他

【新たな取り組み】

- ・カフェ他、休める場所
- ・アトラクション
- ・温泉施設の開放
- ・気軽にE-Bike
- ・ワークショップ/相談事務所
- ・特産物、食べ飲み歩き

図：ワークショップのまとめ

第3回では、これまでの社会実験の結果をふまえながら、今後の社会実験に向けての軌道修正を行い、各部会で未来ビジョンの策定エリアの範囲、未来ビジョンを提示する場所の確認及びどのようなことを実現したいかを具体的に扱い、未来ビジョンの素案について方向性を確認していった。

各部会で扱ったテーマについては以下のとおりである。

日付	会議	テーマ
2020/8/21	第1回ミライ会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 官民連携まちなか再生推進事業について 2. 伊豆長岡温泉ミライ会の目指すもの (仮) 温泉のある暮らし <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業目標の確認 2. エリアの位置づけ及びエリア設定の考え方 3. 現状分析 (エリアの強み・弱み) 4. エリアの課題 5. エリア内におけるまちづくりの取組概要 (過去3年間) 6. 策定目的とエリアの目指す将来の方向性 7. エリアの目指す将来像を実現するための施策 8. 上記施策を実施するための実施体制 9. 検討体制 10-1. 検討・策定プロセス 10-2. 実施内容イメージ 11. 関連事業の概要 12. 全体の位置づけ 13. 社会実験のイメージ 14. 部会の課題について (想定テーマ) 15. スケジュール 3. 関連する事業、官民連携のまちづくりに向けた新しいトレンド 4. 令和2年度伊豆長岡温泉ミライ会議及び関連事業 5. プロジェクトホームページの作成について (案)
2020/10/4	第1回まちづくり部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者紹介 3. 伊豆長岡温泉の現状 <ul style="list-style-type: none"> 伊豆長岡温泉の現状① どんな人たちが暮し・働き・訪れる？ 伊豆長岡温泉の現状② 観光地としての現状は？ 伊豆長岡温泉の現状③ 都市のスポンジ化が進行 伊豆長岡温泉の現状④ 地価はH4年以降 減少傾向 4. 国の動向と市政の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 現状の各施策策定状況 未来年表として計画してみる？ 人口減少は避けられないが・・・世代別の中身は？ 立地適正化計画 市政と伊豆長岡温泉ミライ会議との関係 5. 伊豆長岡温泉活性化のためのヒント 6. まちづくり部会の課題について <ul style="list-style-type: none"> 社会実験のイメージ 部会の課題について (想定テーマ) 社会実験に向けた課題整理 まちづくり部会の課題 (案) (10月11日) お散歩市での社会実験 7. その他 (報告事項)
2020/10/8	第1回観光・コミュニティ部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者紹介 3. 「未来ビジョン」の必要性と可能性 4. 伊豆長岡温泉の現状 <ul style="list-style-type: none"> 伊豆長岡温泉の現状① どんな人たちが暮し・働き・訪れる？ 伊豆長岡温泉の現状② 観光地としての現状は？ 伊豆長岡温泉の現状③ 都市のスポンジ化が進行 伊豆長岡温泉の現状④ 地価はH4年以降 減少傾向 4. 国の動向と市政の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 現状の各施策策定状況 未来年表として計画してみる？ 人口減少は避けられないが・・・世代別の中身は？ 立地適正化計画 市政と伊豆長岡温泉ミライ会議との関係 5. 伊豆長岡温泉活性化のためのヒント 6. まちづくり部会の課題について <ul style="list-style-type: none"> 社会実験のイメージ 部会の課題について (想定テーマ) 社会実験に向けた課題整理 まちづくり部会の課題 (案) (10月11日) お散歩市での社会実験 7. その他 (報告事項)



2020/11/25	第2回まちづくり部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 前回部会の振り返り 4. 第1回社会実験の報告 <ul style="list-style-type: none"> 今回行った4つの社会実験 ①大学生のE-BIKE周遊 ②空き店舗活用(街角ギャラリー、旅する古本) 温泉駅でのE-BIKEステーション(源氏山頂上へのお試しライド) ③地域課題解決型プロジェクトゼミの開始(仮称)伊豆長岡温泉大学 ④ワークショップ通信の住民配布 5. アンケートから見るお散歩市への期待 6. 未来ビジョンとまちづくりテーマ(素案) <ul style="list-style-type: none"> みんなで作る「未来年表」についてみんなで議論 テーマ1: 温泉のある暮らし、まちの魅力や拠点性を高めて関係人口を増やす テーマ2: 多世代・多様なライフスタイルを支える環境を整えて定住人口を増やす テーマ3: まちを巡る楽しみを高めて交流人口を増やす テーマ4: 居心地の良いまちにして滞在時間を増やす 伊豆長岡エリア活性化マップ(進行中) 7. 第2回社会実験について <ul style="list-style-type: none"> ①お散歩市のバスのみ片側通行の社会実験 ②地域課題解決型プロジェクトゼミ「(仮称)伊豆長岡温泉大学」第2回1泊2日の現地合宿ゼミの社会実験 ③温泉場での竹灯籠イベント、源氏山キッチンカーイベントの社会実験 8. スケジュールについて 9. その他報告事項
2020/12/3	第2回観光・コミュニティ部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 前回部会の振り返り 4. 第1回社会実験の報告 <ul style="list-style-type: none"> 今回行った4つの社会実験 ①大学生のE-BIKE周遊 ②空き店舗活用(街角ギャラリー、旅する古本) 温泉駅でのE-BIKEステーション(源氏山頂上へのお試しライド) ③地域課題解決型プロジェクトゼミの開始(仮称)伊豆長岡温泉大学 ④ワークショップ通信の住民配布 5. アンケートから見るお散歩市への期待 6. 未来ビジョンとまちづくりテーマ(素案) <ul style="list-style-type: none"> みんなで作る「未来年表」についてみんなで議論 テーマ1: 温泉のある暮らし、まちの魅力や拠点性を高めて関係人口を増やす テーマ2: 多世代・多様なライフスタイルを支える環境を整えて定住人口を増やす テーマ3: まちを巡る楽しみを高めて交流人口を増やす テーマ4: 居心地の良いまちにして滞在時間を増やす 伊豆長岡エリア活性化マップ(進行中) 7. 第2回社会実験について <ul style="list-style-type: none"> ①お散歩市のバスのみ片側通行の社会実験 ②地域課題解決型プロジェクトゼミ「(仮称)伊豆長岡温泉大学」第2回1泊2日の現地合宿ゼミの社会実験 ③温泉場での竹灯籠イベント、源氏山キッチンカーイベントの社会実験 8. スケジュールについて 9. その他報告事項
2020/12/10	第2回ミライ会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 3部会と社会実験の振り返り <ul style="list-style-type: none"> 3部会の振り返り 伊豆長岡温泉地区にいるステイクホルダーの人口データ 伊豆の国ミライ年表 人口どうなる? 観光客数どうなる? 未来ビジョン、まちづくりテーマの方向性(素案) 実施した4つの社会実験 4. アンケートから見る伊豆長岡温泉への期待 <ul style="list-style-type: none"> 今回行った3つのアンケート ①お散歩市利用者へのアンケート ②お散歩市運営者へのアンケート ③街角ギャラリーでのみんなの「想い」寄せ書き 5. ワークショップの結果を反映した新たな取組み 6. 未来ビジョンとまちづくりテーマ(素案) <ul style="list-style-type: none"> 伊豆長岡エリア活性化マップ(進行中) まちづくり施策一覧(素案) 7. 3つのテーマ <ul style="list-style-type: none"> ①重ね合わせ部分の共有 ②わかりやすい目標(コンセプト)設定 ③今後の社会実験について 8. スケジュールについて 9. その他報告事項

2021/2/10	第3回まちづくり部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 前回部会の振り返り ワークショップの実施結果 伊豆長岡エリア活性化マップ（進行中） 4. 第2回社会実験の報告 ①お散歩市の片側通行 2回実施 ② 温泉駅活用（BOOK café E-bikeステーション）空き店舗活用（街角ギャラリー、旅する古本） ③伊豆長岡温泉ミライ大学（2回目）現地イベント地域課題解決型プロジェクトゼミ ④インスタ開設/SNS発信 5. 社会実験をふまえた温泉場への期待 街角ギャラリーでの みんなの「想い」アンケート結果 E-BIKEの周遊プログラム開発、伊豆半島が「ワーク」との連携、大河ドラマ 社会福祉団体等によるコミュニティ活動、ワークショップ、共生社会の試み 6. 未来ビジョン策定エリアとビジョンで描くミライの風景 未来ビジョンとまちづくりテーマを実現する視点 わかりやすいまちの目標（コンセプト）の設定 未来ビジョン策定にむけた3層のエリア設定 未来ビジョン（将来像）を提示する場所/目標/整備内容 7. 事業実施に合わせた推進体制や情報発信、資金調達 8. 次の社会実験について ①一方通行を見据えた通行止めの社会実験 ②地域課題解決型プロジェクトゼミ「伊豆長岡温泉ミライ大学」第2回現地ゼミの実施 ③温泉駅の日常的な活用実験 地域おこし協力隊 E-bike周遊企画 FMいずながおか放送の実施 温泉駅活用+空き家活用のアイデア モバイル足湯プロジェクトの実施フィールドとしての取組 ④まちづくりクラウドファンディング 9. スケジュールとプラットフォームメンバーからの案内
2021/2/18	第3回観光・コミュニティ部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 前回部会の振り返り ワークショップの実施結果 伊豆長岡エリア活性化マップ（進行中） 4. 第2回社会実験の報告 ①お散歩市の片側通行 2回実施 ② 温泉駅活用（BOOK café E-bikeステーション）空き店舗活用（街角ギャラリー、旅する古本） ③伊豆長岡温泉ミライ大学（2回目）現地イベント地域課題解決型プロジェクトゼミ ④インスタ開設/SNS発信 5. 社会実験をふまえた温泉場への期待 街角ギャラリーでの みんなの「想い」アンケート結果 E-BIKEの周遊プログラム開発、伊豆半島が「ワーク」との連携、大河ドラマ 社会福祉団体等によるコミュニティ活動、ワークショップ、共生社会の試み 6. 未来ビジョン策定エリアとビジョンで描くミライの風景 未来ビジョンとまちづくりテーマを実現する視点 わかりやすいまちの目標（コンセプト）の設定 未来ビジョン策定にむけた3層のエリア設定 未来ビジョン（将来像）を提示する場所/目標/整備内容 7. 事業実施に合わせた推進体制や情報発信、資金調達 8. 次の社会実験について ①一方通行を見据えた通行止めの社会実験 ②地域課題解決型プロジェクトゼミ「伊豆長岡温泉ミライ大学」第2回現地ゼミの実施 ③温泉駅の日常的な活用実験 地域おこし協力隊 E-bike周遊企画 FMいずながおか放送の実施 温泉駅活用+空き家活用のアイデア モバイル足湯プロジェクトの実施フィールドとしての取組 ④まちづくりクラウドファンディング 9. スケジュールとプラットフォームメンバーからの案内
2021/3/18	第3回ミライ会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 会議の出席者・参加者 3. 前回会議の振り返り 未来ビジョンとまちづくりテーマを実現する視点 わかりやすいまちの目標（コンセプト）の設定 未来ビジョン策定にむけた3層のエリア設定 未来ビジョン（将来像）を提示する場所/目標/整備内容 4. 第3回社会実験（3月14日お散歩市5周年）の報告 ①お散歩市の実施全面通行止めの実施（3月14日） ② 温泉駅活用（BOOK café E-bike、FMサテライトステーション） 空き店舗活用（街角ギャラリー、COCO） 5. 伊豆長岡の現状と温泉場への期待 6. 未来ビジョン策定エリアとビジョンで描くミライの風景 7. 事業実施に合わせた推進体制や情報発信、資金調達 8. 来年度の社会実験について 9. スケジュールとプラットフォームメンバーからの案内

3-4 まちづくり WS 通信の発行

ミライ会議及び各部会で行った議論については、下記のようにワークショップ通信を作成し、市民のまちづくりへの意識を高めてもらうためエリア内の全戸配布を行った。またHPやSNSなどで社会実験の様子を発信し、参加意識を高める工夫を行った。

伊豆長岡温泉ミライ会議

IZUNAGAOKA ONSEN CONFERENCE FOR SUSTAINABLE FUTURE

官民連携まちなか再生推進事業

ワークショップ通信 vol.1

ワークショップピックアップ：伊豆長岡温泉ミライ会議はじまりました！

伊豆長岡温泉ミライ会議とは？

伊豆長岡温泉ミライ会議は、賑わいのある温泉地帯の再生を目指し、地域や自治体、民間事業者が連携してつくるエリアプラットフォーム（会務体）として設立されました。国土交通省による民間連携まちなか再生推進事業の採択を受け、温泉地の未来ビジョンを策定し、大切な温泉地帯である温泉地帯を守りながら、地域で暮らし続けられるコミュニティを目指し、「温泉のある暮らし」をテーマに賑わいづくり・まちづくりを推進していきます。



伊豆長岡温泉

目指すのは「温泉のある暮らし」

浴衣の旅行が行き交り歩いて楽しい町を復活させるべく、温泉旅館の集積を確保しつつ、観光で訪れる方、地域で働く人・学ぶ人・暮らす人などあらゆる人にとって、快適で暮らしやすいまちとして再生を目指していきます。



温泉旅館の集積

取組の一つ「伊豆長岡温泉お祭り」は2021年3月で5周年を迎える予定ですが、温泉地帯の賑わいを中心に、地域のみならず、出展者のみなさんと暮らしていくことを目指していきます。また伊豆ペドロードでのオリンピック・パラリンピックの室内自転車競技の開催を契機に、市内の道の駅伊豆のへそに隣接する自転車ブランドMEHDAの世界最大規模の展示・販売施設「MEHDA X-BASE」を拠点の一つとし、地域の新たなプレーヤーであるメロジャパン・ミヤダイクジ社・サイクリストのニーズを捉え、温泉×健康×福祉×自転車を活かした関連プログラムを策定し、温泉地帯の賑わいと市民の豊饒な空間や地域ならではのグルメ、自然アクティビティを並走する種別づくりとしてのまちづくりを推進していきます。



第1回全体会議開催！16の参加団体がキックオフしました！

2020年8月21日エリアプラットフォームのメンバーが伊豆の僅市観光協会に集結。コロナ禍のため、オンラインも活用しながら、メンバーの顔合わせと目標のすり合わせ・協賛共有を行いました。



これまで連携してきた温泉地帯お祭り（南山井）と、温泉地帯復興を掲げる温泉地帯、南山井と温泉地帯を結ぶ温泉地帯をフィールドに、社会実験として空き店舗や空き地の活用を開始し、長期的な活用に向けたまちづくりを推進していきます。

また周辺の公共施設（南山井公園やあまの湯、市立温泉公園、長岡南遊園地）を7-11や7-11など身近な施設と、地域に根ざる商店（地産地消）を盛り込む計画など、歩いて楽しむまちとして展開していきます。

次回は、まちづくり・観光・コミュニティの3つの部会に分かれて、地域の「いま」を丁寧に数字で捉えながら伊豆長岡温泉ミライ会議のためのヒントを探っていきます。

これまでの取り組みと、今後のまちの魅力・賑わいづくり



エリアプラットフォームのメンバー ※一部紹介

次回お祭り 12月13日開催予定！ 温泉地帯お祭りにお越しいただき、会場アンケートの回答をして頂いたお客様に、お賞券券100円を差し上げます。 お問い合わせ先 発行日：2020年11月12日 発行所：伊豆長岡温泉ミライ会議事務局 連絡先：https://izunagaokaonsen.or.jp/going-local/

伊豆長岡温泉ミライ会議

IZUNAGAOKA ONSEN CONFERENCE FOR SUSTAINABLE FUTURE

官民連携まちなか再生推進事業

ワークショップ通信 vol.2

ワークショップピックアップ：第1回まちづくり・観光・コミュニティ部会を開催しました！

地域の「いま」を丁寧に数字で捉えることが未来のカギ！

伊豆長岡温泉ミライ会議では、2020年10月4日（日）まちづくり部会、10月8日（土）観光部会とコミュニティ部会を開催しました。メンバーはエリアプラットフォームの各団体と、会長として日本大学の久成建設院、横浜国立大学の野村建設院、法政大学の今井主任講師をお招きしました。



まず地域の「いま」を丁寧に数字で捉えるために、地域の人口・観光地の集積・空き店舗状況等を分析しました。伊豆長岡温泉は、全国でも珍しい温泉地帯の大半のエリアが市街地圏外に所在し、都市計画と自然環境が両立して位置づけられています。ミライ会議では、国・県・市の政策と連携を図りながら、今後の伊豆長岡温泉のまちづくりを推進し、多様な活用を実現しながら、未来ビジョンを創っていきます。



大事なのはビジョンを共有し、各団体が同じ目標に向かって、同じ方向に歩むこと。初めは難しかったですが、それぞれの活動が掛け合い、相乗効果が期待できます。また、議論では様々な案の取り組みも出てきました。



千葉市都市部のバスドリートバーチャルでは、準備から駅前で進捗が早い一方で、1日開催ではありますが、通りを交差する場から交差の場に変化させていきます。



出発地・目的地のシェアスペースの事例では、歩道と車道の両方を活用することで、歩行空間が豊かになり、通りとしての価値を上げることが実現しています。このような全面的な事例を参考に、温泉地帯の賑わいへの期待も高まってきました。



次回は、オリンピック・パラリンピックの開催、大河ドラマの舞台としても注目のエリアならではの、両者のコンテンツの充実も今後の課題として上がりました。



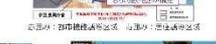
千代田市ドリートバーチャルの事例では、交差の場から「交差の場」へ



東西交差の場からシェアスペースの事例



駅前・駅前通りの「歩行者」の視点



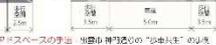
千代田市ドリートバーチャルの事例では、交差の場から「交差の場」へ



東西交差の場からシェアスペースの事例



駅前・駅前通りの「歩行者」の視点



千代田市ドリートバーチャルの事例では、交差の場から「交差の場」へ



東西交差の場からシェアスペースの事例



駅前・駅前通りの「歩行者」の視点



千代田市ドリートバーチャルの事例では、交差の場から「交差の場」へ



東西交差の場からシェアスペースの事例



駅前・駅前通りの「歩行者」の視点



千代田市ドリートバーチャルの事例では、交差の場から「交差の場」へ



温泉地帯お祭り、まちづくり社会実験を開始！

これからお祭りにテーマを持って、社会実験を行っていきます。内容は、空き店舗活用や空き店舗活用E-BIKEによる周辺の3つの社会実験を想定しています。



まずは10月11日のお祭りで第一歩を踏み出しました！まちづくり・コミュニティ部会メンバーの連携・協力により、温泉地帯お祭りE-BIKEステーションとして活用させていただきます。日本大学国際関係学部の学生さん17名が、E-BIKEを借りて伊豆の道市街地の特色ある景観を楽しむ周遊ルートを探検してくれました。また温泉地帯お祭りの空き店舗2件は「青角キヤリアー」と「積家」の2店舗として活用することで、新たな賑わいづくりに貢献しました。



社会実験で大切なのは準備を立てて検証すること、失敗を恐れずに実践し、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



次回の3部会では、今後の伊豆長岡温泉の未来像についてそれぞれ異分野に議論していきます。



1. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



2. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



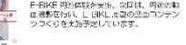
3. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



4. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



5. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



6. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



7. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



8. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



9. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



10. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



11. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



12. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



13. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



14. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



15. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



16. 温泉地帯お祭りに合わせての社会実験の準備は、伊豆長岡温泉の未来にどう活かしていくかを抽出することです。今後のお祭りお祭りに、多様な取り組みがさらに社会実験を進めていきますので、ご協力も、よろしくお願ひ致します。取り組みは随時、下記伊豆長岡温泉ミライ会議HPより発信していきます！



3-5 都心と地域をつないだ課題解決型ワークショップ 伊豆長岡温泉ミライ大学

(1) 地域課題解決型ワークショップ「伊豆長岡温泉ミライ大学」

今年度、伊豆長岡温泉ミライ会議で策定した未来ビジョンと並行して、100年後の伊豆長岡温泉の未来を見据え、主体的に地域課題解決に取り組める環境作りの一環として、「伊豆長岡温泉ミライ大学」を2020年11月より開始した。発端は、シャレットワークショップや大学コンソーシアムなど大学との繋がりが徐々に増えてきたこと、伊豆長岡温泉はもともと大学サークルのゼミ合宿などの需要も多く、首都圏や静岡県内の多くの学生がこの地を訪れる機会が多いということ、があげられる。せっかく訪れる学生に、地域の今を伝え、地域課題を共に解決する仕組みづくりは、学生にとっても地域にとっても有益であることに着目し、地域課題を皆でとらえ、課題解決を行うプロジェクト型のゼミとしてスタートすることとなった。

具体的に今年度は、伊豆の国市在住者・勤務者、学生、出身者、また市外から関わりを持ちたい層（移住・二拠点居住希望者、関係人口など）を対象に、オンラインイベントや1泊2日のフィールドワークを実施した。来年度以降も自治体や地域事業者・組織とも連携して、社会を変える取組を進めていく。

(2)今年度の取り組み実績

①伊豆長岡温泉ミライ大学 #1 (オフライン・オンラインイベント)

11月18日(水)、伊豆長岡温泉ミライ大学として最初の取り組みとなるオフライン・オンライン同時開催のイベントを実施した。第一回のテーマは『都心にいながら温泉街の賑わい作りに挑戦 伊豆長岡温泉ミライ会議～目指すのは「温泉のある暮らし」～』とした。

The poster features a central red box with white text. At the top, it says '都心にいながら温泉街の賑わい作りに挑戦' (Challenge of creating a lively hot spring town while staying in the city center). Below that, the main title '伊豆長岡温泉ミライ大学' (Izu-Nagano Onsen Mirai University) is written in large white characters. Underneath the title, it says '目指すのは「温泉のある暮らし」' (What we aim for is 'a lifestyle with hot springs'). To the right of this text is a small illustration of a hot spring with steam rising from it. Below the central box, the date '2020.11.18(水)' and time '19:00-20:30' are displayed in white text on red backgrounds. Surrounding the central box are four portrait photos of speakers, each with their name and title below them.

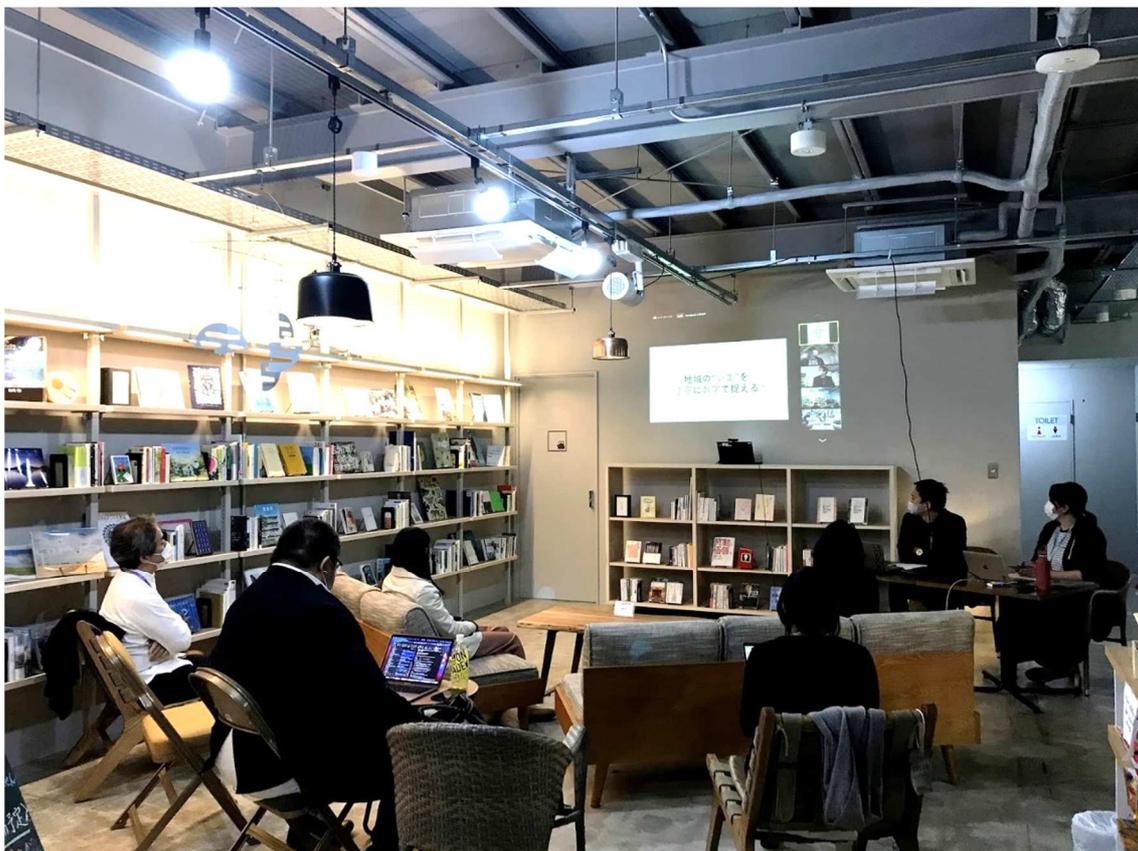
今井 裕久
伊豆の国市 伊豆長岡温泉活性化
アドバイザー

望月 敬太
伊豆長岡温泉旅館協同組合
理事兼宣伝委員長

田中 祐樹
株式会社トレジャーファット
代表取締役社長

小山 和志
地域おこし協力隊

イベント当日は、伊豆長岡温泉にある「小松家八の坊」と東京都品川区にあるコワーキングスペース「ザ・パークレックス天王洲 [the DOCK]」の2会場とオンライン配信の3会場同時開催とした。東京会場・オンライン会場には、静岡県出身・東京在住の方や数々の関係人口創出プロジェクトを手がけてきた方、また地域活性に関心があり地域での実践経験を積みたい方、子供と一緒にワーケーションできる地域を探している方など、様々な視点から伊豆長岡温泉に関心のある19名が参加した。



東京会場：ザ・パークレックス天王洲 [the DOCK]の様子

イベント前半では、伊豆の国市 伊豆長岡温泉活性化アドバイザーである今井裕久氏より、伊豆長岡温泉の課題や伊豆長岡温泉ミライ会議が進める社会実験等を報告した。後半は、伊豆長岡温泉ミライ大学のメンバーとしてイベントの企画・運営を担当している株式会社トレジャーフットより、伊豆長岡温泉ミライ大学#2として12月に開催するフィールドワークの案内、現地のプロジェクトパートナーである伊豆長岡温泉旅館協同組合 理事兼宣伝委員長の望月 敬太氏、伊豆の国市地域おこし協力隊の小山和志氏の2名より現在の活動について報告を実施した。

イベント終了後、伊豆長岡会場と東京会場を繋いだ意見交換会・交流会を実施し、参加者から伊豆長岡温泉の知名度や観光スポット、ワーケーション等多岐にわたる感想・意見が集

まった。

<参加者の声> ※一部抜粋

- ・伊豆長岡温泉に宿泊した経験があるが、観光スポットが少ない印象（40代・女性）
- ・子供と一緒にワーケーションできる場所があるとぜひ行ってみたい（40代・女性）
- ・修善寺など近隣の観光地の印象が強く、「伊豆長岡温泉」を調べようと思わない、そもそも認知の問題？（20代・女性）
- ・カフェなど若い人が行きたくなる場所があれば家族旅行の選択肢に入りやすい（40代・女性）
- ・三島まで行ったことはあるが、日帰りで行けてしまうので敢えて泊まろうと思わなかった（20代・女性）
- ・ドラマや映画、漫画などの聖地巡礼で旅先を決めることが多い（20代・女性）
- ・北海道の余市では、朝ドラ「まっさん」の影響で年間を通して観光客が急増。一過性ではなく現在もその人気が続いている。小樽まできている観光客を引っ張り込むきっかけになった。大河ドラマで同じ効果が出せるのでは？（40代・男性）

②伊豆長岡温泉ミライ大学 #2（1泊2日のフィールドワーク）

第一回のイベントを経て、12月12日(土)・13日(日)に「補助金に頼らないまちづくり・持続可能な事業を作る」というテーマのもと1泊2日のフィールドワークを実施した。今回のフィールドワークは地域外在住者の中でも、二拠点居住やワーケーションなど多様化する働き方に関心のある方、社会実験をサポートできる専門知識を持つ方を対象とすることで、地域外の視点・専門家の視点から地域課題や魅力を再発掘すると同時に、地域内外の人材マッチングを図ることで、継続的な取り組みへとつなげることを目的とした。

イベント当日は、日本各地の地域プロジェクト立ち上げ・運営実績のある方や、地域ブランディング、広報・PR、マーケティング領域の経験のある方、伊豆長岡温泉出身で東京の企業に勤めながら地元の活性化に取り組む方など、様々なスキルをも首都圏在住者が10名参加し、E-BIKE周遊やお散歩市、アイデアソン等を行なった。



写真：リエンテーションの様子



写真：参加者によるE-BIKE周遊



写真：参加者によるフィールドワーク

<プログラム概要>

スケジュール	内容	詳細
1日目：12月12日(土)		
10:30～12:00	オリエンテーション	参加者自己紹介 伊豆長岡温泉での取り組み紹介 過去の取り組みと実績紹介 滞在中のプログラム説明
12:00～13:00	ランチ	
13:00～16:00	フィールドワーク	・主要観光地巡り (E-BIKE) ・活用可能な空き店舗巡り
16:30～18:00	ワークショップ①	気付き・感想シェア、交流・定着・周遊人口、滞在時間を増やすための具体策として何をやるか考える。
18:00～21:00	交流会	
2日目：12月13日(日)		
18:00～21:00	自由行動	・お散歩市見学 ・自由散策
13:00～16:30	ワークショップ②	都市再生法人の新規事業担当として交流・定着・周遊人口、滞在時間を増やすための具体策を検討。
16:30～17:00	発表	ワークショップ②の結果を発表

1日目のテーマは「伊豆長岡温泉を知る」であった。午前は伊豆の国市 伊豆長岡温泉活性化アドバイザーである今井裕久氏から、伊豆長岡温泉の基本情報や歴史、現在の課題や各種社会実験について説明を行った後、午後から伊豆長岡温泉ミライ会議が進める社会実験の一つである E-BIKE 周遊を通して、参加者に現在の伊豆長岡温泉を実際に体感するインプットの時間を設定した。

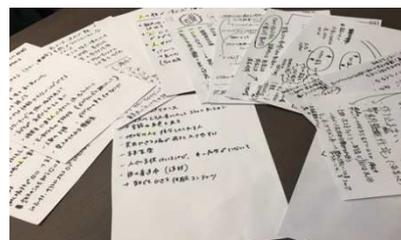
E-BIKE 周遊後、フィールドワークを通して感じた地域課題や魅力、そして伊豆長岡尾温泉に関わる交流人口・定着人口・周遊人口・滞在時間を増やすための具体策を考えるアイデアソンを実施した。参加者の大半が伊豆長岡温泉は初訪問のため、初めてだからこそ気づく魅力や課題、そして参加者それぞれのスキルや経験を掛け合わせた新しいアイデアや意見が多数集まった。



写真：ワークショップ①の様子



写真：ワークショップ①の様子



写真：企画アイデア

<参加者の声> ※一部抜粋

・E-BIKE はガイドさんがいれば活用したいが、スマホで道を調べながら自分たちで回るのはなかなか難しい。自転車にスマホが設置できるようにするか、個人でもガイドをお願いしやすい仕組みがあると活用しやすい。(30代・女性)

・伊豆長岡温泉は十分コンテンツがあるので、新しい何かを創るのではなく、今いる人・今ある場所を活かした方が良い。(30代・男性)

・観光よりももう少し深く地域に入り込みたい。フリーランスでよくワーケーションにいくことがあり、観光ではなく日常を体験できるコンテンツや、ニューファーマーに話を聞きに行ける機会があると、より地域を知ることができる。(20代・女性)

・ワーケーションなど中長期滞在用の宿泊プランを作り、子供と一緒にワーケーションに来れるような仕組みがあると訪問先の選択肢に入ってくる。(30代・男性)

・有名な観光地は一度いだけで満足してしまいリピートしにくい。もっと人の顔が見えるコンテンツ、例えば、地域の人を紹介するカードを宿泊施設等に設置し、気になるキーワードを選ぶとそのキーワードにまつわる人の情報が知れて、会いに行ける。次もまたあの人に会いにいこう、次はまた別の新しい人のところも訪問してみようと、リピートするかも。(30代・女性)

2日目のテーマは、「伊豆長岡温泉を考える」であった。3月で5周年を迎えた温泉場お散歩市を見学した後、2日間のインプットをもとにアイデアソンを実施した。1日目に引き続き、伊豆長岡温泉の交流人口・定着人口・周遊人口・滞在時間を増やすための具体策を

議論し、伊豆長岡温泉ミライ会議の参画団体に向けて最終プレゼンテーションを行った。



写真：ワークショップ②の様子



写真：ワークショップ②の様子



写真：ワークショップ②の様子

2日間を通して見えてきたキーワードは、「人×発信」であった。伊豆の国市の「人」と「営み」のリアルを見せる継続的な活動を通して、地域との関わりに興味を持っている人や暮らしまつわるリアルを知りたい人が、自分ごと化させる体験を提供していく必要があるという結論に至った。

具体的には、人（農家・旅館）×仕事×旅行がパッケージになった体験プログラムを提供するWEBサイトを構築した。関わり方の多様性や選択肢があることを伝え、ツアープログラムやオンライン説明会、旅先・人の情報を掲載した。伊豆の国市に繰り返し訪れる人を増やすことで、地域で一緒に企む人・関係者を増やしていくという最終プレゼンテーションを実施した。

③伊豆長岡温泉ミライ大学 #3（オンラインイベント）

3月18日(木)、第三回 伊豆長岡温泉ミライ大学をオンラインで開催した。第三回テーマは『温泉場のミライを語る会 ～温泉のある暮らしを目指す地域課題解決ゼミ始動～』であった。

＼伊豆長岡温泉ミライ大学 #3 /

温泉場のミライを語る会

—温泉のある暮らしを目指す地域課題解決ゼミ始動—

2021/3/18（木）19:30 - 21:00 @ オンライン

今井 裕久
伊豆長岡温泉活性化アドバイザー
株式会社プラスニューオフィス プロデューサー

渡辺 末美
coco代表

伊藤まゆみ
東京工業大学 環境・社会理工学院
建築学系 建築学コース 塩崎太伸研究室

緊急事態宣言の発令に伴い東京側は会場を設けず、完全オンラインで開催した。伊豆長岡会場には伊豆長岡温泉ミライ会議の事務局や地域おこし協力隊員等、オンライン会場には12月に実施したフィールドワークの参加者や、今回のイベントで初めて伊豆長岡温泉を認知した首都圏在住者、出身者等、地域内外から17名が参加した。



オンラインイベントの様子

イベント前半では、伊豆の国市 伊豆長岡温泉活性化アドバイザーである今井裕久氏より、本年度の伊豆長岡温泉ミライ会議の全体報告や3月14日(日)に5周年を迎えたお散歩市や来年度の方向性を発表した。その後、第2回伊豆長岡温泉ミライ大学 フィールドワークの企画・運営を担当している株式会社トレジャーフットより、12月のフィールドワークの実施報告として、滞在中の様子や参加者から寄せられた伊豆長岡温泉の魅力や課題を共有した。

また伊豆長岡温泉で活動する4名(地域内3名、地域外1名)がゲストスピーカーとして登壇し、自身の活動や活動を通じて感じる地域課題や地域の可能性を報告した。

<ゲストスピーカー>

登壇者	所属
望月 さん	えふでの宿八の坊
渡辺 さん	3世代ふれあいサークル coco 代表
伊藤 さん	東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系
大澤 さん	伊豆の国市役所

えふでの宿八の坊の望月 敬太氏からは、伊豆長岡温泉の魅力として改めて「温泉」に着目し、集中管理し良質な温泉を提供できている温泉地は日本でも稀であり、「美肌の湯・飲める温泉」として伊豆長岡温泉の活性化を図り、昨今注目を集めているワーケーションに対して、市も絡めて伊豆長岡温泉として受け入れ体制の構築に注力していくという発表を行った。また伊豆長岡温泉の課題として、認知度の低さを指摘した。地域外の視点も取り入れた新たなマーケティングや情報発信の必要性に触れた。

3 世代ふれあいサークル coco 代表の渡辺未美氏からは、子育て世代を中心に地域の女性を繋げることで自身の周りにいる人が少しでも笑顔になることを目的に coco を立ち上げ、結果的に温泉場の活性化に繋がりはじめたという発表を行い、地域における女性の活躍や可能性について触れた。

東京工業大学に所属する学生の伊藤 まゆみ氏は、「モバイル足湯を通じた場づくりの実践-留学して見えた、日本の温泉文化-」をテーマに発表した。フィンランド留学中にモバイルサウナに出会い、モバイルサウナに人が集うことで街中の景色が変わる面白さに気づき、日本の温泉文化を伝えるためにモバイル足湯を考案した。帰国後、足湯の研究を開始した。2021 年 3 月のお散歩市では、温泉場出会い通りにモバイル足湯を設置した。課題は残るが伊豆長岡温泉でのモバイル足湯の活用の可能性について触れた。

市役所の大澤氏からは、2021 年 3 月で 5 周年を迎えたお散歩市の来場者数が過去最大の 3000 人となったことに触れ、持続可能な取り組みに向けた運営体制の強化や滞在日数・宿泊数の増加へ繋げる動きが次のステップとして必要になると話した。また 12 月に実施した第二回伊豆長岡温泉ミライ大学のフィールドワークでは、首都圏在住の参加者からワーケーションの可能性等、様々な視点の意見が集まり、地域外の若者世代が関心を持つポテンシャルを秘めた地域であると再認識したと話した。

④今後の展開

12月に実施したフィールドワークを経て、伊豆長岡温泉ミライ会議の公式HPにて、当初「観光スポット」を掲載予定だった枠を「伊豆長岡温泉の魅力」と再定義した。伊豆長岡温泉で暮らす人・働く人にフォーカスをあてたインタビューカテゴリを新設し、来年度以降も「人」を絡めた情報発信を強化した。情報発信の精度を高め、交流・定着・周遊人口・滞在時間を増やすための具体的な施策検討を進めるため、移住者に着目しインタビューを行うフィールドワークも実施予定である。

またイベントやフィールドワーク等の企画以外にも、伊豆長岡温泉ミライ会議のビジョンに共感し、一緒に伊豆長岡温泉と伊豆の国市、周辺地域の持続的なまちづくりに参加したい方がコミュニケーションを取れる環境作りとして、Facebookに承認制のグループ「伊豆長岡温泉ミライコミュニティ」を開設した。来年度は本グループを基盤にコミュニティを形成し、伊豆長岡温泉ミライ大学の取り組みを推進予定である。

第4章 地域資産を活用した社会実験

4-1 道路空間活用による歩いて楽しいまちづくり

温泉場出逢い通りは、バスの運行経路にもなっており、車道部分が両側通行で巾5.4mしかないものの、直線道路となっており見通しが効くことから自動車がスピードを出しがちである。また両側の歩道が巾60cmほどしかないため、実質的に歩行者は民地側を歩いており、安心してまち歩きを楽しめる環境とはいえない状況である。

加えて毎月行われている温泉場お散歩市では、民地側に店を設置してイベントを開催してきたが、歩道幅が狭く、加えてイベント開催時においても来場者は年々多くなっており、歩行者の安全に懸念がある状態が続いている。

今回実施する道路空間活用の社会実験は、日常的に温泉場の歩行者が安心してまち歩きを楽しめること、さらに温泉場お散歩市を安全に楽しむことを目標に、将来の実質的な一歩通行化を目指して検証を行うものである。社会実験は片側通行を2回、通行止めを1回行った。



写真：日常の温泉場出逢い通り



写真：お散歩市の温泉場出逢い通り

実施した社会実験のスケジュールを下記に示す。社会実験の内容については、各部会で企画し、実施後は内容を振り返り、改善点や新しい取り組み企画などにつなげていった。これらの社会実験を単発のイベントとして終わらせないよう、未来ビジョンへの反映や今後のまちづくりの検証実験という位置づけとして企画実施を行った。

	ミライ会議	各部会	温泉場お散歩市+社会実験	伊豆長岡温泉ミライ大学他 HP, SNS
8月	第1回ミライ会議 2020/8/21			
9月			お散歩市 2020/9/13	
10月		第1回まちづくり部会 2020/10/4	お散歩市 2020/10/11	伊豆長岡温泉ミライ会議 プレHP公開 2020/10/8
		第1回観光・コミュニティ部会 2020/10/8	温泉駅でE-BIKEステーション 空き店舗活用（街角ギャラリー、旅する古本）	矢嶋ゼミ E-bike周遊企画 2020/10/10
11月		第2回まちづくり部会 2020/11/25	お散歩市 2020/11/8	ミライ大学 オンラインイベント第1回 2020/11/18
12月	第2回ミライ会議 2020/12/10	第2回観光・コミュニティ部会 2020/12/3	お散歩市 2020/12/13	ミライ大学 現地イベント第2回 2020/12/12.13
			片側通行1回目 温泉駅でBOOK Café, E-BIKEステーション 空き店舗活用（街角ギャラリー、ここみくじ）	ON-CO リビングシフトウェア東海 2020/12/12
1月			お散歩市 2021/1/10	
2月		第3回まちづくり部会 2021/2/10	お散歩市 2021/2/14	ミライ会議事務局+観光協会+農産おこし協力隊 Slack開設 2021/2/11
		第3回観光・コミュニティ部会 2021/2/18	温泉駅でBOOK Café, E-BIKEステーション 空き店舗活用（街角ギャラリー、ここみくじ） 屋外FMステーション	伊豆長岡温泉ミライユニティ Facebook開設 2021/2/21
3月	第3回ミライ会議 2021/3/18		お散歩市 2021/3/14	ミライ大学 オンラインイベント第3回 2021/3/18
			通行止め、芝生、野座敷、ギャラリー、モバイル足湯 温泉駅でBOOK Café, E-BIKEステーション、FMステーション 空き店舗活用（街角ギャラリー、ここみくじ）	伊豆長岡温泉ミライ会議 HP公開 2020/3/31

表：各部会、社会実験の実施スケジュール

(1) 第1回片側通行

日時：2020年12月13日

時間：AM9:00～PM12:00

内容：歩車分離パネルを設置

歩道（南荘側）：巾1.6m

車道：巾3m

歩道（さかなや側）：巾1m

来場者：700人

警察との協議により、歩行者の安全な通路確保を優先し、道路内には家具等は一切おらずに実施した。歩行の邪魔にならないガムテープアートなどは行った。来場者の感想から、パネル設置は安全で良かったという感触が得られた。一方軽量な材料でパネルができていたため、車の通行の際に一部風であおられて倒れたりしたため、パネルの固定方法など改善が必要だった。そのほか、民地側で吹奏楽の演奏もあったため、歩道部分で滞留する人が多く歩行者の邪魔になってしまったため、演奏など行う場合は今後同様の課題となるのが分かった。また、さかなや側からは横断する位置を決めて片側通行を行ったが、それ以外の部分から横断しようとする歩行者がいたため安全面での改善が必要であった。



図：2020年12月13日お散歩市の全体MAP

12/13お散歩市 第1回片側通行 700人



※警察協議により道路内に家具NG



BOOK CAFE



空き店舗活用



歩車分離パネルの設置



演奏イベント



ガムテープアート



街角ギャラリー

(2) 第2回片側通行

日時：2021年1月10日

時間：AM9:00～PM12:00

内容：歩車分離パネルを設置

歩道（南荘側）：巾1.6m

車道：巾3m

歩道（さかなや側）：巾1m

来場者：288人（コロナの影響有）

警察との協議により、さかなや側に車のすれ違いスペースを設置し、パネル内部には歩行者の安全な通路確保を優先し、道路内には家具等は一切おこなわずに実施。今回はパネル下地を木製のバリケードとしたので、風で倒れることはなく安心感があった。歩車分離パネルの内側を展示スペースとして、歩行者が歩きながら楽しめる工夫を行った。歩車分離パネルで南山荘側は安全になったが、反対の店舗との分断感が生まれてしまった。



図：2021年1月10日お散歩市の全体MAP

1/10お散歩市 第2回片側通行 288人



(3) 第1回通行止め

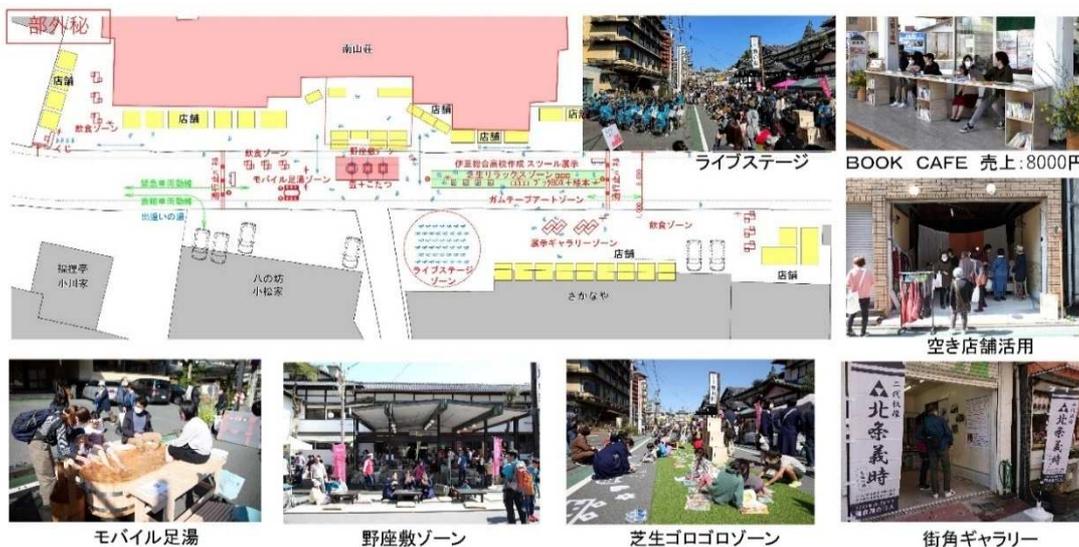
日時：2021年3月14日
 時間：AM9:00～PM12:00
 内容：通行止めパネル設置
 野座敷ゾーン畳+机
 飲食ゾーン家具
 芝生ゾーン
 モバイル足湯
 段ボールギャラリー
 歩行者天国：巾 6.6m
 来場者：3000人

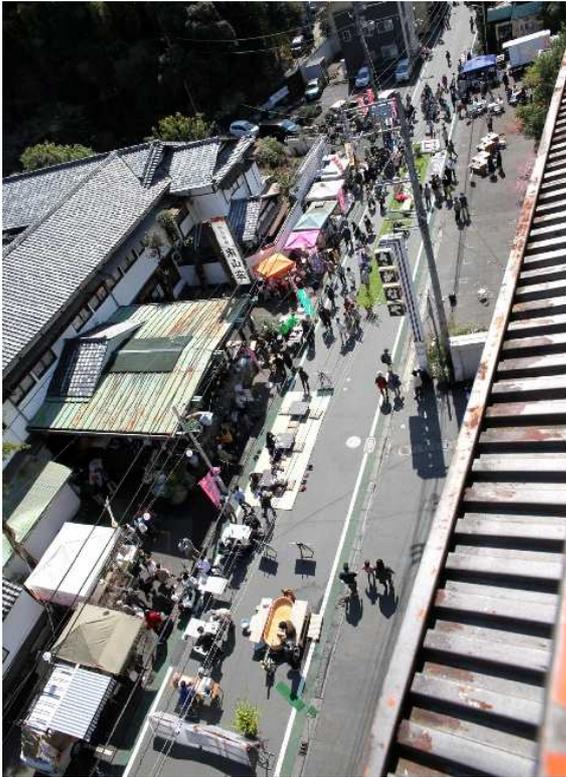
店舗のある南山荘側とさかなや側をより一体的、かつ安全に有効活用するため出逢い通りの一部を通行止めとし、お散歩市を開催した。(緊急車両の通路は確保。) ライブステージもあったが、畳が敷かれた野座敷ゾーンや、芝生ゴロゴロゾーンに人が滞留できるスペースを確保したことで、歩行者の通路も安全に確保することが可能となった。今後もイベン



図：2021年3月14日お散歩市の全体MAP

ト時には通行止めを希望する声が多かった。今回は、ライブステージで芸者が踊り、地域の小学生60名の管弦楽団の演奏や、移動可能なモバイル足湯、温泉で使う桶に生け花を飾るなどの試みを行い、温泉場の風情を感じる社会実験となった。





写真：出逢い通り歩行者天国



写真：芝生ゴロゴロゾーン



写真：ライブステージ



写真：野座敷ゾーン



写真：ライブステージでの芸者の踊り披露



写真：モバイル足湯ゾーン



写真：モバイル足湯ゾーン

(4) 道路空間活用による歩いて楽しいまちづくりの今後の課題

- ・温泉場お散歩市等のイベント開催時は、安全面の確保や賑わい創出の点から、片側通行より通行止めを行い、歩行者天国とする方が望ましい。
- ・イベント開催時は、旅館客への事前周知、来客駐車場の案内周知、当日の誘導、間違っ
て入ってきた車両への転回スペースへの誘導など、より安全面での配慮を行い運営する
ことが必要である。
- ・日常的に歩いて楽しい道路空間を目指して、今後は通行止めを行いながら将来の実質的
な一方通行を想定し、歩道部分の拡幅のシュミレーション実験等を行う。



写真：安全なお散歩市開催に向けた一方通行の検討

4-2 遊休不動産活用による賑わいづくり（店舗・温泉駅）

温泉場の拠点である南山荘と温泉駅を結ぶ温泉場通り沿いの空き旅館・店舗等の遊休不動産を活用して、お散歩市でお試し店舗等を実施した。今年度は、お散歩市に合わせて6回の実験を行った。

1. 空き店舗の活用

- ・ お散歩市出店者の仮設店舗整備（点から線へ）
- ・ 地域活動のギャラリー的な位置づけ（COCOさん、つるしびな、花咲く伊豆の国など）
- ・ DIY的取組の可能性（費用は多少は何とかなるが・・・伊豆木材や地元方々との連携打診中）



温泉駅の活用

- ・ E-BIKEステーション
- ・ レンタル
- ・ ガイドツアー

2. 民間空地の活用

- ・ お散歩市が最大45店舗出店→南山荘内は三密回避のため
飲食用のいすやテーブルが不足スペース（飲食売上減）
- 駐車場スペースの活用（屋外テラス席の整備）
- ・ 空き店舗の活用①
- 1テナント又はアクセサリなら複数テナント対応
- ・ 空き店舗の活用②
- 空き店舗に対し1テナントを割り振っての1デイ出店



空き店舗①

- ・ 旅する古本
- ・ 古本の貸し出し
- ・ 古本の受け入れ

3. 道路空間の活用

- ・ コロナ禍での道路空間活用の特例活用は温泉場通りでは困難
- お散歩市開催中（4時間）の道路使用許可取得



空き店舗②

- ・ 街角ギャラリー
- ・ 街の活動の展示
- ・ 昔の伊豆長岡温泉の写真

写真：温泉駅と空き店舗を活用した賑わいづくり



写真：温泉駅と空き店舗の配置図

(1) 第2回

日時：2020年11月08日

時間：AM9:00～PM12:00

空き店舗①：街角ギャラリー

写真展示、アンケート実施

空き店舗②：旅する古本の受渡し

温泉駅：E-BIKEの試乗コーナーの設置

源氏山へのテストライドの実施

※店舗店員：高校生ボランティア



写真：空き店舗① 街角ギャラリー



写真：空き店舗② 旅する古本



写真：温泉駅でのE-BIKE貸し出し



写真：源氏山へのテストライド



写真：源氏山へのテストライド



写真：源氏山へのテストライド

(2) 第3回

日時：2020年12月14日

時間：AM9:00~PM12:00

空き店舗①：街角ギャラリー

写真展示

空き店舗②：COCOさんによる
実験店舗

温泉駅：E-BIKEの試乗コーナー

旅する古本

BOOK Cafe

饅頭とお茶 100円販売

売上：2300円 (23人)

※店舗店員：高校生ボランティア



写真：空き店舗① 街角ギャラリー



写真：空き店舗② COCOさん実験店舗



写真：温泉駅 饅頭販売



写真：温泉駅 BOOK Cafeの実施



写真：温泉駅 屋外でお茶を楽しむ



写真：温泉駅 屋外での旅する古本

(3) 第4回

日時：2020年1月10日

時間：AM9:00~PM12:00

空き店舗①：街角ギャラリー

地域おこし協力隊の展示ブース

映像展示

空き店舗②：COCOさんによる

実験店舗

温泉駅：E-BIKEの試乗コーナー

旅する古本

BOOK Cafe

饅頭とお茶 100円販売

売上：2100円 (21人)

※店舗店員：高校生ボランティア



写真：空き店舗① 街角ギャラリー



写真：空き店舗② COCOさん実験店舗



写真：温泉駅 饅頭販売 内装一部DIY



写真：温泉駅 BOOK Cafeの実施



写真：温泉駅 屋外での旅する古本



写真：温泉駅 BOOK CafeのPR

(4) 第6回

日時：2020年03月14日

時間：AM9:00~PM12:00

空き店舗①：街角ギャラリー

伊豆の国市観光課

北条義時展示

空き店舗②：COCOさんによる

実験店舗

温泉駅：E-BIKEの試乗コーナー

FM サテライトステーション

旅する古本、

BOOK Cafe+屋外家具

饅頭と珈琲 250円販売

売上：8000円(32人)

※店舗店員：高校生ボランティア



写真：空き店舗① 街角ギャラリー



写真：空き店舗② COCOさん実験店舗



写真：温泉駅 饅頭+珈琲販売



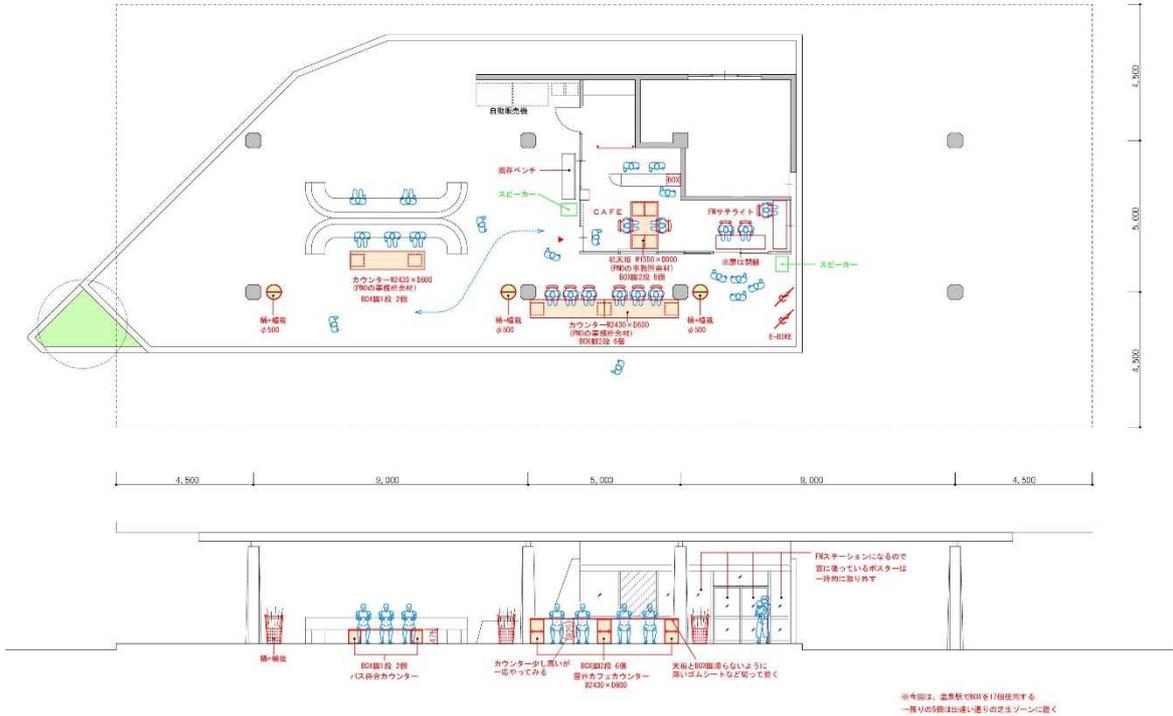
写真：温泉駅 FM サテライト



写真：温泉駅 BOOK Cafe テラスの設置

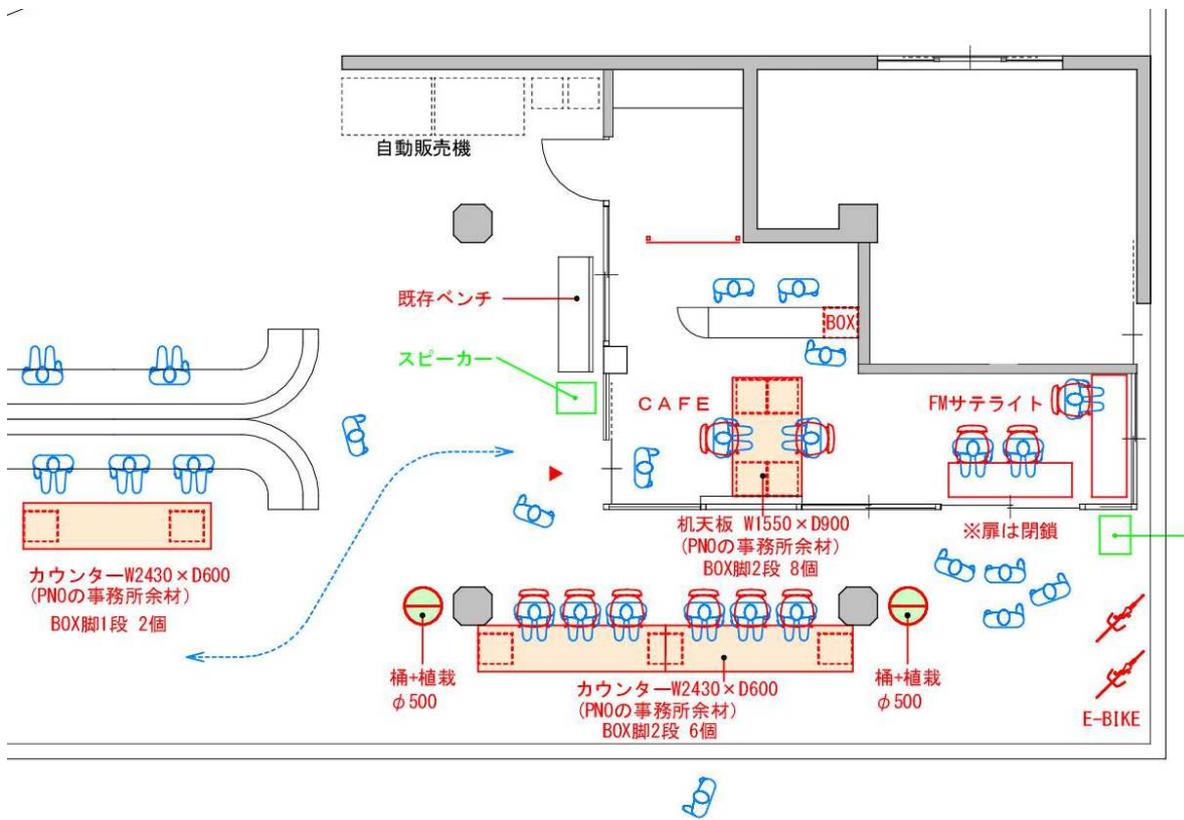


写真：温泉駅 BOOK Cafe テラスの設置



図：3/14 温泉駅 BOOK Café のレイアウト

3/14 温泉駅レイアウト S=1:100



図：3/14 温泉駅の拡大平面図

(5) 今後の展開

現在お散歩市の出店者は 50 店舗を超えるまで成長してきているので、今後の展開としては、お散歩市以外の日でも、チャレンジ店舗としてローテーションで店舗を開ける日を設けるなどの取り組みを実施していく。また温泉駅は、ミライ会議で賃貸借契約を行っているため、お散歩市以外の日でも日常利用することは可能である。地域おこし協力隊の協力の元、様々な使い方ができる木製ボックスを 22 個作成したので、それを並べて連結し、小さな箱型の中に販売したいものなどを展示できるチャレンジBOXなど考えられる。



・お散歩市の出展者さんがお散歩市以外の日でもローテーションで出店してみる実験店舗

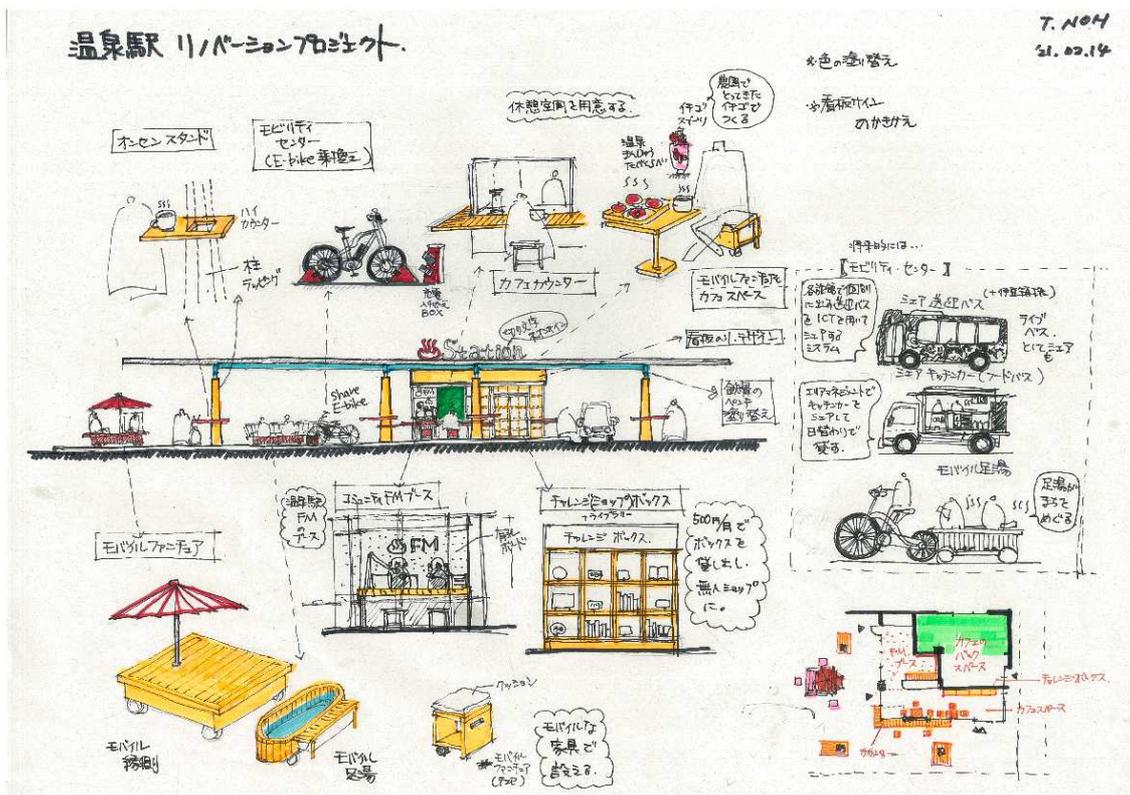


写真：お散歩市に出店しているハンドメイドの商品

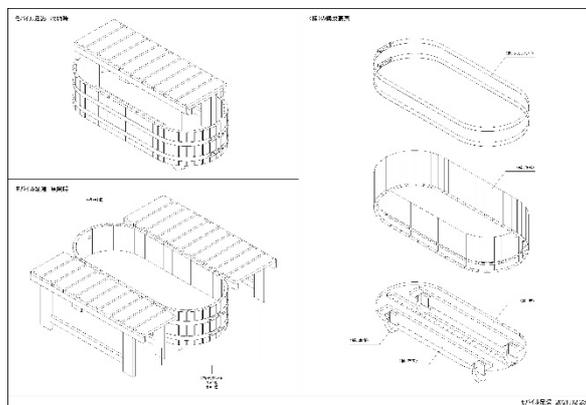


写真：チャレンジBOX とし、気軽に出店できる木製BOX

また、今後の社会実験として、温泉駅をモビリティセンターとして位置付け、シェア送迎バス、シェアキッチンカーの取り組みを行うことも考えられる。また今回お散歩市5周年に合わせて制作したモバイル足湯が好評であったことをふまえ、さまざまな屋外に移動させて持って行ける、モバイル縁側や、モバイルチェアなど一連のモバイルツールを作成し、通りで気軽にくつろげる社会実験を行う展開が考えられる。



図：モバイルツールの参考イメージ



図：製作したモバイル足湯の図面



写真：製作したモバイル足湯面

さらに、今後の賑わいづくりのための温泉駅の活用+空き家活用のアイデアとして下記のようなものも考えられる。

【温泉駅活用】

温泉駅バスCafé 観光案内所

レトロバスを置いて車内をカフェに利用、キッチンカーで飲食提供

温泉駅BAR 観光案内所

夜、バー、地域おこし協力隊が徹子の部屋のような対談企画の場として使う

温泉駅 足湯 縁側コタツ

ピロティーに小上がりの座敷+コタツで談笑できる場を設ける。モバイル足湯でくつろげる。

温泉駅マルシェ

野菜農家が多いので臨時販売できる場所として活用

温泉場本の駅 旅する古本図書館 絵本ギャラリー

地域分散型図書館にして、温泉駅にある本借りて他の場所でも返せるような仕組み。まちの中で本が循環する。旅する古本感想シートをデジタル化、温泉駅に張り出し（本を通してコミュニケーションの度合いをあげる）

温泉駅E-bikeステーション

月に何回か社会実験として地域協力隊が貸し出す

温泉駅ギャラリー

展示スペース（写真、絵、個人で発表したい人）

【空き家活用 他】

日替わり店舗

地域の工芸品（観賞用植物）を活かした販売

出逢い通りコワーキング

コワーキングスペース レンタルオフィス (wifi)

出逢い通りギャラリー

街角ギャラリーで矢嶋研究室の動画放映
街角ギャラリーの差別化 地域の情緒に合ったもの

出逢い通りDOCK

ストリートファーニチャーの共有倉庫
→イベントで持ち出して使える

出逢い通りアプリ

防災情報を共有・発信できるライングループ
温泉駅まで来ないのは情報不足 情報がまとめて見れる場所があると良い。ハッピーマップ 周遊経路をつくっては？

クラウドファンディング

ミライ会議でクラウドファンディング AR
温泉場ミライチケット

4-3 E-BIKEによる周遊拠点づくり

(1) 日本大学 矢嶋ゼミによる E-BIKE 周遊企画

日本大学 国際関係学部国際総合政策学科の矢嶋ゼミの学生 17 名が E-BIKE 周遊体験を行いながら、PR 動画コンテンツの作成を行った。伊豆長岡駅で全体撮影後、下記の 3 班に分かれ撮影を行い、E-BIKE の電動アシストありの場合と、電動アシストなしの場合の比較動画など、利用者目線でわかりやすい動画を作成した。

- KONA STAY 班
- メリダ 班
- 観光スポット班×2



図：各エリア縦断する E-BIKE 周遊コースの検討



(2) 大河ドラマと連携した周遊企画

ミライ会議のメンバーである株式会社小松屋の望月氏発の企画。である 2022 年の NHK 大河ドラマで北条義時が主人公となるが、義時所縁の地には実物が残っていないため、AR（拡張現実）により情報を補完しながら学ぶことができ、周遊 MAP やスタンプラリーと連動させることで周遊促進につなげる企画を検討中である。



実装イメージ

北条義時はここで生活していました。当時の家屋は・・・

ARで当時の建物を3Dで再現
そこから義時や政子などが登場し、記念撮影ができたり、説明をしてくれる

ゆかりのある各所において展開。周遊MAPとやスタンプラリーと連動させることも可能。ドラマ館でも説明員として、義時が登場したりするのも楽しそうです！

説明文を入れ、学びを促進

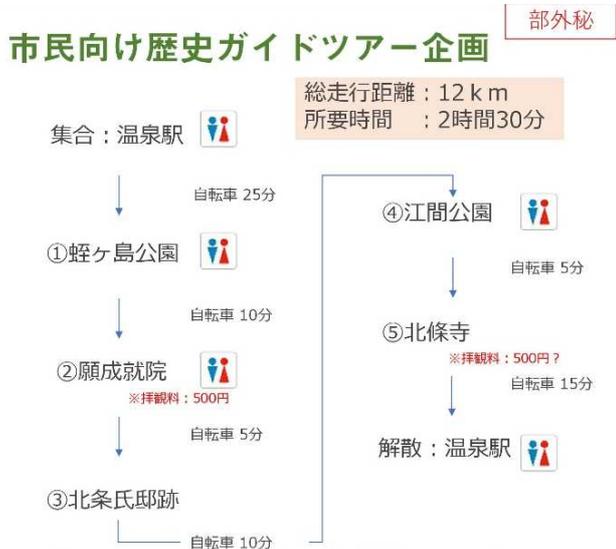
有識者を交え、史実を基にしたアプローチ。時代感も加味しつつ、親しみやすさも演出。

楽しめないのはヨシトキ
スマホを使うことで、子どもの学習にもGOOD

(3) 地域おこし協力隊による、E-BIKE 周遊企画

コナステイの協力を得ながら、地域おこし協力隊が市民向けの歴史ガイドツアーを企画行った。新型コロナウイルスが終息し、観光客が戻ってきた時に向けての新たなサービス展開を行うため、準備期間として市民向けのサービスとして展開を試みた企画である。

またコナステイより、市民向けに 3/31 まで、E-BIKE 無料貸しサービスも企画の後押しになった。

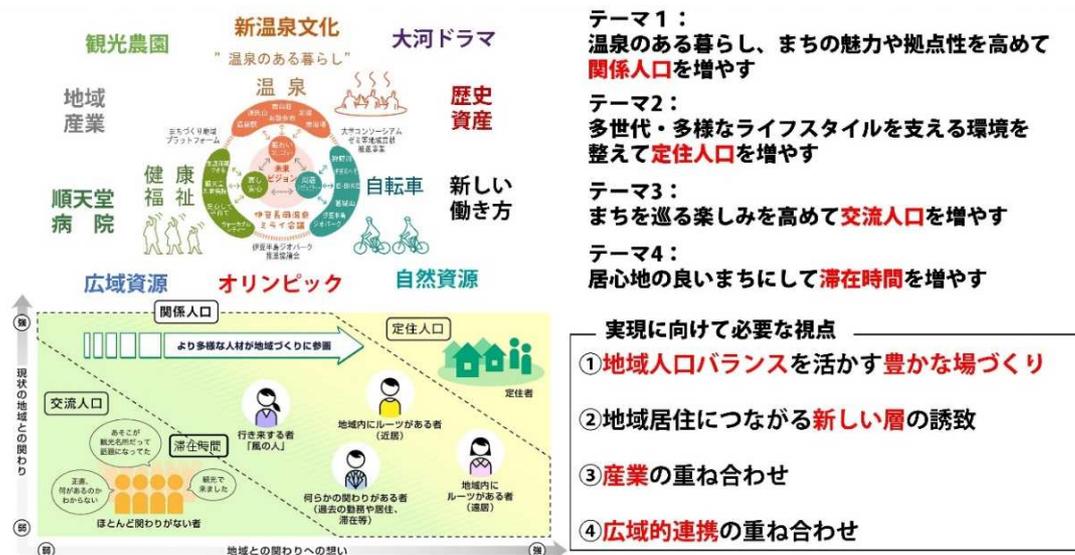


協力： KONA STAY

第5章 まちづくりの方向性と未来ビジョン

5-1 まちづくりのテーマと必要な視点

現状分析及び市民へのアンケート結果、ミライ会議・3部会での議論・お散歩市での社会実験を行うなかで、伊豆長岡温泉エリアが有する温泉資源・地域資源を最大限活かしながら、今後も持続可能なまちづくりを行うための4つのテーマと、実現に向けて必要な4つの視点を整理した。



5-2 未来ビジョン策定（案）に向けた4つのまちづくりコンセプト

上記4つのテーマ及び実現に向けて必要な4つの視点をふまえ、わかりやすいまちづくりのコンセプトとして次の4つを掲げた。伊豆長岡温泉未来ビジョンでは、このコンセプトに基づき、各エリアのまちの将来像のイメージ、実施施策を具体的に検討していく。

1. **そとに出て、活動したくなるまち**
2. **様々な出会いがあるまち**
3. **温泉資源や地域資源を活かしきるまち**
4. **広域連携を行うまち**

1. そとに出て、活動したくなるまち



参考イメージ：歩きやすく安全な通り



参考イメージ：通りに面した滞在空間

<現状の整理>

- ・年間を通して温暖な気候である。
- ・足湯や温泉施設が地域全体に点在している
- ・エリアを縦断する狩野川や源氏山など生活のすぐそばに豊かな自然環境がある
- ・自然環境を活かしたイベントが多い
- ・幹線道路周辺に商業施設が多く立地する
- ・世界的自転車メーカーの拠点が道の駅に立地、レンタサイクルが積極的に展開されている
- ・長岡地区の市街化区域は、ほぼ全域が基幹的公共交通路線への徒歩圏である。

<ワークショップ、アンケートで出た意見>

■ワークショップ

- ・E-BIKEのレンタルスポットを拡充して、回遊利便性を増やす
- ・車で訪れた観光客に、徒歩（E-BIKE）での周遊を促し、くつろげるカフェや、大型足湯を設置する。
- ・伊豆の国市の特産物を感じることでできる店・カフェ（小坂みかんフレッシュジュース・江間いちごオーレ・反射炉焼き・トマトジュース）など、食べ飲み歩きできるような物を販売する。
- ・子供が探検を楽しめるアトラクションを企画して行う。

■アンケート

- ・お散歩市の継続的な開催や頻度増加、歩行者天国化を望む意見がある。

2. 様々な出会いがあるまち



参考イメージ：屋外からでも利用しやすい建築の設え



参考イメージ：イベントを通じた多世代交流

<現状の整理>

- ・移住政策の促進が必要である。
- ・サイクリングを楽しむ海外からの来訪者や関東近郊からの観光旅行者が多い

<ワークショップ、アンケートで出た意見>

■ワークショップ：

- ・日常的に寄ってくれるファンのような人たちを生み出す。
- ・病院の待ち時間が長く、その時間を潰す場所が周辺にない。
- ・市内の低料金で宿泊できる施設（温泉付き）に高速wifiをつけて、ワーケーションを可能にする。
- ・病院職員の住居やカフェ、マルシェなどを作ることで飲食店の少なさなどの不便さを解消し、職員にとっても住まいやすい街を作る。
- ・空き家・空き店舗を開けて、人が何かを行っている状態を作る。
- ・都心などと比べ、居酒屋が少ない。駅前以外にも作る。
- ・観光用駐車場の整備が必要である。
- ・ビジネスワークショップが必要である。
- ・シェアハウスやシェアオフィスの設置が必要である。
- ・コワーキングスペースが必要である。

■アンケート：

- ・高校生の参加を評価する感想や活躍を期待する声が多い。
- ・賑やかな様子や地域全体で取り組む雰囲気の評価されている。
- ・客の滞留を生み出すような喫茶空間や定期的なワークショップ開催を望む声が挙がっている。
- ・子供や高校生の催し物が期待されている。

3. 温泉資源や地域資源を活かしきるまち 資源の見える化とさまざまな方法での使い方を考える／資源同士の連携



参考イメージ：日常使いできる温泉のある暮らし



参考イメージ：地域資源を活かした周遊観光

<現状の整理>

- ・古くから人が暮し続け歴史・文化的資源や温泉地や農作物などの観光資源を有している。
- ・歴史や文化、自然資源を活かした市のまちづくり施策が必要である。
- ・地域の伝統や文化を尊重するイベントや祭り行事を行っている。

<ワークショップ、アンケートで出た意見>

■ワークショップ：

- ・至る所にある足湯は偶然出会った地元の人と喋ったり、温泉旅行の醍醐味を味わえる場
- ・在宅医療や介護予防を充実させ、伊豆の自然と高度医療提供できる点を売りにする
- ・現在定期開催している市民講座に加え、体験型の講座を順天堂が地域の建物（順天堂から外に出て）実施する。
- ・南山荘・源氏山・狩野川で、小さな体験を実施していく。
- ・ゲストハウスの設置が必要である。
- ・健康サービスやヘルスツーリズムを促進していく。
- ・インスタ映えスポットなど、写真撮影目的での来訪を企画していく。
- ・狩野川でBBQなど外遊びができるようにして観光以外のレジャー創出が必要である。

■アンケート：

- ・地域の人にもっと知ってもらいたい。

4. 広域連携を行うまち

<現状の整理>

・東京オリンピック自転車競技の開催を契機としたサイクルツーリズムが加速しており、サイクリングロードの誘導案内や、周遊の途中で休める滞在拠点が不足している。特に狩野川沿いの路面標示等の整備は、市内で完結するものではないため、隣市と広域連携を行いながら周遊促進のための環境整備を行っていく必要がある。また滞在拠点については、周辺自治体との連携拠点として位置づけ関係を強化することで周辺自治体を含めて地域活性化を図る。



図 観光地エリア景観計画より 広域周遊の取組み

8-5. ③官民連携公園整備とE-BIKEを活用したMaaSへの対応 部外秘



写真 参考：ナショナルサイクルルート

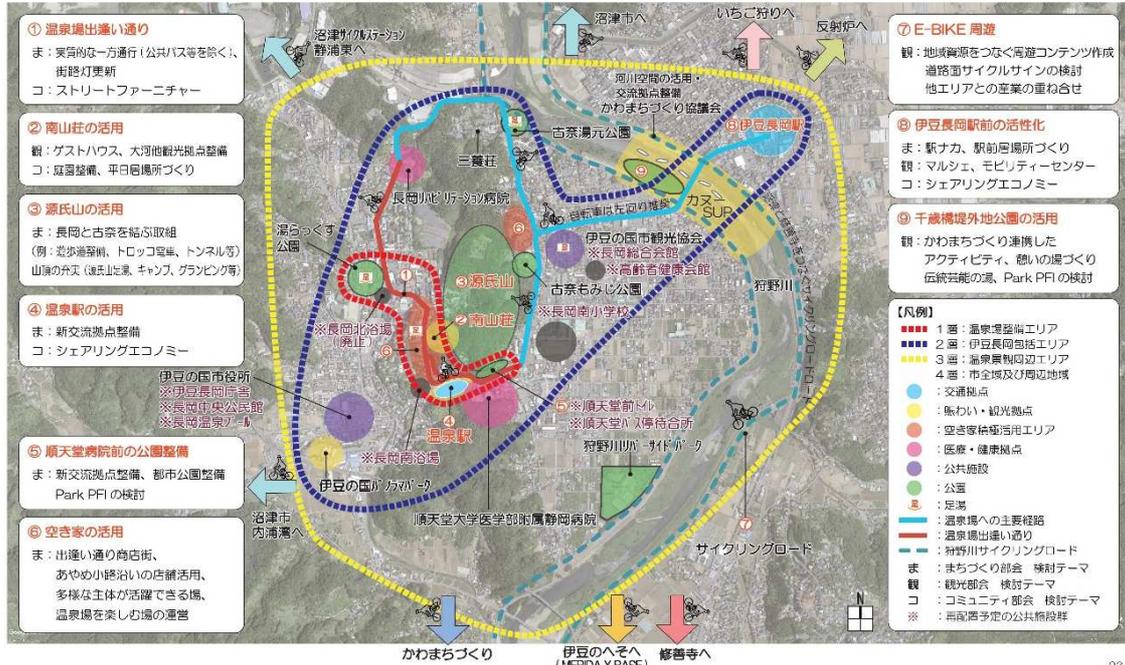


写真 参考：ナショナルサイクルルート

5-3 未来ビジョン（将来像）について

🌀 4つのまちづくりコンセプト

1. そとに出て、活動したくなるまち 2. 様々な出会いがあるまち 3. 温泉資源や地域資源を活かしきるまち 4. 広域連携を行うまち



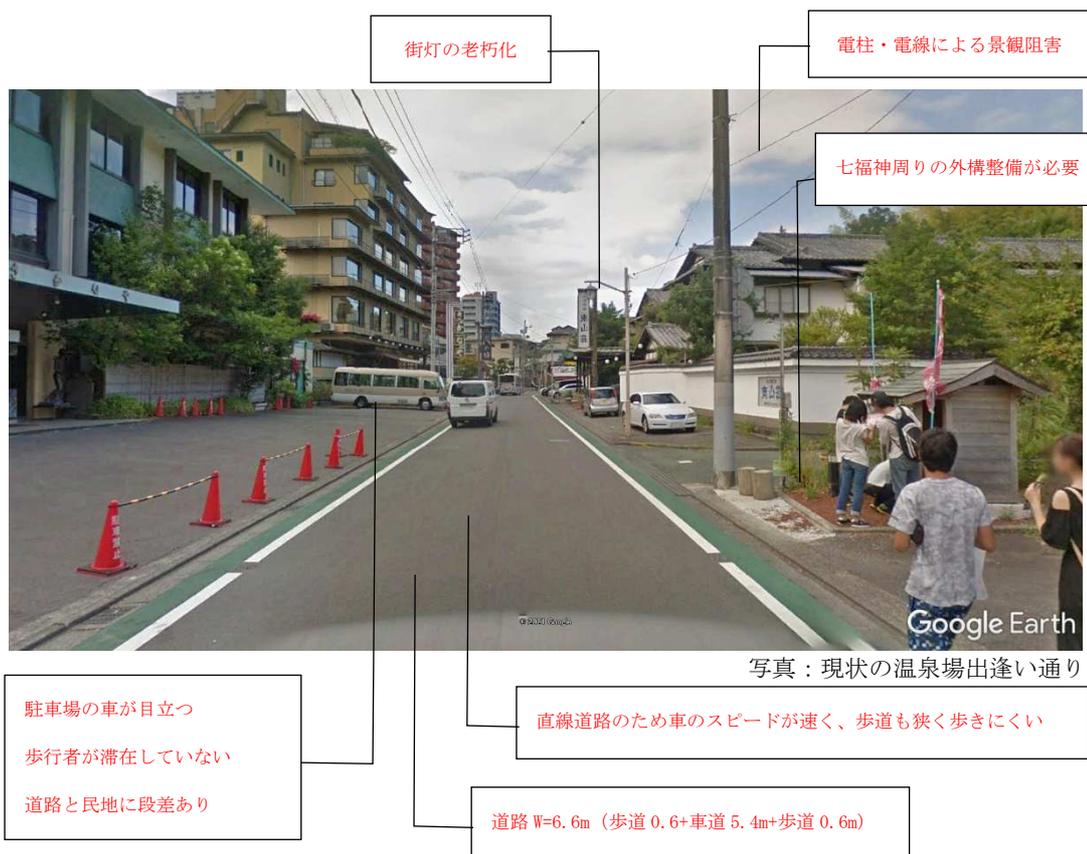
未来ビジョン提示場所	目標
	整備内容 赤：まちづくり部会 青：観光部会 緑：コミュニティ部会 目標：歩いて楽しい温泉場のみち・賑わいの続く通り（そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち） 整備：常時片側通行・街路灯更新・ストリートファニーチャー
① 温泉場出逢い通り	目標：歩いて楽しい温泉場のみち・賑わいの続く通り（そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち） 整備：常時片側通行・街路灯更新・ストリートファニーチャー
② 南山荘の活用	目標：オリパラ、大河を経て観光拠点化を目指す（様々な出会いがあるまち） 整備：ゲストハウス/大河他拠点整備・庭園整備・平日居場所づくり
③ 源氏山の活用	目標：長岡温泉と古奈温泉を結ぶ取組（そとに出て活動したくなるまち） 整備：長岡と古奈を結ぶ取組（例：遊歩道整備、トンネル、トロッコ電車等）・山頂の充実（キャンプ）
④ 温泉駅の活用	目標：温泉駅をHUBにした地域・医療・観光の拠点/賑わいを創出して歩行者を増やす（様々な出会いがあるまち） 整備：新交流拠点整備・シェアリングエコノミー（E-bikeステーション）
⑤ 順天堂前の活用	目標：温泉場の玄関口としての公園（医療×温泉、温泉資源、地域資源を活かしきる） 整備：新交流拠点整備・足湯公園
⑥ 空き家活用	目標：チャレンジSHOP、コワーキングなど新しい働く場の創出（新しい層の誘致、温泉場の平日の滞在人数増） 整備：出逢い通り商店街・あやめ小路沿いの店舗活用・温泉場を楽しむ射的、ピンボール、卓球場など
⑦ E-Bike周遊	目標：E-Bikeを使った新しい地域観光の確立（そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち） 整備：地域資源をつなぐ周遊コンテンツ作成・道路面サイクルサインの検討
⑧ 伊豆長岡駅前	目標：居心地の良い滞在型の駅前空間（そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち） 整備：駅ナカ・駅前居場所づくり・マルシェ・シェアリングエコノミー
⑨ 千歳橋付近	目標：川を活かしたアクティビティ・憩いの場づくり（地域資源を活かす、そとに出て活動したくなるまち） 整備：かわまちづくりと連携したアクティビティ企画・伝統芸能の場他

① 温泉場出逢い通り

目標：歩いて楽しい温泉場のみち、賑わいの続く通り

(そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち)

整備：常時片側通行、街路灯更新、ストリートファーニチャー



写真：現状の温泉場出逢い通り

No.1：温泉場出逢い通り (ま常時片側通行・ま街路灯更新・コストリートファーニチャー)



歩いて楽しい温泉場のみち・賑わいの続く通り



豊かな歩行空間



賑わいづくり



温泉場らしい灯り



ストリートファーニチャー



将来像：温泉場出逢い通り イメージ

【整備内容】

- ①：温泉場の風情を感じる街灯新設（短期）
- ②：電柱の地中化による景観向上（長期）
- ③：出逢い通りの車道・歩道の風情のある石畳舗装化（色分け）（長期）
- ④：道路と民地もフラット仕様にする事で視覚的な広がりを感じさせる。（長期）
- ⑤：歩道を部分的に広げスラローム形状とし車のスピードを落とさせる。（長期）
- ⑥：道路幅員 6.6m（歩道 1.0～0.6m+車道 4.6m+歩道 1.0～0.6m）（長期）
- ⑦：七福神周りの風情ある外構整備（長期）
- ⑧：温泉場らしいモバイルファニーチャーの設置（社会実験）（短期）
- ⑨：建築を改修 or 新築する際は、通りに対し軒の出を確保+木質化を推奨（中・長期）
- ⑩：建物の外部サインは、暖簾等の柔らかい風情あるものを推奨（中・長期）



歩行空間が広く感じられるよう、中央線を消去するとともに、路側帯の舗装パターンを区画線の内側にしみ出すように整備（島根県出雲市 神門通り）
資料提供：島根県

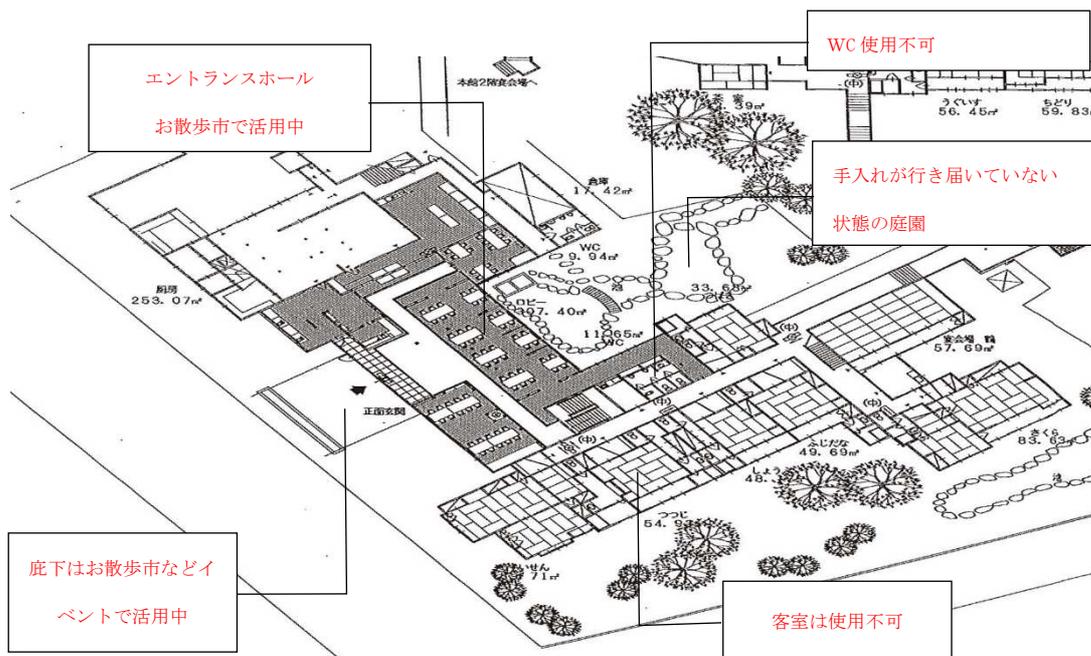


緑水用のグレーチングにより歩道境界を明示（大分県別府市 鉄輪温泉いづね坂）

② 南山荘の活用

目標：東京オリパラ、大河を経て観光拠点化を目指す（様々な出会いがあるまち）

整備：ゲストハウス/大河他観光拠点整備・庭園整備・平日居場所づくり



1階平面図：現状の南山荘

No.2：南山荘の活用（観）ゲストハウス/大河他拠点整備・（コ）庭園整備・平日居場所づくり



オリパラ、大河を経て観光拠点化を目指す



観光拠点整備



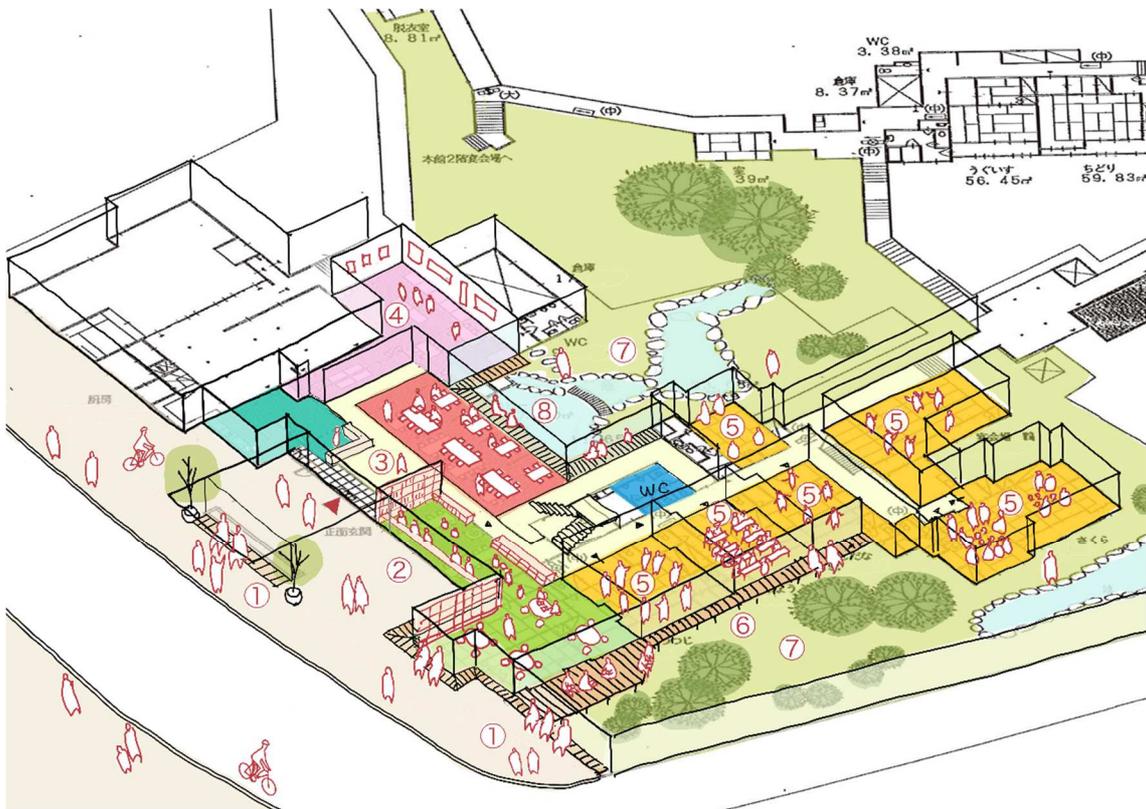
温泉卓球



文化体験



庭整備イベント



将来像：南山荘活用 イメージ

【整備内容】

- ①：街角縁側を設置し、通りに面して座ってくつろげる空間を設ける（短期）
- ②：通りに面した南山荘ライブラリー。旅する古本,coco 文庫（中・長期）
- ③：観光案内所+南山荘 Cafe+コワーキング(wifi 整備)（中・長期）
- ④：市民の発表の場としての南山荘ギャラリー（中・長期）
- ⑤：文化体験教室、子育て支援ルーム、温泉卓球ルームとして活用（中・長期）
- ⑥：ゲストハウス+庭に面して縁側テラス設置（中・長期）
- ⑦：中庭の整備（中・長期）
- ⑧：中庭に面して縁側テラス設置（中・長期）



参考：通りに面した南山荘ライブラリーイメージ



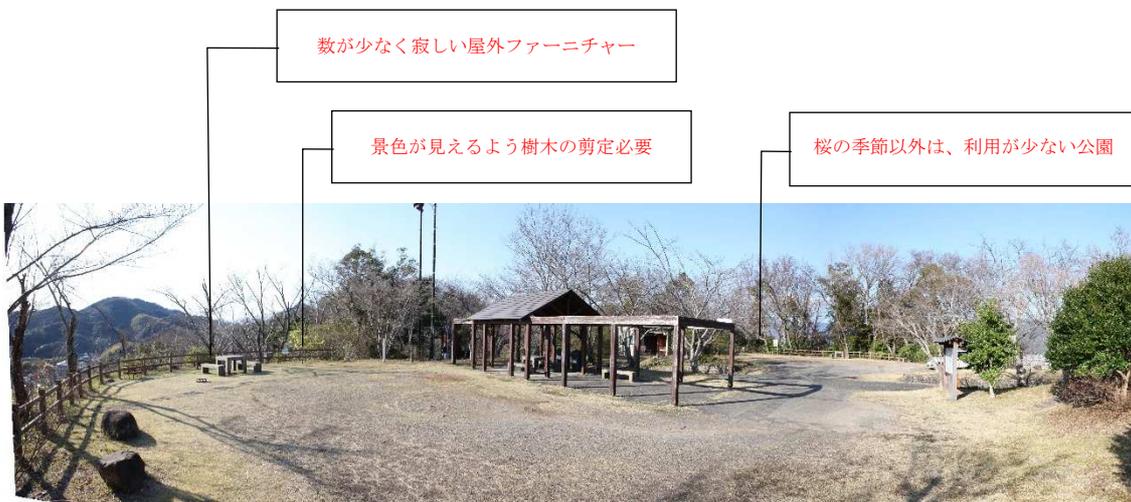
参考：縁側テラスイメージ（タカラ湯）

③ 源氏山公園の活用

目標：長岡温泉と古奈温泉を結ぶ取組（そとに出て活動したくなるまち）

長岡と古奈を結ぶ取組（例：遊歩道整備，トンネル，トロッコ電車等）

整備：山頂の充実（足湯、キャンプ、グランピング等）



写真：現状の源氏山公園

No.3：源氏山の活用（トンネル・トロッコ電車・七福神）

① 長岡と古奈を結ぶ取組・山頂の充実



長岡温泉と古奈温泉を結ぶ取組



源氏山トンネル

景色を楽しむトロッコ電車

源氏山公園
グランピング

キッチンカー出店



将来像：源氏山公園活用 イメージ

【整備内容】

- ①：モバイル足湯を持ち込んで社会実験を行いながら足湯テラス設置の検討（短期・中・長期）
- ②：E-BIKEでの周遊や、キッチンカーなどのイベント開催（短期）
- ③：景色を楽しめるよう樹木の剪定（短期）
- ④：PARK PFIにより、民間の公園管理でキャンプ、グランピング（中・長期）



参考：足湯テラスイメージ（彫刻の森美術館）



参考：グランピングイメージ（台湾 苗栗）

④ 温泉駅の活用

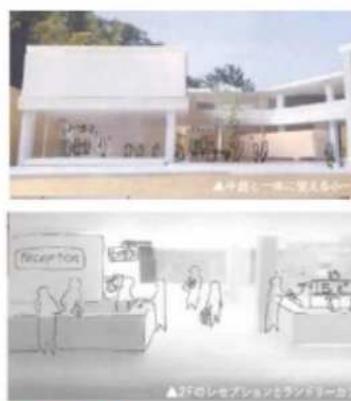
目標：目標：温泉駅を HUB にした地域・医療・観光の拠点／賑わいを創出して歩行者を増やす（様々な出あいがあるまち）

整備：整備：新交流拠点整備・シェアリングエコノミー（E-bike ステーション）

(ま)新交流拠点整備・(こ)シェアリングエコノミー



温泉駅をHUBにした地域・医療・観光の拠点／



拠点整備（シャレットWSより）

43

⑤ 順天堂病院前の公園整備

目標：温泉場の玄関口としての公園

(医療×温泉、温泉資源や地域資源を活かしきるまち)

整備：新交流拠点整備・都市公園(手湯, 足湯等)



歩道が狭く、車道も広くないため自転車の通行を含めて歩道拡幅が求められる

写真：道路拡幅・公園整備予定の順天堂前

No.5：順天堂前の活用 (ま新交流拠点整備)



温泉場の玄関口としての都市公園／新交流拠点



ポケットパークへ整備



キッチンカー出店



足湯



将来像：順天堂前道路拡幅+平面都市公園整備案 イメージ

【整備内容】

- ①：道路拡幅（県道）（短期）
- ②：季節の花が楽しめるポケットパークの整備+屋外ファニーチャー（都市公園）（短期）
- ③：擁壁の新設、アイレベルを花壇にする（短期）
- ④：緑化ブロックの駐車場設置、キッチンカースペースの確保（短期）
- ⑤：屋外ファニーチャーを置けるデッキの設置（短期）



参考：緑化ブロック



参考：擁壁+花壇イメージ



将来像：順天堂前道路拡幅＋新交流拠点整備＋立体都市公園整備案 イメージ

【整備内容】

- ①：道路拡幅（県道）（短期）
- ②：崖地の安全対策の擁壁を兼ねた立体都市公園としても機能する建築物（民間収益施設）の検討、屋上から源氏山の遊歩道へアクセスを可能にする（中・長期）
- ③：順天堂病院の待ち時間に利用しやすい手湯、足湯の設置を検討（中・長期）
- ④：壁面緑化された擁壁の検討（中・長期）



参考：立体都市公園イメージ（渋谷宮下公園）



参考：手湯、足湯イメージ

⑥ 空き家の活用

目標：チャレンジ SHOP、コワーキングなど新しい働く場の創出
(新しい層の誘致、温泉場の平日の滞在人数増)

整備：出逢い通り商店街・あやめ小路沿いの店舗活用・温泉場を楽しむ射的、
ピンボール、卓球場など



温泉のお客が楽しめる場が少ない

写真：現状の空き家（参考）

歩道が狭く、通りに対して引きが少ない

No.6：空き家活用 (ま 出逢い通り商店街/あやめ小路沿いの店舗活用)



出逢い通り商店街、あやめ小路沿いの店舗活性



改修・整備



賑わい創出



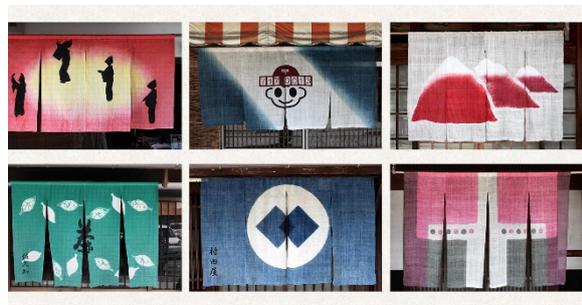
将来像：空き家活用 イメージ

【整備内容】

- ①：出逢い通り共通のモバイルファニーチャーを制作し設置（短期）
- ②：通りから少し引きを取りまちに開いた縁側等を設置、屋外からでも利用しやすい設えとした開放感のあるチャレンジ店舗ヘリノベーション（中・長期）
- ③：雨掛りになりにくい部分のアイレベルから見える範囲を木質化推奨（中・長期）
- ④：建物の外部サインは、暖簾等の柔らかい風情あるものを推奨（中・長期）
- ⑤：浴衣や着物を着て温泉場を楽しむ射的、ピンボール、卓球場などを共同運営を検討（中・長期）
- ⑥：出逢い通りの車道・歩道の風情のある石畳舗装化（色分け）（長期）



参考：通りに開かれた昔の温泉場出逢い通り



参考：のれんの町並み「勝山町並み保存地区」

⑦ E-BIKE 周遊

目標：E -BIKE を使った新しい地域観光の確立（ そとに出て活動したくなるまち、
様々な出会いがあるまち、広域連携を行うまち）

整備：地域資源をつなぐ周遊コンテンツ作成・道路面サイクルサインの検討



写真：修善寺と沼津をつなぐ狩野川沿いのサイクリングロードの現状

No.7：E-Bike周遊（観周遊コンテンツ作成）



10



将来像：狩野川サイクリングロード イメージ

【整備内容】

- ①：周遊促進のための整備。ナビゲーションがなくてもサイクリストが分かりやすく目的地に行くことができる路面標示の整備（中・長期）例：登りは赤ライン、下りは黄色ライン、矢羽根による誘導サイン等
- ②：市内、市外の魅力を楽しめる周遊コンテンツの作成（中・長期）



参考：サイクリスト誘導ライン



参考：サイクリスト誘導ライン



参考：目的地までの距離表示



参考：様々な自転車周遊コンテンツ（コナサイクル提供）

⑧ 伊豆長岡駅前

目標：居心地の良い滞在型の駅前空間（そとに出て活動したくなるまち、様々な出会いがあるまち）

整備：駅ナカ・駅前居場所づくり・マルシェ・モビリティセンター、荷物送迎、シェアリングエコノミー



観光地に来た風情が感じられない駅前空間

歩道が狭く、バスが来るまでの待機場所が少ない

駐輪場と駐車場がアスファルトで覆われ、寂しい外構

写真：伊豆長岡駅の現状

No.8：伊豆長岡駅前 (ま)駅ナカ/駅前居場所づくり・(観)マルシェ・(コ)シェアリングエコノミー



居心地の良い滞在型の駅前空間



駅前居場所づく (駐車場が芝生広場)



駅前居場所づくり



駅前マルシェ



シェアリングエコノミー (チャレットWS)

50

⑨ 千歳橋堤外地公園の活用

目標：川を活かしたアクティビティ・憩いの場づくり（地域資源を活かす、そとに出て活動したくなるまち）

整備：かわまちづくりと連携したアクティビティ企画・伝統芸能の場他



手入れが行き届いておらず、利用が少ない公園

No.9：千歳橋付近（**観**アクティビティ企画・伝統芸能の場他）



川を活かしたアクティビティ・憩いの場づくり



カヌー体験



川SUP



伝統芸能の継承



川沿い祭り



映画鑑賞

写真：千歳橋堤外地公園の現状



将来像：千歳橋堤外地公園活用 イメージ

【整備内容】

- ①：公園を使った賑わいイベント企画（短期期）
- ②：橋脚部を利用し屋外での映写スクリーンなど夜間イベント企画（短期）
- ③：かわまちづくりと連携した狩野川のスポーツアクティビティの推進（短期）
- ④：お散歩市で使っているモバイルツールを利用した温泉観光のPR（短期）
- ⑤：サイクリスト向けの誘導路面標示（中・長期）
- ⑥：PARK PFIの実現により公園の利活用促進と柔軟な民間運営（中・長期）

第6章 実現に向けた取り組み

6-1 実現していくためのロードマップ

伊豆長岡温泉 未来ビジョンに基づき、今後実現していくためのロードマップを以下に示す。短期（～3年）、中期（4～6年）、長期（7～10年）と段階的に活動を拡げながら、未来ビジョンの実現を目指していく。

	実施主体	交 流 人 口	定 着 人 口	周 遊 人 口	滞 在 時 間	これまでの取り組み 今年度の取り組み	交 流 人 口	定 着 人 口	周 遊 人 口	滞 在 時 間	短 期（～3年）	交 流 人 口	定 着 人 口	周 遊 人 口	滞 在 時 間	中 期（4～6年）	交 流 人 口	定 着 人 口	周 遊 人 口	滞 在 時 間	長 期（7～10年）	
	伊豆長岡温泉ミライ会議	●	●	●	●	・未来ビジョンとの連携したまちづくり社会実験の実施	●	●	●	●	・未来ビジョンとの連携したまちづくり社会実験の継続実施											
	特定非営利活動法人図的表現活用研究所	●	●	●	●	・建替えまで温泉駅を賃貸借契約、案内所でギャラリー展示、カフェ、E-BIKEステーションの設置、温泉駅裏のガレージでマルシェ・フリーマーケットの開催【社会実験】	●	●	●	●	・リノベーションBOOKCafeをオープン											
⑤順天堂病院前の公園整備	伊豆の国市						●	●	●	●	・令和3年度 順天堂病院前の道路拡幅 調査・設計 ・令和4年度 順天堂病院前の道路拡幅 工事	●	●	●	●	・道路拡幅後の公園で指定管理者制度を導入 →民間事業者による源氏山と一体となった公園活用						
	(仮称) 伊豆長岡温泉ミライ不動産 (民間事業者)						●	●	●	●	・民間空き家データベース化→活用プラットフォームの確立	●	●	●	●	・温泉場の雰囲気を活かしたリノベーション加速	●	●	●	●	●	・温泉場の雰囲気を活かしたリノベーションにより地価の上昇
⑥空き家の活用	伊豆長岡温泉ミライ会議	●	●	●	●	・遊休不動産の有効活用検討プロジェクト お散歩市で「街角ギャラリー」、「旅する本」 ・空き家を活用した拠点づくり 3階：ゲストハウス 2階：コワーキングスペース 1階：E-BIKEの保管場所サイクルビット	●	●	●	●	・お散歩市と連動したチャレンジショップ【社会実験】	●	●	●	●	・空き店舗を活用した新規事業、ビジネスワークショップ (創業活性化)						
	伊豆長岡温泉ミライ会議	●	●	●	●	・長岡南浴場の活用検討	●	●	●	●	・長岡南浴場の活用検討	●	●	●	●	・長岡南浴場をまちに開いた温泉にリノベーション、クラウドファンディングの実施を実施						
	民間事業者						●	●	●	●	・シェアハウス、シェアオフィスへの改修支援	●	●	●	●	・公共施設再配置後のリノベーション活用						
	民間事業者						●	●	●	●	・夜を楽しめるまちづくり居酒屋をオープンさせる											
⑦E-BIKE周遊	伊豆の国市						●	●	●	●	・サイクリングロードの調査	●	●	●	●	・周遊を促進する自転車レーンの設置や路面サインを検討	●	●	●	●	●	伊豆の国市が、日本有数のナショナルサイクリングロードを確立
	コナリゾート (コナステイ伊豆長岡)						●	●	●	●	・温泉場でコナサイクルの開設→各旅館でE-BIKE使用が促進	●	●	●	●	・(仮) サイクルスバ手形の発行						
	メリダジャパン	●	●	●	●	・ジオパークを活かした周遊コースの検討	●	●	●	●	・サイクルイベントの企画											
	伊豆長岡温泉旅館協同組合						●	●	●	●	・旅館への共同送迎の仕組みを検討、実験	●	●	●	●	・先進モビリティと協働プログラム検討	●	●	●	●	●	先進モビリティによる周遊促進
	伊豆箱根鉄道株式会社						●	●	●	●	・主要駅にE-BIKEステーションの設置検討	●	●	●	●	・主要駅にE-BIKEステーションの設置						
	伊豆半島ジオパーク推進協議会	●	●	●	●	・ジオパークを活かした周遊コースの検討																
⑧伊豆長岡駅前	伊豆の国市	●	●	●	●	・2015年シャレットワークショップ (横浜国立大学) 伊豆長岡駅から考える、伊豆の国市まちづくりデザイン																
	伊豆箱根鉄道株式会社						●	●	●	●	・駅前空間の賑わいづくりのためのイベント活用検討	●	●	●	●	・駅舎空間のリノベーション、滞在空間での検討検討	●	●	●	●	●	・駅舎空間のリノベーション
	伊豆箱根鉄道株式会社					・1 D A バスの販売	●	●	●	●	・先進モビリティ拠点の検討	●	●	●	●	・先進モビリティ導入実験						
	伊豆長岡温泉ミライ会議						●	●	●	●	・駅前空間を使ったお散歩市を展開【社会実験】											
⑩千歳橋堤外地公園の活用	伊豆の国市	●	●	●	●	かわまちづくりと連携したアクティビティ企画・伝統芸能の場他	●	●	●	●	・公園でペットも楽しめるドッグランコースの設置検討	●	●	●	●	・温泉ドックラン公園が人気になる。	●	●	●	●	●	・公園管理を民間へ委託し、公園活用促進
広報活動	伊豆の国市						●	●	●	●	・SNS、クロスメディアによる伊豆の国市ブランディング事業の検討	●	●	●	●	・伊豆の国市が、住みたい温泉地域No.10になる						
	伊豆長岡温泉ミライ会議	●	●	●	●	・令和2年度10月 伊豆長岡温泉ミライ会議プレHP開設 ・令和2年度 3月 伊豆長岡温泉ミライ会議HP正式開設	●	●	●	●	・伊豆長岡ミライラジオ (YouTubeチャンネル) 開設	●	●	●	●	・伊豆長岡ミライラジオ (YouTubeチャンネル) 開設						
	F M伊豆の国					・ミライ会議ワークショップ通信発行						●	●	●	●	・公共施設再配置により温泉場出逢い通りに放送局が移動.温泉場出逢い通りの情報発信拠点になる						

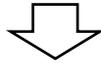
6-2 今後の各種活動の目標値

今年度までの実績をふまえ、次年度以降の目標を下記のように設定した。

～R元年度 伊豆長岡温泉場通り振興会



R2年度 伊豆長岡温泉ミライ会議開始



R3年度 ミライ会議+一般社団+株式会社

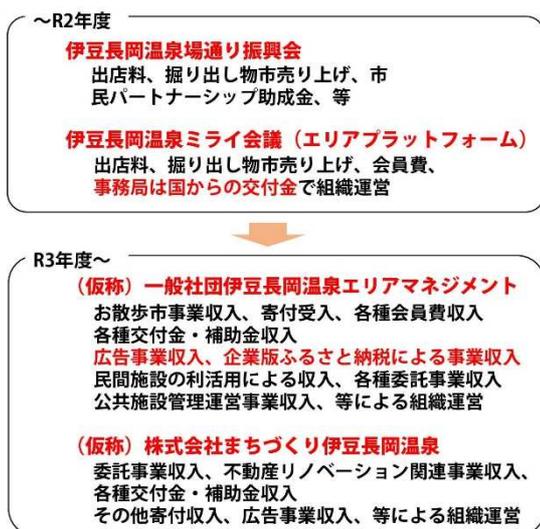


6-3 推進体制と資金調達

今年度発足した伊豆長岡温泉未来会議（エリアプラットフォーム）は、R3年度以降で一般社団法人化、株式会社の設立を目指していく。

自立自走のための資金調達としては、（仮称）一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメントとして、お散歩市事業収入、寄付受入、各種会員費収入、各種交付金・補助金収入、広告事業収入、企業版ふるさと納税による事業収入、民間施設の利活用による収入、各種委託事業収入、公共施設管理運営事業収入、等による組織運営を行う予定である。また、（仮称）株式会社まちづくり伊豆長岡温泉としては、委託事業収入、不動産リノベーション関連事業収入、各種交付金・補助金収入、その他寄付収入、広告事業収入、等による組織運営を行う予定である。

H29年度	伊豆長岡温泉場通り振興会 地域住民や旅館事業の有志による出逢い通りの活性化の取組	観光基本計画策定のための市民会議により発足した市民プロジェクトの一つ	実践のまちづくり、活性化の取組
R2年度	伊豆長岡温泉ミライ会議(エリアプラットフォーム) 行政や観光協会等が入った22社（予定）による会議体 （一社）伊豆長岡温泉エリアマネジメントも参画予定	各社の事業を伊豆長岡温泉をきっかけに共有・重ね合わせ	ビジョン・方針の策定
R3年度	（仮称）一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント ミライ会議メンバー、学識経験者、お散歩市出店者 お散歩市ボランティア、賛同者（伊豆中央高校、伊豆総合高校）などからなる組織	企画・運営の主体として位置づけ 都市再生推進法人としての指定を受ける予定	ビジョンに基づく事業の実施主体
	（仮称）株式会社まちづくり伊豆長岡温泉 ミライ会議各社や賛同者による出資で株式会社を設立 不動産開発などを主に担う組織	特に民有地での開発事業や、PFI、 公共施設指定管理等の事業の場合の主体 ※さんしんまちづくりファンとを想定	事業実施に向けた推進部隊



ご支援をいただく地方創生に向けたプロジェクト
第2期由利本庄市総合戦略の基本目標と取り組みの一部を紹介します。

基本目標1 産業集積の強靱化と雇用創出	基本目標2 子どもを産み育てやすい環境の創造
<p>南海山麓水産加工事業 事業費（令和2年度）1,120万円</p> <p>自動車乗員の居住希望地へのリーディング企業誘致 事業費（令和2年度）1,850万円</p>	<p>親子読書・読み聞かせ活動等 能力育成図書提供事業 事業費（令和2年度）810万円</p> <p>市内小中学校の整備 事業費（令和2年度）2,820,000万円</p>
<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携による地域産業創出 売れる農水産物加工品など由利水産ブランド確立 観光プログラムの開発や環境整備 格付と地元就職促進、関係人口創出 など 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して出産・子育てできる環境づくり 読書活動の支援と図書資料の整備

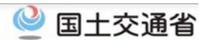
企業版ふるさと納税の事例

6-4 利用可能な制度やサービス

- ① 都市再生推進法人
- ② 官民連携まちなか再生推進事業
- ③ Park PFI、指定管理者制度等
- ④ 道路占有許可の特例制度
- ⑤ 都市利便増進協定
- ⑥ 低未利用土地利用促進協定
- ⑦ かわまちづくり
- ⑧ 生涯活躍のまちづくり
- ⑨ 地域エリアマネジメント負担金制度
- ⑩ 企業版ふるさと納税
- ⑪ まちづくりファンド

① 都市再生推進法人

都市再生推進法人(平成19年～)の概要



- 都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、まちづくりを担う法人として、市町村が指定するもの。
- 施設整備だけでなく、管理に関する業務も担う。

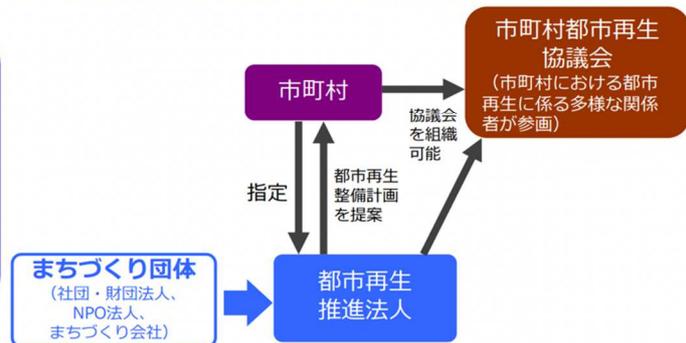
都市再生推進法人のメリット

- まちづくりの担い手として、公的位置付けを付与
- 市町村に対する都市再生整備計画の提案が可能
- 都市利便増進協定を締結することが可能

※都市利便増進協定
土地所有者等とともに締結する、オープンカフェ、広告塔などの施設の日常管理・運営に関する協定

実施する事業イメージ

- ・オープンカフェ
- ・自転車共同利用事業
- ・広告塔等の整備管理
- ・まちなか美化清掃活動
- ・歩行者天国等でのイベント開催



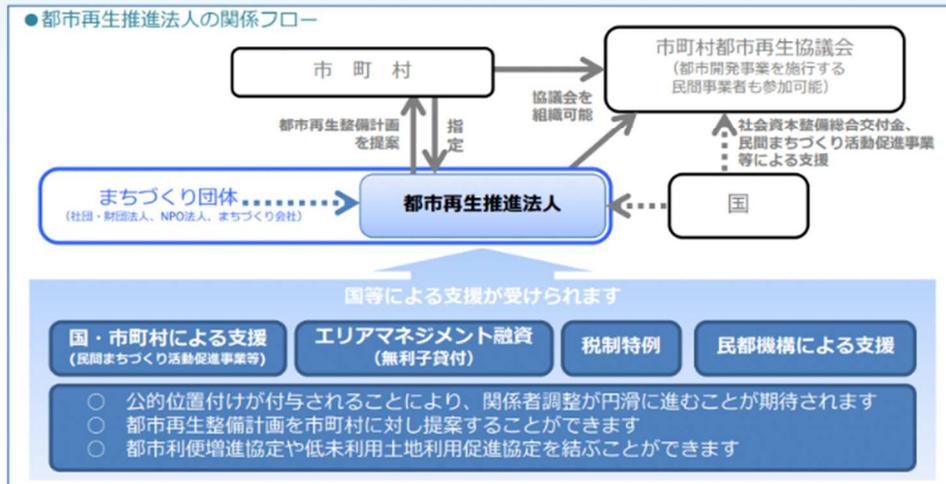
都市再生推進法人制度について

国土交通省まちづくり推進課

○都市再生推進法人とは

都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するものです。市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担いうる団体を指定できます。

●都市再生推進法人の関係フロー



●都市再生推進法人になれる法人

- ・まちづくり会社
- ・NPO法人
- ・一般社団法人（公益社団法人を含む）
- ・一般財団法人（公益財団法人を含む）

●都市再生推進法人の主な業務

- ・まちなかの賑わいや交流創出のための施設整備や管理運営
- ・都市開発事業の実施やその支援
- ・まちづくりに関する専門家派遣、情報提供等

○都市再生推進法人のメリット

都市再生特別措置法に基づく公的な位置付けが得られ、主に以下の事項ができるようになります。

- ①都市再生整備計画の提案**
都市再生整備計画の作成や変更を市町村に提案できます。都市再生推進法人が行おうとしている事業を都市再生推進法人の発意により公的な計画である都市再生整備計画に位置付けることが可能となり、円滑な事業の推進につながります。
- ②都市利便増進協定への参画**
地域のまちづくりを地域住民が自主的に行うための協定制度に地権者以外では唯一参画が可能です。
- ③低未利用土地利用促進協定への参画**
低未利用土地の所有者と協定を結び、都市再生整備計画に記載された居住者等利用施設の整備・管理を行うことができます。
- ④市町村や国等による支援**
市町村や国からの積極的な支援（情報の提供や助言）を受けることができます。
- ⑤土地譲渡にかかる税制優遇**
都市再生推進法人に土地を譲渡した個人・法人に対して、譲渡にかかる税制優遇があります。（ただし、税制優遇には一定の条件があります）
- ⑥エリアマネジメント融資**
まちづくりを行う法人に対する国の融資制度であるエリアマネジメント融資の融資対象となります。（ただし、融資にあたっては市町村の協力等一定の条件があります）
- ⑦民間まちづくり活動促進事業による支援**
都市再生推進法人が主体となったまちづくり計画・協定に基づく施設整備等に対する補助制度があります。（ただし、市町村の協力等一定の条件があります）
- ⑧民間都市開発推進機構による支援**
まちづくりファンド支援事業のうち、クラウドファンディング活用型支援の場合において、都市再生推進法人がまちづくりファンドの組成主体となることができます。

上記の他にも、市が地域のまちづくりの担い手として公的に指定することにより、まちづくり会社の信用が担保されるとともに、市町村にとっても、地域のまちづくりの担い手として、積極的な支援が可能となります。

② 官民連携まちなか再生推進事業

官民連携まちなか再生推進事業

令和3年度予算 5.1億円
(対前年度比1.02)

官民の様々な人材が集積する**エリアプラットフォームの構築**やエリアの将来像を明確にした**未来ビジョンの策定**、ビジョンを実現するための**自立・自走型システムの構築**に向けた取組を総合的に支援し、多様な人材の集積や投資を惹きつける都市の魅力・国際競争力の強化を図る。
【令和2年度創設】

未来ビジョン策定とビジョン実現のための自立・自走型システムの構築への支援



※1：新規に取り組む「エリアプラットフォーム構築」と「未来ビジョン等策定」については、単年度あたり合計1,000万円を上限とする。（最大2年間 ただし、試行・実証実験を行いながら、新型コロナウイルス感染症拡大を契機としたビジョンを策定するものに限り、最大3年間に延長）
※2：1事業あたり1年間に限る。 ※3：「エリアプラットフォーム構築」及び「未来ビジョン等策定」における準備段階においてのみ、市区町村を補助対象とすることができる。

③ ParkPFI、指定管理者制度等

● 公募設置管理制度 (Park-PFI) の特徴

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設(公募対象公園施設)の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される

条件 園路、広場等の公園施設(特定公園施設)の整備を一体的に行うこと



6

PFI

根拠法	PFI法
目的	民間資金等を活用した公共施設整備による低廉・良好なサービス提供
施設整備	公共負担 (サービス購入型が多い)
公共コスト削減	VFM (民間による効率的な整備によるコスト削減) ※包括発注、性能発注等による民間の創意工夫
事業主体	SPCを設立

Park-PFI

都市公園法
民間資金等を活用した公園利用者の利便の向上、公園管理者の財政負担の軽減
独立採算 (公募対象公園施設) 公共還元 + 公共負担 (特定公園施設)
特定公園施設の整備による公共還元 ※民間事業者による公園の価値を上げるような取組を促進
民間事業者 (SPCの設立は任意)

④ 道路占有許可の特例制度

道路占有に関するコロナ特例について

別紙2

コロナ占有特例について

概要

- 6月5日から、直轄国道について、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するための緊急措置として沿道飲食店等の路上利用の占有許可基準を緩和する特例措置を導入。
- 地方公共団体に対しても、同様の措置の実施検討を依頼する文書を発出。
- 占用期間は令和2年11月30日まで。
- 9月1日現在で、国と同様の特例措置を導入した自治体数は約420自治体、占用許可件数は約240件となっており、全国で同制度が活用されているところ。

国道17号 (文京区千石)

(長野県松本市より提供)

コロナ占有特例の実施に関するアンケート結果
(道路管理者向け・占用主体向け)

- 令和2年9月1日時点での道路占有許可基準の導入状況を調査したもの。
- 約9割の道路管理者・占用主体が11月30日以降の継続を希望。

11月30日以降も同様の措置を実施したいか (道路管理者)

現時点ですべて未定3%、実施しない6%、国が期限延長しなくても実施したい10%、国が期間延長するならば実施したい81%

11月30日以降も同様の措置を実施したいか (占用主体)

希望しない5%、コロナ禍が続く限り希望する15%、コロナが収束しても希望する80%

歩行者利便増進道路制度について (11月下旬目途施行)

概要

- 地域を豊かにする歩行者中心の道路の構築のため、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路を指定

利便増進のための占有を誘導する仕組みの導入

- ・ ベンチ等の施設を誘導するために指定した特例区域では、無余地性の基準を緩和し、占有がより柔軟に認められる
- ・ 占有者を幅広く公募し、民間の創意工夫を活用した空間づくりが可能に
- ・ 公募により選定された場合には、最長20年の占有が可能 (テラス付きの飲食店など初期投資の高い施設も参入しやすく)

指定道路 特例区域

(コロナ占有特例との比較)

	歩行者利便増進道路制度の占有特例	コロナ占有特例
占有許可基準	無余地性の基準を緩和	
占有主体	個別占有・一括占有を問わない	地方公共団体又は地元協議会等による一括占有
占有期間	最長5年 <small>※公募占有による場合は最長20年</small>	特例の期限まで
占有料	減額予定 (1/10)	免除 <small>※施設付近の清掃等への協力が条件</small>

足下の感染拡大状況、要望、実施状況等を踏まえ、
来年3月31日まで期限を延長

沿道飲食店等の路上利用を継続できるよう、
歩行者利便増進道路への円滑な移行を推進

⑤ 都市利便増進協定

都市利便増進協定

- ・都市再生整備計画の区域において、まちのにぎわいや憩いの場を創出する広場等について、居住環境の向上に資するよう、地域住民が自主的な管理のための協定を締結。オープンカフェやフリーマーケット等のイベントを開催。
- ・まちづくり団体も参加し、ノウハウを提供。国・自治体が必要なサポートを実施。

- ▶地域の実情・ニーズに応じたルールによるまちづくりが実現。
 - ・地域住民等のまちづくり参画の促進、それを通じた満足度の向上。
 - ・公共公益施設の管理を民が行うことで、公共側の財政負担の軽減も期待。



都市利便増進協定

①協定締結者

- ・地域住民（土地所有者等）
- ・都市再生推進法人

②協定により定める事項（例）

- ・まちづくり会社が広場を管理・運営。その際、イベントの開催等、賑わいを創出する取組も併せて推進。
- ・まちづくり会社が広告板を設置し、その管理を行うとともに、広告収入をまちづくり活動に充当。
- ・ベンチ、緑地などの清掃・補修等を地域住民が自ら実施。等

▲
市町村長による認定
国や地方公共団体による援助（情報提供、助言等）

⑥ 低未利用土地利用促進協定

低未利用土地利用促進協定

- ・人口減少等を背景として、まちなかで増加している低未利用の土地、建築物の利用促進を図るため、当該土地、建築物等の有効かつ適切な利用に資する施設の整備及び管理に関する協定制度。
- ・地域のまちづくりを担う市町村や都市再生推進法人等がノウハウを活かして、低未利用の土地、建築物等の利用の促進を図ることにより、都市再生の効果を最大化。

協定の内容（市町村長が認可）

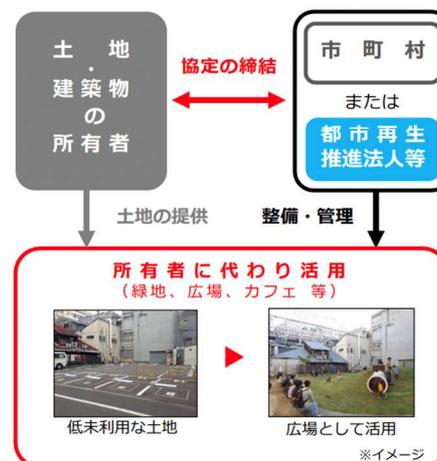
- ・協定の目的となる低未利用の土地、建築物
- ・施設の整備・管理の方法に関する事項
- ・協定の有効期間
- ・協定に違反した場合の措置

協定の効果

- ・樹木保存法に基づく樹木保存義務の実施主体として、都市再生推進法人を追加
→低未利用土地に存する保存樹木の適正な管理ができる
- ・緑化保全・緑化推進法人、景観整備機構の業務の特例
→緑地管理などのノウハウを有する法人が低未利用土地の管理を実施することが可能になる

関連予算

- 民間まちづくり活動促進・普及啓発事業
- ・都市再生推進法人が低未利用土地利用促進協定に基づき実施する施設整備への補助
※広場整備、デッキの整備、樹木の整備等
- ・補助率：1/2以内（かつ地方公共団体の負担額以内）



⑦ かわまちづくり

かわまちづくり支援制度 ～良好なまち空間と水辺空間の形成～ 参考

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

【 支援制度による支援 】

<ソフト対策>

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント広場やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援

<ハード支援>

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

【 活用例 】



【 申請に関する手続フロー 】



【登録の条件】※229地区登録（令和2年3月時点）

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

⑧ 生涯活躍のまちづくり

全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち」～誰もが活躍するコミュニティづくり～

- これまでの中高年齢者の移住に重点が置かれていた「生涯活躍のまち」について、制度の縦割りを超え、**全世代を対象**として移住者や関係人口、地元住民など「誰もが居場所と役割を持つ「ごちゃまぜ」のコミュニティづくり」等を推進する。
- コミュニティづくりにあたっては、エリア全体の魅力向上や空間デザインといった観点を視野に入れ、「活躍・しごと」、「交流・居場所」、「住まい」、「健康」の4つの機能を確保することに加え、**都市と地方の人材循環を通じた「人の流れづくり」**を推進する。



⑨ 地域エリアマネジメント負担金制度

平成30年地域再生法改正関係
平成30年6月1日公布・施行

地域再生エリアマネジメント負担金制度の創設

- ◆近年、民間が主体となって、賑わいの創出、公共空間の活用等を通じてエリアの価値を向上させるためのエリアマネジメント活動の取組が拡大。
- ◆他方、エリアマネジメント活動では、**安定的な活動財源の確保が課題**。特に、エリアマネジメント活動による利益を享受しつつも活動に要する費用を負担しないフリーライダーの問題を解決することが必要。
(民間団体による自主的な取組であるため、民間団体がフリーライダーから強制的に徴収を行うことは困難)
- ◆このため、海外におけるB I Dの取組事例等を参考とし、**3分の2以上の事業者の同意を要件として、市町村が、エリアマネジメント団体が実施する地域再生に資するエリアマネジメント活動に要する費用を、その受益の限度において活動区域内の受益者(事業者)から徴収し、これをエリアマネジメント団体に交付する官民連携の制度(地域再生エリアマネジメント負担金制度)**を創設し、地域再生に資するエリアマネジメント活動の推進を図る。

※B I D…Business Improvement District. 米・英等において行われている、主に商業地域において地区内の事業者等が組織や資金調達等について定め、地区の発展を目指して必要な事業を行う仕組み。

【地域再生に資するエリアマネジメント活動】
地域の来訪者又は滞在者の利便の増進やその増加により経済効果の増進を図り、地域における就業機会の創出や経済基盤の強化に資する活動

(例)

イベントの開催
オープンスペースの活用
自転車駐輪施設の設置
賑わいの創出に伴い必要となる巡回警備

【制度の概要】

①申請 ②認定
③申請 ④認定
⑤制定 ⑥徴収 ⑦交付

※3分の1超の事業者の同意に基づく計画期間中の計画の取消等についても、併せて規定

来訪者等の増加により事業機会の拡大や収益性の向上を図り、地域再生を実現

⑩ 企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への**経済的な見返りは禁止**
- **寄附額は事業費の範囲内とすることが必要**

※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。

例) 1,000万円寄附すると、**最大約900万円**の法人関係税が軽減。

①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

活用の流れ

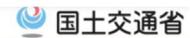
①地方公共団体が地方版総合戦略を策定
②①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成
③計画の認定
④寄附
⑤税額控除

企業が所在する自治体(法人住民税・法人事業税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 46道府県899市町村(令和2年度第3回認定後)

⑪ まちづくりファンド

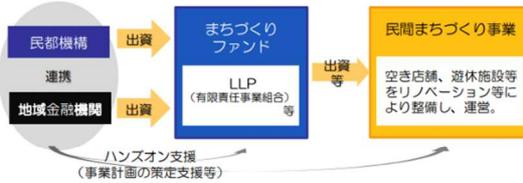
まちづくりファンド支援事業の概要



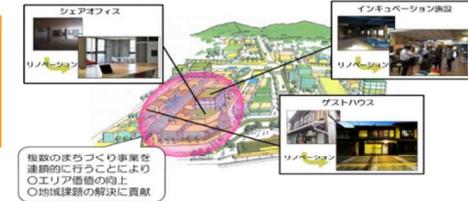
マネジメント型（平成29年度創設）

一定のエリアをマネジメントしつつ、当該地域の課題解決に資する、リノベーション等の民間まちづくり事業を連鎖的に進めるため、**民都機構と地域金融機関が連携**してファンドを立ち上げ、当該事業に対して**出資・融資**により支援。

<スキーム>



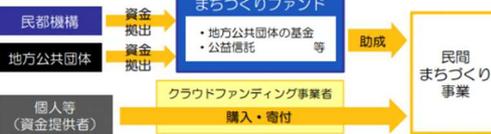
<活用イメージ>



クラウドファンディング活用型（平成27年度創設）

景観形成等に資する民間まちづくり事業を、**クラウドファンディング**による「志あるお金」の調達と併せ、まちづくりファンドから**助成**により支援（クラウドファンディングに係る初期費用についても助成）。

<スキーム>



<支援事例：現代京町家「蔵や」>



第7章 新たなスタートへ向けて

7-1 伊豆長岡温泉ミライ会議のホームページ開設

(1) 伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページが担う役割

現在、伊豆長岡に関連する情報を発信しているホームページや SNS、YouTube 等の媒体が多数存在している。今回新たに伊豆長岡温泉ミライ会議のホームページ開設に伴い、発信者と発信内容で既存の媒体を整理したところ、下記の図のように「行政が発信する観光情報（右上）」に偏っていることがわかった。発信情報に着目すると、観光情報の発信が大半を占めており、暮らし・日常に該当する媒体は移住検討者向け「伊豆の国市 移住定住サイト」と伊豆の国市在住者向け「伊豆の国市 You Tube」の2媒体のみであった。そこで、既存媒体ではカバーできていない「民間主導で発生する暮らし・日常（左下）」を伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページが担う役割と定義した。

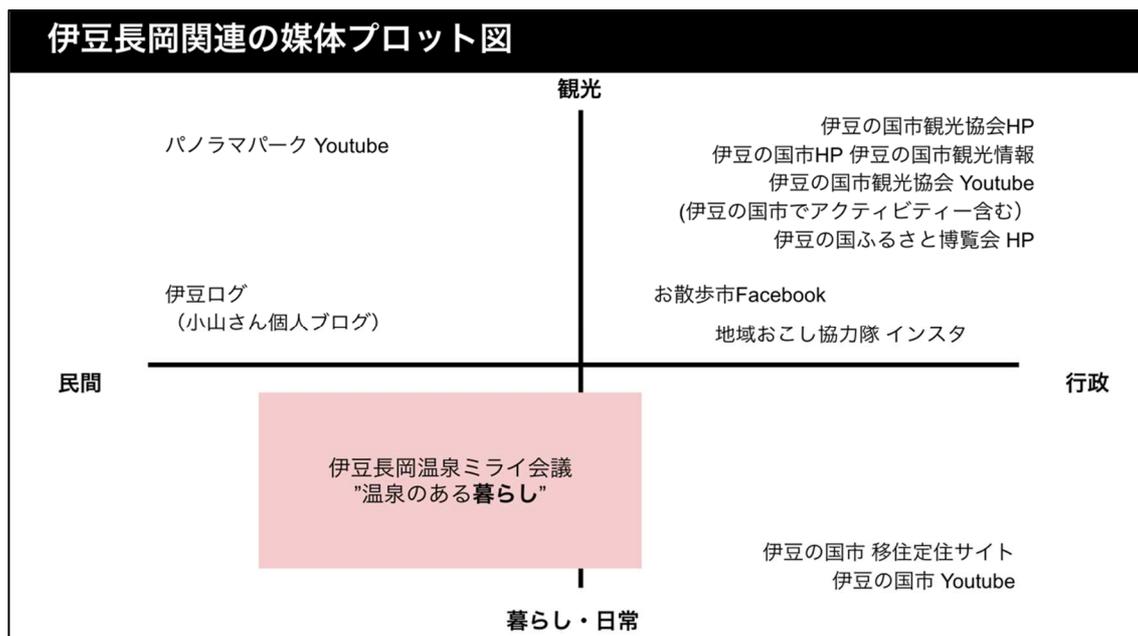


図-伊豆の国市の HP・SNS の位置づけ

(2) 伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページの定義

伊豆長岡温泉ミライ会議のホームページは、「伊豆の国市外在住、観光以上・移住未滿の情報を求める 20~30代」をターゲットに設定した。当初「観光スポット」を押し出していく予定だったが、第二回伊豆長岡温泉ミライ大学のフィールドワークにて、伊豆長岡温泉の魅力として「人」をあげる参加者が多かったことから、伊豆長岡温泉の魅力を「温泉・自然・歴史・人」と定義。観光情報よりも一歩踏み込んだ伊豆長岡温泉の過去・現在・未来を発信

し、関係人口の創出を図ることとした。

伊豆長岡温泉ミライ会議では、ホームページの定義に則す情報を発信するにあたり、5つの要件を設定した。下記要件を満たす取り組み・場所・人に限定し記事を更新予定である。

<伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページの掲載条件>

- ①伊豆長岡温泉へ行ってみたいくなる情報であること。
- ②伊豆長岡温泉ならではの取り組みであること。
- ③伊豆長岡温泉の未来“温泉のある暮らし”を想像させること。
- ④発信することで、伊豆長岡温泉に関係したいと思う人が増えること。
- ⑤関わる全ての人が自信や誇りを持っていること。



伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページ (<https://izuspamirai.com/>)

(3) 伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページの構成要素

伊豆長岡温泉ミライ会議ホームページは以下6つの要素で構成し、イベント・レポート・伊豆長岡の魅力については、随時インタビュー等を実施し情報の更新を図る。

掲載要素	掲載内容
ミライ会議とは？	ミライ会議の目的、ビジョンの共有とそれに合致したアクションを起こしていくことの重要性、これからの伊豆長岡温泉のミライのまちづくりへの希望が感じられるような概要。
取り組み	これまでの取り組み、現在進行中の取り組み、温泉場を中心とした活動の広がりを紹介。
イベント	伊豆長岡温泉で開催される各種イベントやワークショップなど新着のイベント情報を紹介。
レポート	各種イベントや会議の実施報告、未来ビジョンに関連する取り組みの実施報告等。
伊豆長岡の魅力	温泉・自然・歴史・人の4カテゴリを設置し、施設紹介やインタビュー記事を更新。
仲間募集	各種社会実験や取り組みへ参加したい人、伊豆長岡で新たな事業やプロジェクトを自身で立ち上げたい人、伊豆長岡のことを知りたい人を募る。

(4) プレサイトのオープン

今年度末のホームページ開設までの間も、社会実験の様子や関係組織の取組を発信し、できる限り取組の参加者・協働者を増やしていくことを目的にプレサイトを先行してオープンした。



NEWS

2021/2/24	伊豆長岡温泉ミライ会議：3月18日(木)に「伊豆長岡温泉のミライ会議」オンライン開催
2021/2/10	野原先生：第3回マナミ学談 基礎講座 2021年3月4日 Web開催
2021/2/10	温泉場通り懇話会：温泉場お散歩市を2月14日に実施予定
2021/2/10	日本芸術大学芸術学部美術科大学コンシ：2月14日(日)のお散歩市で開催公開
2021/2/10	コナステイ伊豆長岡：3月末までe-bike無料
2021/2/10	コアレックス徳栄：レバンテ富士スポンサー契約
2021/2/10	伊豆情報放送：お散歩「EVEリーパー-BUS」発売(3月31日まで)

(5) 今後の展開

ホームページを制作して終わりではなく、伊豆長岡温泉の「人」に着目した取材を重ね、随時情報をホームページ上にアップし、伊豆長岡温泉ミライ会議の各種 SNS（Facebook ページ・Instagram）を活用することで情報を拡散しなければならない。伊豆長岡温泉ミライ会議の情報を得た人の中から、より深く伊豆長岡に関わりを持ちたい場合の受け皿として、伊豆長岡温泉ミライ大学を活用する。Facebook グループ「伊豆長岡温泉ミライコミュニティ」を基盤に、地域課題の解決や、各自が挑戦したい新規事業・プロジェクトの推進を図っていく。

また伊豆長岡温泉ミライ大学の事務局支援を務めた株式会社トレジャーフットでは、デジタルマーケティングやブランディング等の専門知識を持つ人材と地域・企業・行政のマッチング事業を展開しているため、今回のホームページ策定にあたっては地域おこし協力隊への取材・ライティング指導をおこない、地域人材による情報発信のノウハウ獲得に向けたマニュアル作りなどを進め、来年度以降は地元大学や中高生記者による情報発信の取組の基盤を確立した。また伊豆長岡温泉ミライ大学をはじめ、伊豆の国市のふるさと納税や各種ホームページの管理・情報発信など、地域外の人材を絡めた取り組みもミライ会議で実施できるよう継続して支援をしていく予定している。

7-2. 取り組みプロセス、活動内容を発信

R2年度～

情報発信機能

伊豆の国市観光協会HP お散歩市フェイスブック

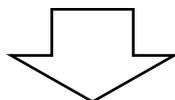


伊豆長岡温泉ミライ会議



HPの開設
パブリックな情報発信

SNSを活用したいいね！
獲得による認知向上、
関係者や団体による
緩いネットワーク



R3年度～

情報発信機能



伊豆長岡温泉ミライ会議として開設したHPは
(仮称) 一般社団伊豆長岡温泉エリアマネジメント
が引継ぎ運営

運営連携機能

コアメンバーの情報共有
プロジェクト進捗管理



コアメンバーは各プロジェクトが可
視化できるようビジネスチャット
ツールを活用

地域課題解決型プロジェクトゼミ
伊豆長岡温泉ミライ大学



お散歩市出店者や市内外の
賛同者によるグループを組織
期待や困りごとをみんなで
議論し企画提案へ